
座間市
地域福祉計画策定のためのアンケート調査
報告書

令和7年3月

目次

I. 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査の実施について	1
3. 調査票の回収状況	1
4. 報告書の見方	1
II. 調査結果のまとめ	2
1. 地域全体について	2
2. 暮らしやすさについて	2
3. 福祉について	3
4. 地域との関わりについて	4
5. 地域福祉活動について	4
6. 防災との関わりについて	5
7. 地域福祉のあり方について	5
III. 調査結果の詳細	6
1. 回答者について	6
(1) 年代、居住地域、居住歴、職業	6
(2) 家族の状況、経済的状況	13
2. 福祉について	19
3. 地域との関わりについて	41
4. 地域福祉活動について	75
5. 防災との関わりについて	95
6. 地域福祉のあり方について	101
7. 自由意見	104

I. 調査概要

1. 調査目的

次期「座間市地域福祉計画」（令和 8 年度～令和 12 年度）を策定する基礎資料とすることを目的に、地域福祉の現状及びニーズ等について調査を実施しました。

2. 調査の実施について

本市在住の 18 歳以上の方から 3,000 人を無作為抽出し、郵送とインターネット上での回答による調査を実施しました。

調査期間
2024 年 9 月 30 日（月）～ 2024 年 10 月 31 日（木）

3. 調査票の回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
3,000 件	1,476 件	49.2%

4. 報告書の見方

- ① 「n」は「number」の略で、比率算出の母数を表します。
- ② 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記しています。このため、百分率の合計が 100.0%とならない場合があります。
- ③ 複数回答の場合、図中に MA（Multiple Answer＝当てはまるもの全てに○）、3LA（3 Limited Answer＝○は 3 つまで）と記載しています。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。
- ④ 表内において、**上位 1 位**、**上位 2 位**には色付けをしています。また、全体と比べて 10 ポイント以上高い場合には△、10 ポイント以上低い場合には▼の記号を付けています。
- ⑤ 前回調査（令和元年度）、前々回調査（平成 26 年度）との経年比較は、調査対象者及び調査方法が異なるため、参考掲載としています。

Ⅱ．調査結果のまとめ

1. 地域全体について

(調査結果外のデータによる分析)

- 少子高齢化は全国的な傾向ですが、座間市の特徴として、転出者より転入者のほうが多いこと、昼夜間人口比率が100%を下回り、通勤・通学で市外に通う市民が多いことが挙げられます。また、近年、昼夜間人口比率が上昇している理由は、高齢者人口の増加により日中市内で過ごす市民が増えていることと考えられています。そのため、より一層の見守りや気づき、それをつなげていくための体制づくりが重要となります。
- 高齢者人口が増加している一方、老人クラブの加入者数は減少傾向がみられます。高齢者の社会参加は健康維持の面でも、見守りや気づきの面でも有効であり、多様な場や機会の創出と、参加のきっかけづくりに努める必要があります。
- 世帯数は増加していますが、自治会加入率は約4割で県内でも低いと言われており、転入者の加入が進んでいないことが考えられます。防犯、防災、子育てなど自分に関係があることに結びつけて自治会加入を進めていくことも大切です。
- 外国人住民が増加傾向にあり、地域で孤立することがないように、情報発信のあり方、相談体制等の充実が求められます。

(調査結果による分析)

- 調査結果では、地域包括支援センター担当地域別では、ひばりが丘、立野台において70代以上の割合が多く、ひばりが丘は50年以上居住している人が多い傾向がみられます。(問1、問2、問3)
- 一人暮らしは70代以上と30代で多く、立野台は一人暮らしが多くなっています。(問5)
- 身近に介護や支援が必要な方がいるのは80歳以上で多く、80歳以上の4人に1人は本人が介護や支援が必要という結果です。また、50代、60代では約2割が「母親」が該当しており、高齢者介護の状況がうかがえます。(問6)
- 経済的状況について、「やや苦しい」「苦しい」を合わせた“経済的に苦しい方”は、子育てや仕事で忙しい世代でもある30代、40代、50代で多く、職業別では「会社員」「自営業」「パート、アルバイト」「無職」で5割以上となっています。(問7)

2. 暮らしやすさについて

- 地域の評価とも言える「暮らしやすさ」(高齢者、障がいのある方、子育て世帯などにとって暮らしやすいまちだと思いますか)について、「暮らしやすいと思う」「まあまあ暮らしやすいと思う」を合わせた“暮らしやすいと思う方”は35.4%、「あまり暮らしやすいとは思わない」「暮らしやすいとは思わない」を合わせた“暮らしやすいとは思わない方”は26.6%となっています。(問21)
- 年代別にみると30代では“暮らしやすいとは思わない方”は4割を超えており、また、暮らしやすさ別に世帯構成をみると、“暮らしやすいとは思わない方”では、「子ども」がいる割合が他の区分に比べて多いことから、子育て世帯において“暮らしやすいとは思わない方”が多い可能性があります。(問21)

- “暮らしやすいとは思わない方”の理由は、バリアフリーでないこと、福祉サービスの不足、交通の便が悪いことなどが多くなっています。坂道が多い市であるため、高齢者や障がいを持つ方、小さい子どもを連れた親子などが安心して外出できるよう、道路整備等の物理的なバリアフリー化が求められています。“暮らしやすいとは思わない方”の割合が多くなっている30代について、暮らしやすいと思わない理由は、「福祉サービスが不足している」が16.7%で、全体よりも10ポイント高くなっています。(問21- (1))
- 暮らしやすさ別に市社会福祉協議会の行う活動、支援として、今後、充実してほしいのを見ると、全体として「気軽に相談できる体制の充実」が最も多いのに対し、暮らしやすいと思わないの区分では、「高齢者、障がい者、ひとり親家庭、産前産後の方への日常生活支援」が最も多くなっています。(問29)
- 住民同士が見守り、助け合い、支え合う活動を活発にするためには、地域に何が必要かについて、“暮らしやすいとは思わない方”では、「見守り、助け合い、支え合う活動の場や機関の情報提供」が最も多くなっており、互助に関する情報の不足が暮らしやすさに影響を与えている可能性があります。(問24)
- 高齢者や障がいを持つ方への支援に加え、妊娠から出産・子育てにかけての日常的な支援を拡充・情報発信するとともに、若い世代、一人暮らしの方が地域で孤立しないように、アプローチの工夫やきっかけづくりを検討していくことで、暮らしやすいまちづくりを推進することが必要です。

3. 福祉について

- 福祉への関心は、若い世代ほど関心が薄い傾向があります。関心がある方では、自分に関係することに関心があり、若い世代は「児童福祉（子育てなど）」が最も多くなっています。(問8、問8- (1))
- 福祉に関する団体や機関の認知度について、「地域包括支援センター」の認知度は大きく上昇しており、おおむね年齢が高いほど認知度が高くなっています。一方で、「民生委員児童委員」の認知度が低下しており、特に若い世代で低くなっています。若い世代では「子育て支援センター」の認知度が高くなっており、自分に関係する団体や機関についての認知度が高い傾向があります。(問9)
- 「地域包括支援センター」の認知度は上昇していますが、身近に介護や支援が必要な方がいる場合でも、約6割にとどまっています。(問9)
- 成年後見利用促進センターの認知度は約1割、成年後見制度について「知っている」人は約3割となっています。介護や支援が必要な「母親」がいると回答した割合が、他の年代に比べて多い50代、60代においても、成年後見制度について「聞いたことはあるが、内容はわからない」という人が約4割となっています。(問9、問11)
- 成年後見人を頼みたい人として、50代以上では「親族」が最も多くなっています。(問12) 成年後見制度を利用する立場と成年後見人としての立場の両面で、制度の内容をわかりやすく周知し、安心して利用できるようにしていくことが求められます。
- 福祉サービスの情報を「十分入手できている」「十分ではないが、入手できている」を合わせた“入手できている”方は、80歳以上が約5割であり、30代から70代は4割に満たず、

10代・20代は15.8%となっています。身近に介護や支援が必要な方がいる場合でも、約3割が「ほとんど入手できていない」状況です。また、経済状況別にみると、経済状況が苦しいと答えた人において、「ほとんど入手できていない」が48.5%と他の区分に比べて多くなっており、困窮しているにも関わらず、福祉サービスの適切な情報が行き届いていない可能性があります。(問10)

- 福祉に「とても関心がある」人の55.3%、「ある程度関心がある」人の37.1%が、福祉サービスの情報を入手できており、また、地域の方との関わりがあるほど情報を入手できている傾向がみられます。(問10) 情報が来るのを待つだけでなく、関心を持ち、関わりを持つことで得ることができることがうかがえます。
- 福祉サービスの情報を入手する手段として、60代までは「インターネット(ホームページ・SNSなど)」が最も多く、70代以上では「市広報」が最も多くなっています。60代以上では「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」も30%を超えていることから、年代に合わせた媒体での情報発信を工夫することが必要となっています。(問10-(1))

4. 地域との関わりについて

- 地域の範囲の考え方について、10代・20代、30代は「座間市全域」、40代、50代は「自治会」、60代以上は「隣近所」が最も多くなっています。おおむね、日頃から関わりのある範囲を地域と捉える傾向がみられます。(問13)
- 70代以上では「隣近所」を地域と考える方が4割を超えており、この年代では、地域に愛着が「大いにある」「ある程度ある」を合わせた“地域に愛着がある方”は7割以上となっています。居住期間が長く、地域の方と関わりがある方ほど、地域に愛着を感じていることがうかがえます。さらに、暮らしやすさと地域への愛着も関連がみられます。(問14、問14-(1))
- 一方で、愛着を感じない理由は、「地域に親しい人がいないから」が最も多く、特に60代で多くなっています。(問14-(2))
- 地域の方との付き合いの程度について、「付き合いがほとんどない」は一人暮らしでは約3割となっており、若い年代ほど多い傾向があります。(問15)
- 「付き合いがほとんどない」理由は「きっかけがない」が約6割となっています。(問15-(1))
- 地域での孤立感について、「感じる」「やや感じる」を合わせた“地域で孤立感を感じる方”は約1割となっており、30代が他の年代に比べて多く、同居家族がいる方より一人暮らしが多くなっています。(問17)
- 地域に長年住み、慣れ親しむことによって感じる「愛着」は高齢になるほど強くなると考えられますが、コミュニケーションを深め信頼関係を築くことで生まれる「愛着」を、若い世代や子育てが終わった世代も感じることができるような取組を考える必要があります。

5. 地域福祉活動について

- 地域福祉活動に「現在、参加している」のは14.8%で、年代では40代、70代が約2割となっています。一方で、「参加したことがない」が約6割となっています。(問22)
- 活動する中で困ったこと、苦労したことは、「時間的負担が大きい」が最も多くなっています。(問22-(2))

- 現在参加していない理由は、「仕事、家庭などの都合で機会がない」が最も多くなっていますが、「参加方法がわからない」が約2割となっています。（問 22-（3））
- 今後は「できれば活動したい」が30代から70代で2割を超えており、これまで「参加したことがない」方でも約2割が活動意向を持っています。（問 25）そのため、参加方法など地域福祉活動の内容を周知することも必要であり、組織に入って活動するだけでなく、住民同士の見守り、気づき、助け合いが地域福祉活動であるという意識を醸成することが重要です。
- 住民同士の助け合いについて、生活上の困りごとが生じたときに地域の方に手助けしてほしいことは、年代によらず、「緊急時の手助け」「安否確認の声かけ」が上位となっています。また、30代は「短時間の子どもの預かり」が3割を超えています。（問 19）
- 一方で、困っている家庭に対して手助けできると思うことも、「安否確認の声かけ」「緊急時の手助け」となっています。また、30代は「短時間の子どもの預かり」が約2割となっています。（問 20）
- このことから、「安否確認の声かけ」「緊急時の手助け」は住民同士で助け合うことができ、30代は「短時間の子どもの預かり」でつなげることができれば、お互いに地域福祉の一翼を担うことができると考えられます。行政は市社会福祉協議会と連携し、その仕組みづくりに努めることが重要です。

6. 防災との関わりについて

- 住民同士の見守り、助け合い、支え合う活動の中で必要だと思うものは、「高齢者の生活を支援する活動」に次いで「災害時に支え合う活動」が多くなっています。（問 23）
- 災害時の助け合いは必要だと思っており、近年の地震や豪雨災害など、防災についての意識は高まっていますが、地域の防災訓練に「参加したことはない」は5割を超え、年代では30代の7割以上が「参加したことはない」状況です。10代・20代、30代、40代では「地域で防災訓練をやっているかわからない、または地域で防災訓練を実施していない」が約2割となっています。（問 26）
- 発災時に避難行動要支援者に対してできることは「安否確認」に次いで「わからない」が多くなっています。（問 27）
- いざという時に助け合うためには、日頃から防災訓練に参加し、防災知識を得て、できることを確認することが必要となります。
- 住民の個人情報の共有については、「災害時など緊急の場合の活用に限定」した方がよいと考える方が最も多くなっています。

7. 地域福祉のあり方について

- 市社会福祉協議会、行政に取り組んでほしいことは、共通して「気軽に相談できる体制の充実」「福祉に関する情報発信の充実」が上位となっており、自由意見でも情報発信についての意見が多くなっています。また、「地域福祉活動を担う人材の育成（地域の担い手、ボランティアなど）」も共通して上位となっています。（問 29、問 30）
- 住み慣れた地域で助け合い安心して暮らせるよう、行政と市社会福祉協議会との一層の連携が求められます。

Ⅲ. 調査結果の詳細

1. 回答者について

(1) 年代、居住地域、居住歴、職業

問1 あなたの年代はどれですか。(1つだけ○)

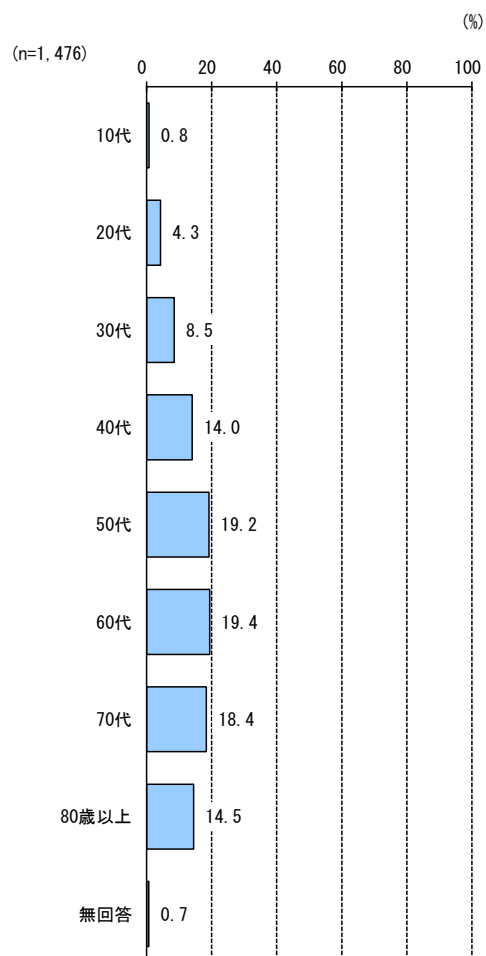
【全体】

- 「60代」が19.4%で最も多く、次いで「50代」が19.2%、「70代」が18.4%となっています。

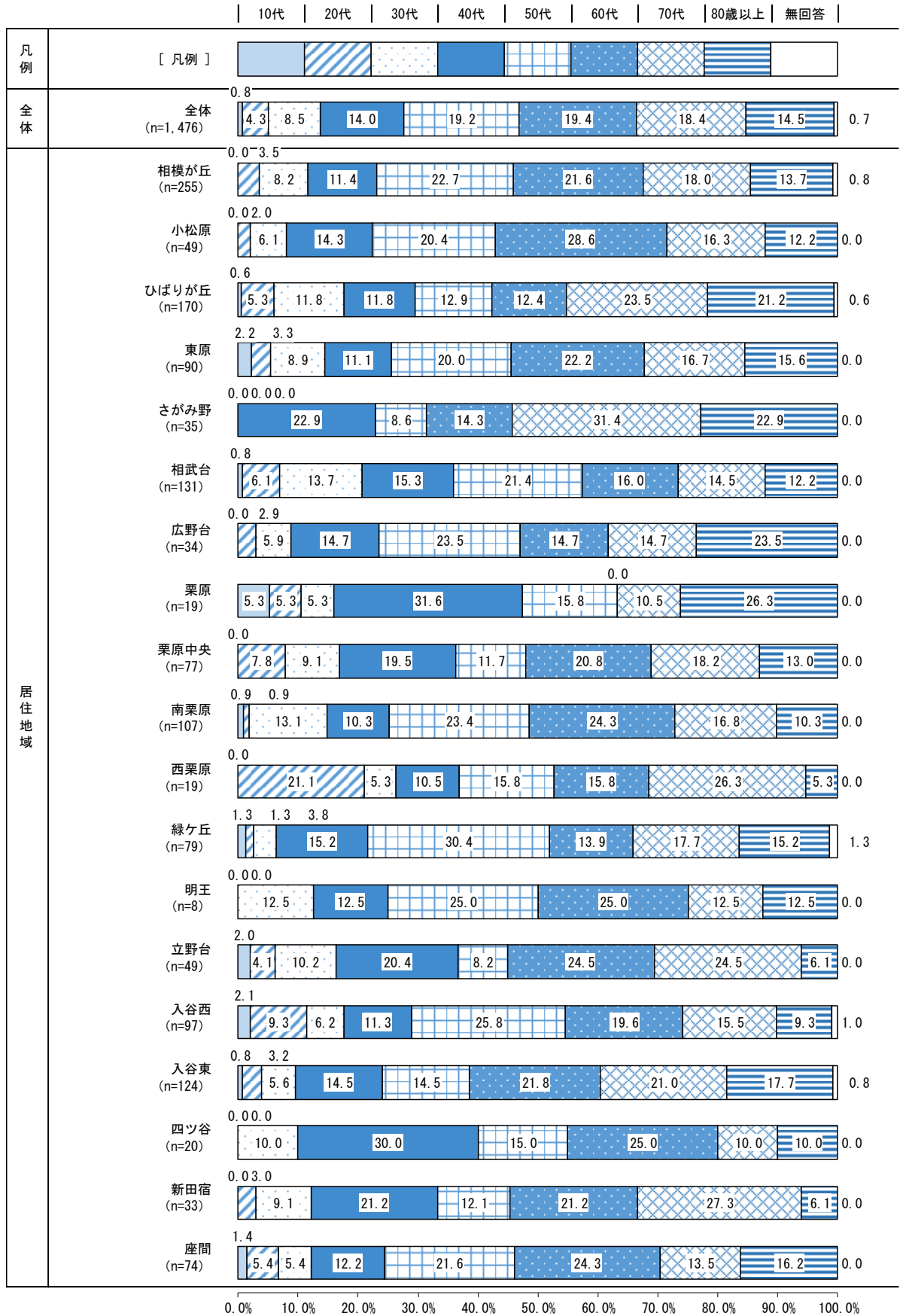
【居住地域】

- 相模が丘では、「50代」が22.7%で最も多く、次いで「60代」が21.6%、「70代」が18.0%となっています。
- 小松原では、「60代」が28.6%で最も多く、次いで「50代」が20.4%、「70代」が16.3%となっています。
- ひばりが丘では、「70代」が23.5%で最も多く、次いで「80歳以上」が21.2%、「50代」が12.9%となっています。
- 東原では、「60代」が22.2%で最も多く、次いで「50代」が20.0%、「70代」が16.7%となっています。
- さがみ野では、「70代」が31.4%で最も多く、次いで「40代」「80歳以上」が22.9%、「60代」が14.3%となっています。
- 相武台では、「50代」が21.4%で最も多く、次いで「60代」が16.0%、「40代」が15.3%となっています。
- 広野台では、「50代」「80歳以上」が23.5%で最も多く、次いで「40代」「60代」「70代」が14.7%、「30代」が5.9%となっています。
- 栗原では、「40代」が31.6%で最も多く、次いで「80歳以上」が26.3%、「50代」が15.8%となっています。
- 栗原中央では、「60代」が20.8%で最も多く、次いで「40代」が19.5%、「70代」が18.2%となっています。
- 南栗原では、「60代」が24.3%で最も多く、次いで「50代」が23.4%、「70代」が16.8%となっています。
- 西栗原では、「70代」が26.3%で最も多く、次いで「20代」が21.1%、「50代」「60代」が15.8%となっています。
- 緑ヶ丘では、「50代」が30.4%で最も多く、次いで「70代」が17.7%、「40代」「80歳以上」が15.2%となっています。
- 明王では、「50代」「60代」が25.0%で最も多く、次いで「30代」「40代」「70代」「80歳以上」が12.5%となっています。
- 立野台では、「60代」「70代」が24.5%で最も多く、次いで「40代」が20.4%、「30代」が10.2%となっています。
- 入谷西では、「50代」が25.8%で最も多く、次いで「60代」が19.6%、「70代」が15.5%となっています。
- 入谷東では、「60代」が21.8%で最も多く、次いで「70代」が21.0%、「80歳以上」が17.7%となっています。
- 四ツ谷では、「40代」が30.0%で最も多く、次いで「60代」が25.0%、「50代」が15.0%となっています。
- 新田宿では、「70代」が27.3%で最も多く、次いで「40代」「60代」が21.2%、「50代」が12.1%となっています。
- 座間では、「60代」が24.3%で最も多く、次いで「50代」が21.6%、「80歳以上」が16.2%となっています。

【年代】



【年代（居住地域別）】

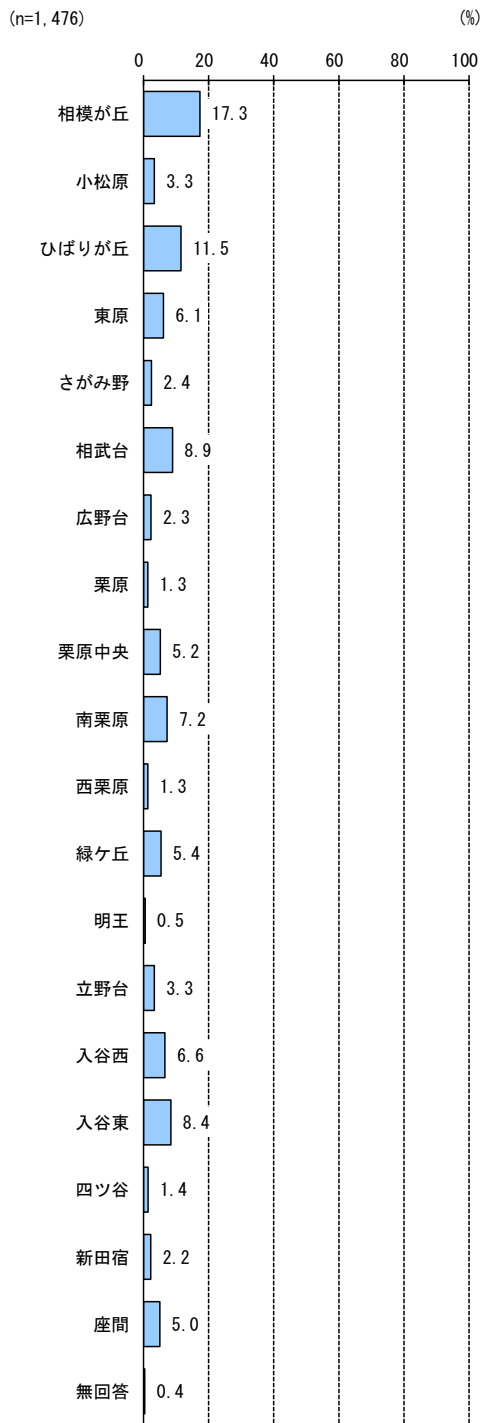


問2 あなたが住んでいる地域は次のどれですか。（1つだけ○）

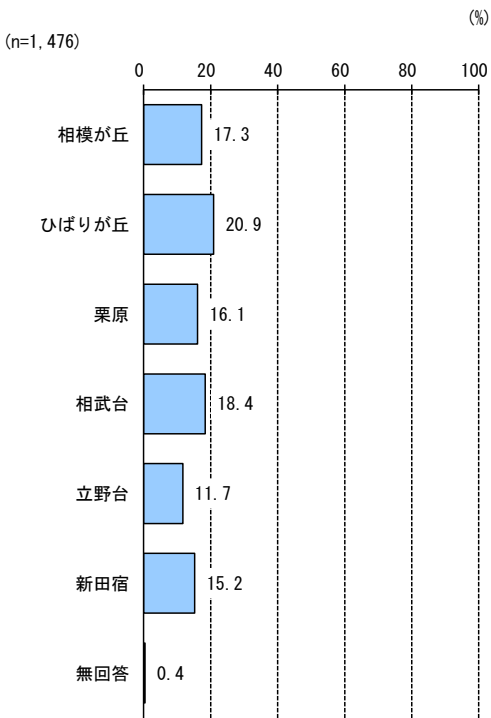
【全体】

- 「相模が丘」が17.3%で最も多く、次いで「ひばりが丘」が11.5%、「相武台」が8.9%となっています。
- 地域包括支援センター担当地区別では、「ひばりが丘」が20.9%で最も多く、次いで「相武台」が18.4%、「相模が丘」が17.3%となっています。

【居住地域】



【居住地域（地域包括支援センター担当地区別）】

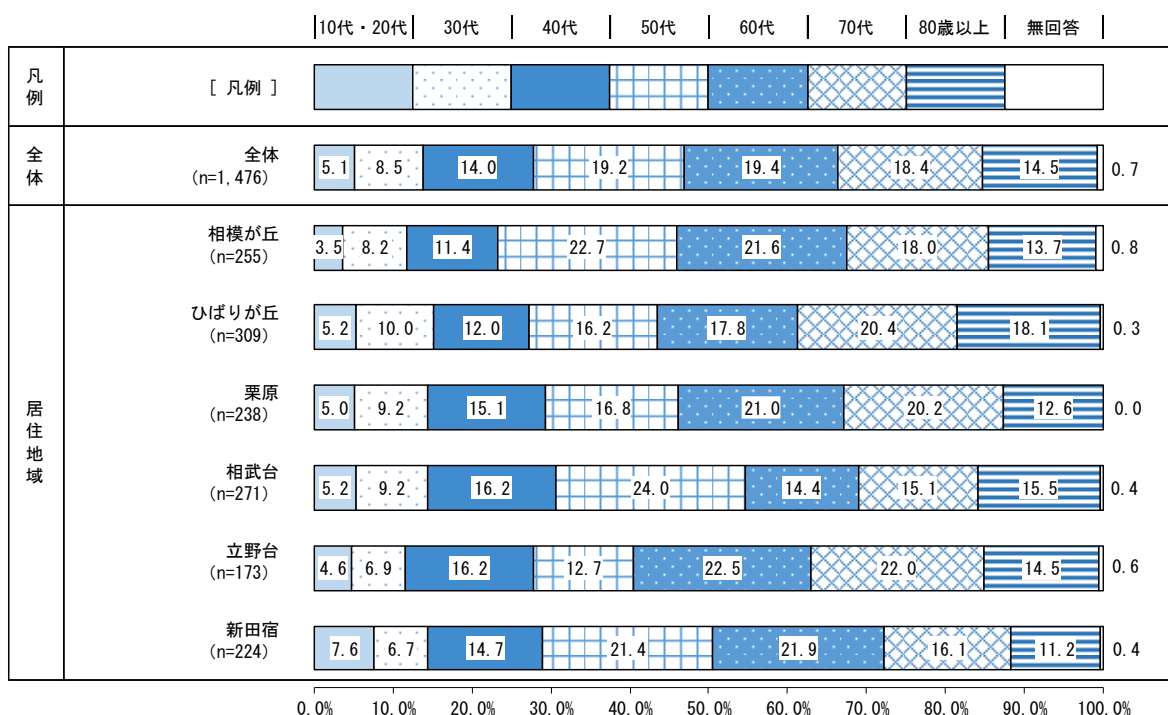


地域包括支援センター	担当地区
相模が丘	相模が丘
ひばりが丘	小松原、ひばりが丘、東原
栗原	さがみ野、栗原中央、南栗原、西栗原
相武台	相武台、広野台、栗原、緑ヶ丘、明王
立野台	立野台、入谷東
新田宿	入谷西、四ツ谷、新田宿、座間

【地域包括支援センター担当地区（以下、居住地域という）】

- 30代まで（10代・20代、30代）が占める割合は、ひばりが丘が15.2%で最も多く、次いで相武台が14.4%となっています。一方、立野台が11.5%で最も少なく、次いで相模が丘が11.7%となっています。
- 40代から60代が占める割合は、新田宿が58.0%で最も多く、次いで相模が丘が55.7%となっています。
- 70代以上が占める割合は、ひばりが丘が38.5%で最も多く、次いで立野台が36.5%となっています。

【年代（居住地域別）】



問3 あなたは現在の地域（問2で回答された地域）に何年住んでいますか。
（1つだけ○）

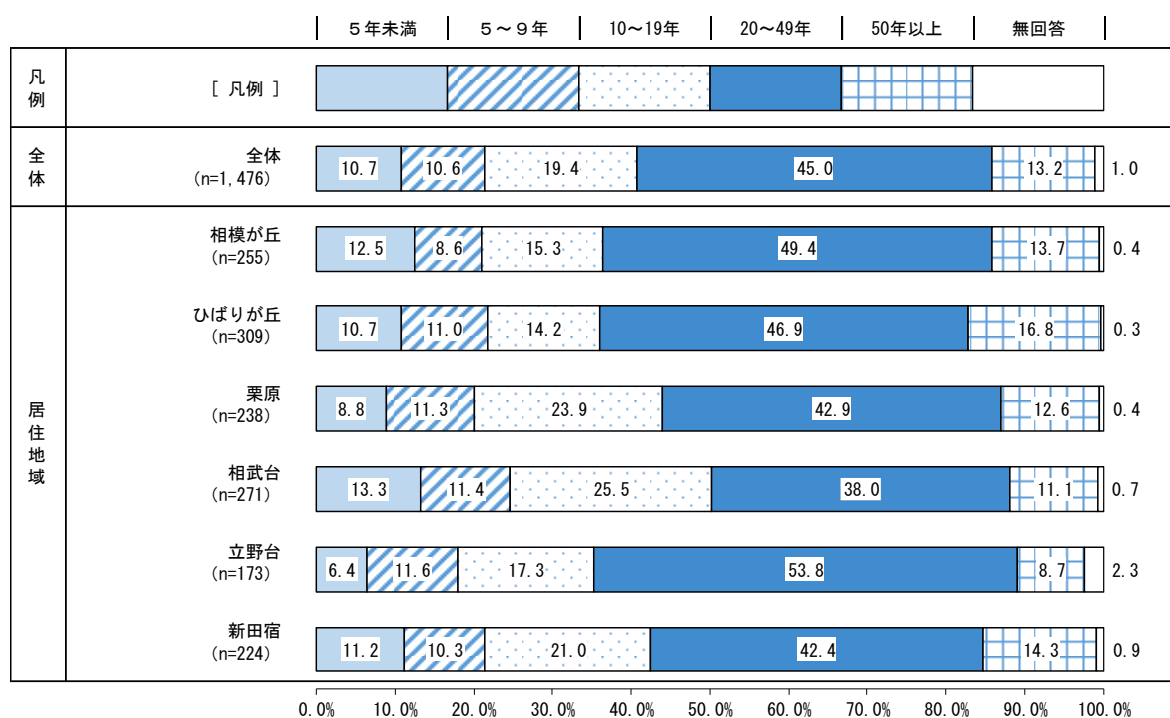
【全体】

- 「20～49 年」が 45.0%で最も多く、次いで「10～19 年」が 19.4%、「50 年以上」が 13.2%となっています。

【居住地域】

- 居住地域によらず、「20～49 年」が最も多く、特に立野台が 53.8%と他の地区に比べて多くなっています。
- 「5 年未満」は立野台が 6.4%と他の地域に比べて少なくなっています。
- 「5～9 年」は相模が丘が 8.6%と他の地域に比べて少なくなっています。
- 「10～19 年」は相模が丘が 15.3%、ひばりが丘が 14.2%、立野台が 17.3%と他の地域に比べて少なくなっています。
- 「50 年以上」はひばりが丘が 16.8%と他の地域に比べて多くなっています。

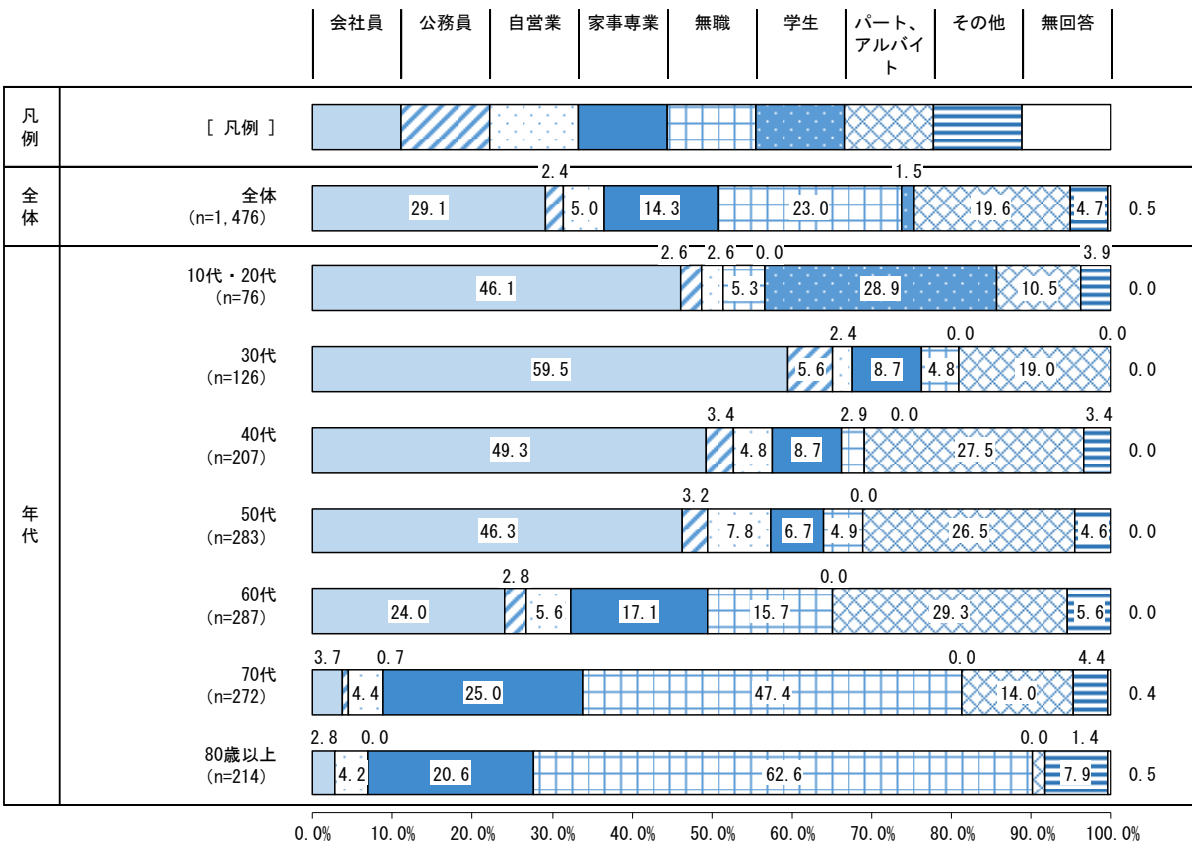
【居住歴（居住地域別）】



問4 あなたの主な職業は何ですか。(1つだけ○)

- 【全体】
- 「会社員」が29.1%で最も多く、次いで「無職」が23.0%、「パート、アルバイト」が19.6%となっています。
- 【年代】
- 10代・20代では、「会社員」が46.1%で最も多く、次いで「学生」が28.9%、「パート、アルバイト」が10.5%となっています。
 - 30代では、「会社員」が59.5%で最も多く、次いで「パート、アルバイト」が19.0%、「家事専業」が8.7%となっています。
 - 40代では、「会社員」が49.3%で最も多く、次いで「パート、アルバイト」が27.5%、「家事専業」が8.7%となっています。
 - 50代では、「会社員」が46.3%で最も多く、次いで「パート、アルバイト」が26.5%、「自営業」が7.8%となっています。
 - 60代では、「パート、アルバイト」が29.3%で最も多く、次いで「会社員」が24.0%、「家事専業」が17.1%となっています。
 - 70代では、「無職」が47.4%で最も多く、次いで「家事専業」が25.0%、「パート、アルバイト」が14.0%となっています。
 - 80歳以上では、「無職」が62.6%で最も多く、次いで「家事専業」が20.6%、「自営業」が4.2%となっています。

【職業（年代別）】



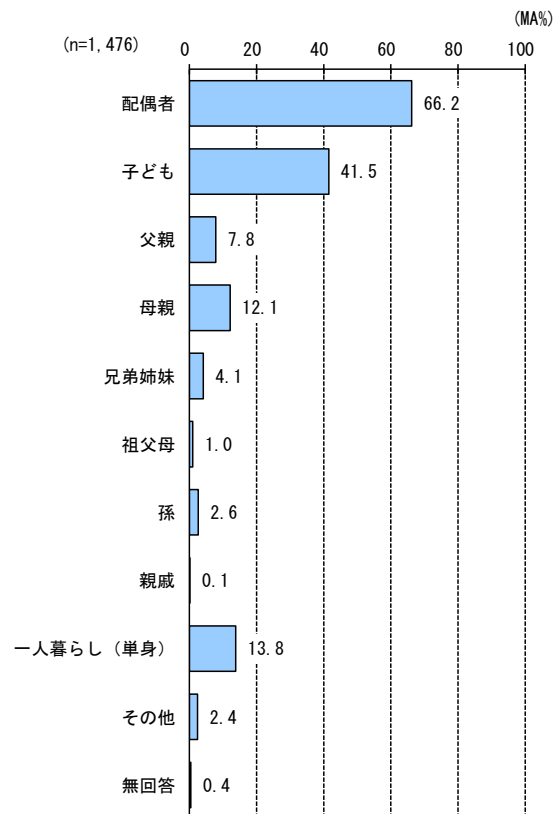
(2) 家族の状況、経済的状況

問5 あなたと一緒に住んでいるのはどなたですか。(当てはまる方全てに○)

【全体】

○ 「配偶者」が 66.2%で最も多く、次いで「子ども」が 41.5%、「一人暮らし(単身)」が 13.8%となっています。

【同居している人】



【年代】

- 「一人暮らし（単身）」は80歳以上が21.5%で最も多く、次いで70代が18.0%、30代が15.1%となっています。

【居住地域】

- 「一人暮らし（単身）」は立野台が18.5%で最も多く、次いで相模が丘が15.3%、相武台が13.3%となっています。

【同居している人（年代別・居住地域別）】

単位：％

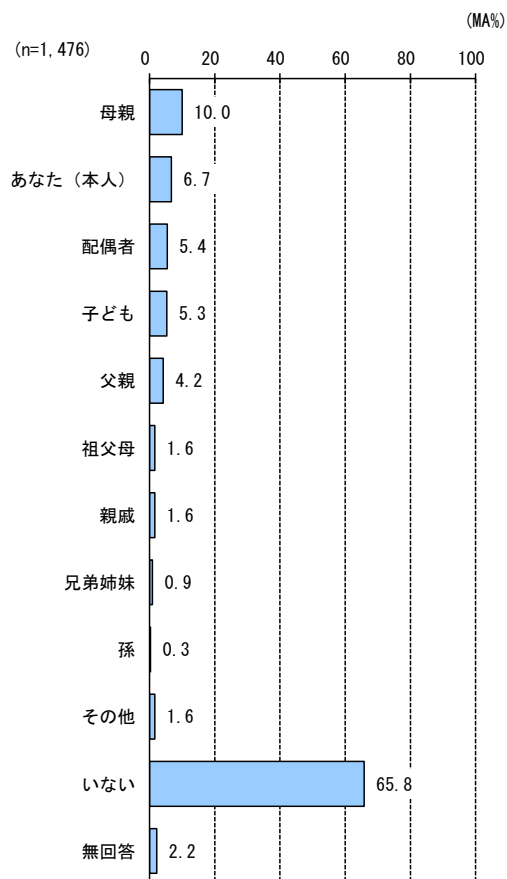
		母数 (n)	問5 あなたと一緒に住んでいるのはどなたですか。(MA)										
			配偶者	子ども	父親	母親	兄弟姉妹	祖父母	孫	親戚	一人暮らし (単身)	その他	無回答
全体		1,476	66.2	41.5	7.8	12.1	4.1	1.0	2.6	0.1	13.8	2.4	0.4
年代	10代・20代	76	▼ 18.4	▼ 13.2	△ 52.6	△ 65.8	△ 42.1	9.2	—	1.3	7.9	6.6	—
	30代	126	61.9	△ 55.6	15.9	18.3	7.1	4.0	—	0.8	15.1	4.8	—
	40代	207	74.4	△ 65.2	15.0	17.4	1.4	—	—	—	10.1	—	—
	50代	283	69.6	49.1	7.4	17.0	3.2	0.7	0.4	—	9.9	1.4	—
	60代	287	△ 77.4	36.2	0.7	7.0	1.0	0.3	2.4	—	11.1	1.0	0.3
	70代	272	71.0	▼ 29.8	—	▼ 0.4	0.4	—	4.4	—	18.0	2.9	0.4
	80歳以上	214	▼ 53.3	32.7	—	—	1.4	—	8.9	—	21.5	4.7	0.5
居住地域	相模が丘	255	65.1	41.6	7.8	10.6	2.7	0.8	3.1	—	15.3	3.5	0.8
	ひばりが丘	309	68.6	38.8	8.1	12.6	5.8	0.6	2.6	—	11.7	2.6	0.3
	栗原	238	70.2	45.4	5.5	10.1	5.0	1.7	2.5	0.4	13.0	2.1	—
	相武台	271	69.0	46.1	7.4	10.3	2.6	1.1	3.3	—	13.3	1.8	—
	立野台	173	61.8	36.4	9.8	12.1	4.6	0.6	1.2	—	18.5	2.3	—
	新田宿	224	61.2	39.7	8.5	17.4	3.6	1.3	2.7	0.4	12.5	2.2	—

問6 普段の生活で身近に介護や支援が必要な方はいますか。(当てはまる方全てに○)

【全体】

○ 「いない」が65.8%で最も多く、次いで「母親」が10.0%、「あなた（本人）」が6.7%となっています。

【介護や支援が必要な方】



【年代】

- 80 歳以上では、身近に介護や支援が必要な方が「いない」が 51.9%と他の年代に比べて少なく、「あなた（本人）」が 25.2%、「配偶者」が 12.6%となっています。
- 50 代、60 代では「母親」が約 2 割となっています。

【居住地域】

- 新田宿では、身近に介護や支援が必要な方が「いない」が 58.5%と他の地域に比べて少なく、「母親」が 15.2%となっています。

【介護や支援が必要な方（年代別・居住地域別）】

単位：％

		母数 (n)	問6 普段の生活で身近に介護や支援が必要な方はいますか。(MA)												無 回 答
			あ な た (本 人)	配 偶 者	子 ど も	父 親	母 親	兄 弟 姉 妹	祖 父 母	孫	親 戚	そ の 他	い な い		
全体		1,476	6.7	5.4	5.3	4.2	10.0	0.9	1.6	0.3	1.6	1.6	65.8	2.2	
年 代	10代・20代	76	2.6	-	-	-	1.3	1.3	10.5	-	-	1.3	△ 82.9	1.3	
	30代	126	3.2	3.2	11.9	1.6	6.3	0.8	5.6	-	0.8	0.8	72.2	1.6	
	40代	207	3.4	1.9	9.7	7.7	7.2	1.4	2.4	-	2.4	1.4	68.6	0.5	
	50代	283	3.5	1.1	2.8	10.6	△ 21.9	1.1	0.7	0.4	1.1	2.1	62.5	0.4	
	60代	287	1.7	4.5	3.5	4.9	△ 20.2	0.7	0.7	0.3	2.1	1.4	64.1	1.0	
	70代	272	5.9	10.3	3.7	-	1.5	0.7	-	0.4	2.9	1.1	72.4	3.3	
	80歳以上	214	△ 25.2	12.6	7.0	-	-	0.9	-	0.5	0.5	2.3	▼ 51.9	5.1	
居 住 地 域	相模が丘	255	5.1	4.3	3.9	3.9	7.5	1.2	1.6	-	1.2	2.0	71.0	2.4	
	ひばりが丘	309	6.1	5.8	4.5	4.5	10.4	2.3	1.3	0.3	1.3	1.9	67.6	0.6	
	栗原	238	6.3	7.1	5.9	1.7	9.7	-	2.5	0.4	2.5	2.1	64.3	1.7	
	相武台	271	7.0	4.8	6.3	5.5	11.1	0.7	1.8	0.7	1.5	0.4	63.5	3.0	
	立野台	173	6.9	5.8	4.6	4.0	5.8	-	1.7	-	0.6	1.2	71.1	2.9	
	新田宿	224	8.9	4.5	6.7	5.4	15.2	0.9	0.9	-	2.7	1.8	58.5	1.8	

問7 あなたは現在の暮らしの経済的状況についてどう感じていますか。(1つだけ○)

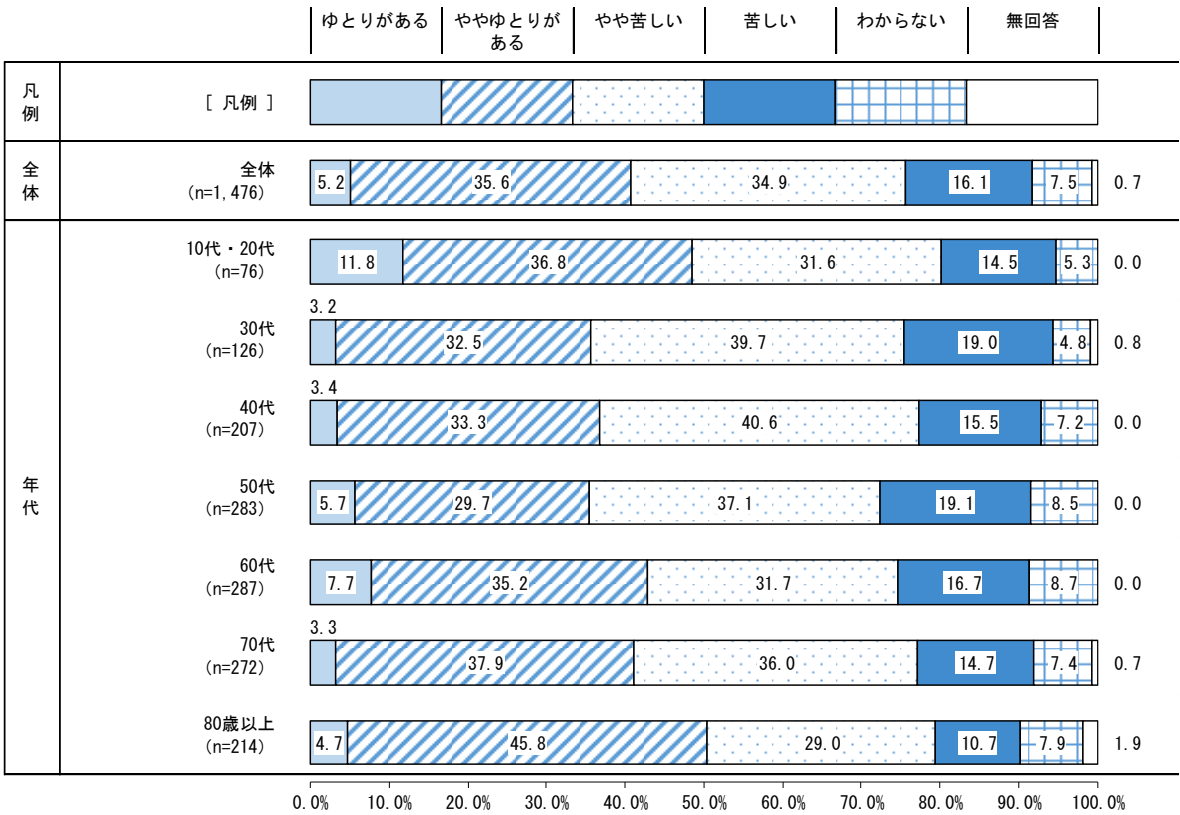
【全体】

- 「ややゆとりがある」が 35.6%で最も多く、次いで「やや苦しい」が 34.9%、「苦しい」が 16.1%となっています。「ゆとりがある」「ややゆとりがある」を合わせた“経済的にゆとりがある方”は 40.8%となっています。「やや苦しい」「苦しい」を合わせた“経済的に苦しい方”は 51.0%となっています。

【年代】

- 「ゆとりがある」は 10代・20代が 11.8%と他の年代に比べて多くなっています。
- 「ゆとりがある」「ややゆとりがある」を合わせた“経済的にゆとりがある方”は 10代・20代が 48.6%、80歳以上が 50.5%と他の年代に比べて多くなっています。
- 「やや苦しい」「苦しい」を合わせた“経済的に苦しい方”は 30代が 58.7%、40代が 56.1%、50代が 56.2%となっています。

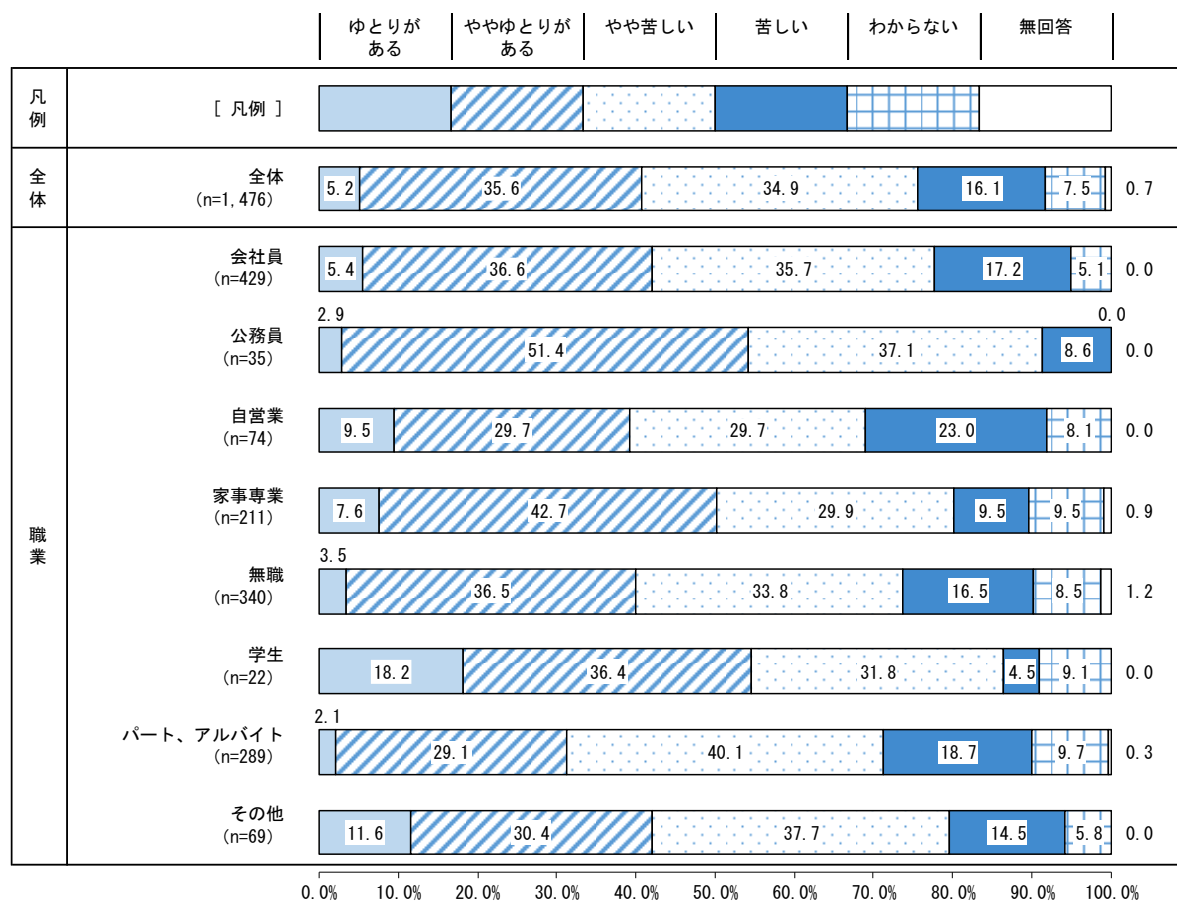
【経済的状況（年代別）】



【職業】

- 「ゆとりがある」は学生が 18.2%と他の職業に比べて多くなっています。
- 「ややゆとりがある」は公務員が 51.4%と他の職業に比べて多くなっています。
- 「やや苦しい」はパート、アルバイトが 40.1%と他の職業に比べて多くなっています。
- 「苦しい」は自営業が 23.0%、パート、アルバイトが 18.7%、会社員が 17.2%となっています。
- 「ゆとりがある」「ややゆとりがある」を合わせた“経済的にゆとりがある方”は公務員が 54.3%、家事専業が 50.3%、学生が 54.6%と他の職業に比べて多くなっています。

【経済的状況（職業別）】



2. 福祉について

問8 あなたは福祉に関心をお持ちですか。(1つだけ○)

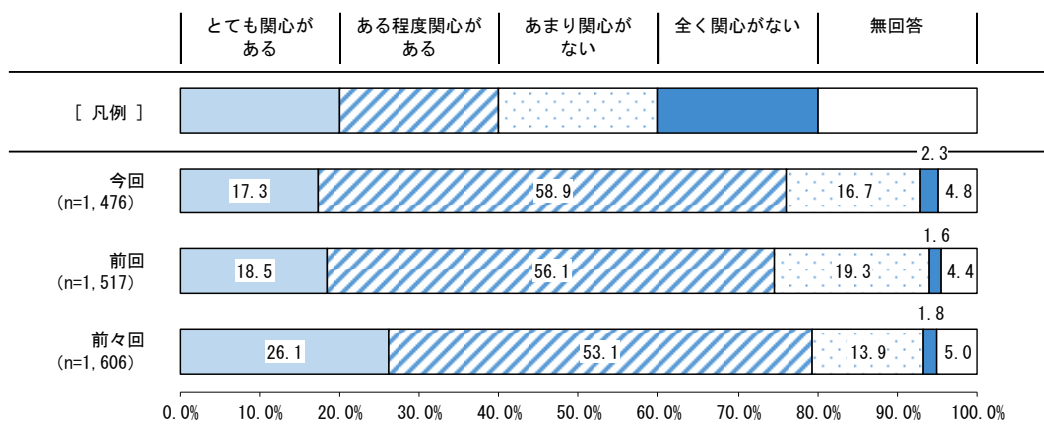
【全体】

- 「ある程度関心がある」が58.9%で最も多く、次いで「とても関心がある」が17.3%、「あまり関心がない」が16.7%となっています。「とても関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた“福祉に関心がある方”は76.2%となっています。「あまり関心がない」「全く関心がない」を合わせた“福祉に関心がない方”は19.0%となっています。

【(参考) 経年比較】

- 「とても関心がある」が前回調査より1.2ポイント、前々回調査より8.8ポイント低くなっています。
- 一方、「ある程度関心がある」が前回調査より2.8ポイント、前々回調査より5.8ポイント高くなっています。

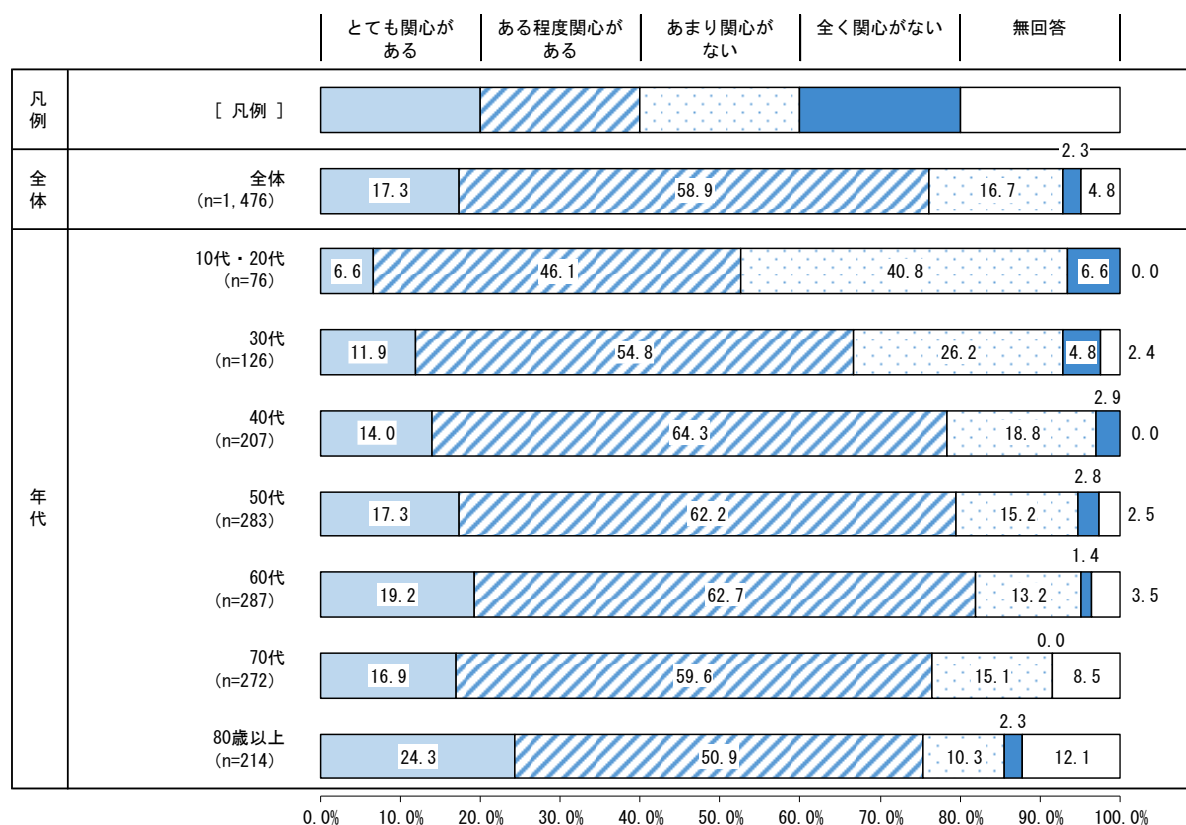
【福祉への関心（全体・経年比較）】



【年代】

- 60代までは、年齢が高いほど「とても関心がある」が多くなる傾向がみられ、「とても関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた“福祉に関心がある方”は60代が81.9%で最も多くなっています。
- 80歳以上は「とても関心がある」が24.3%と他の年代に比べて多くなっています。
- 「あまり関心がない」「全く関心がない」を合わせた“福祉に関心がない方”は10代・20代が47.4%と他の年代に比べて多くなっています。

【福祉への関心（年代別）】

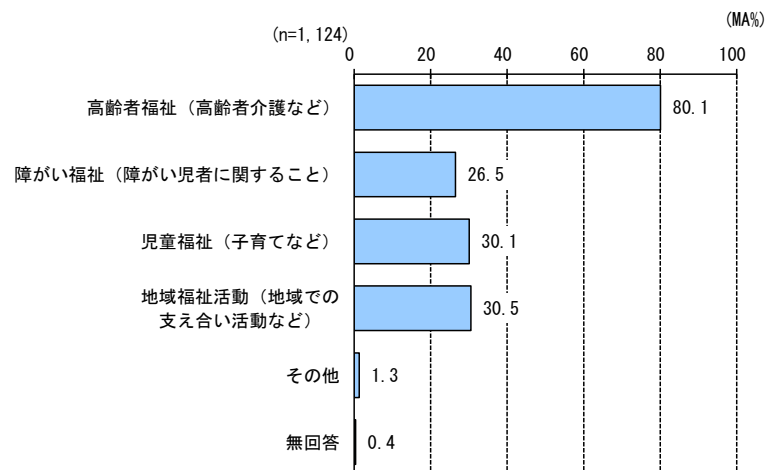


問8-(1) (福祉に「とても関心がある」「ある程度関心がある」方)
どの福祉の分野に関心をお持ちですか。(当てはまるもの全てに○)

【全体】

○ 「高齢者福祉（高齢者介護など）」が80.1%で最も多く、次いで「地域福祉活動（地域での支え合い活動など）」が30.5%、「児童福祉（子育てなど）」が30.1%となっています。

【関心のある分野】



【年代】

- 10代・20代では、「児童福祉（子育てなど）」が52.5%で最も多く、次いで「高齢者福祉（高齢者介護など）」が50.0%、「地域福祉活動（地域での支え合い活動など）」が32.5%となっています。
- 30代では、「児童福祉（子育てなど）」が78.6%で最も多く、次いで「高齢者福祉（高齢者介護など）」が41.7%、「障がい福祉（障がい児者に関すること）」が38.1%となっています。
- 40代では、「高齢者福祉（高齢者介護など）」が72.2%で最も多く、次いで「児童福祉（子育てなど）」が59.9%、「障がい福祉（障がい児者に関すること）」が37.7%となっています。
- 50代以上では、「高齢者福祉（高齢者介護など）」が最も多く、次いで「地域福祉活動（地域での支え合い活動など）」、「障がい福祉（障がい児者に関すること）」となっています。

【居住地域】

- 「障がい福祉（障がい児者に関すること）」は相武台が30.2%、新田宿が28.6%と他の地域に比べて多くなっています。
- 「児童福祉（子育てなど）」は栗原が34.4%、相武台が34.9%と他の地域に比べて多くなっています。

【関心のある分野（年代別・居住地域別）】

単位：％

		母数 (n)	問8-(1) どの福祉の分野に関心をお持ちですか。(MA)					
			高齢者福祉 (高齢者介護など)	障がい福祉 (障がい児者に関する こと)	児童福祉 (子育てなど)	地域福祉活動 (地域での支え合い活動 など)	その他	無回答
	全体	1,124	80.1	26.5	30.1	30.5	1.3	0.4
年代	10代・20代	40	▼ 50.0	17.5	△ 52.5	32.5	2.5	-
	30代	84	▼ 41.7	△ 38.1	△ 78.6	28.6	-	-
	40代	162	72.2	△ 37.7	△ 59.9	30.9	1.9	-
	50代	225	80.0	28.9	27.6	32.9	2.7	0.4
	60代	235	89.4	27.2	▼ 17.9	30.6	1.3	0.4
	70代	208	88.9	19.7	▼ 14.4	27.4	-	0.5
	80歳以上	161	89.4	▼ 14.9	▼ 10.6	29.2	0.6	1.2
居住地域	相模が丘	193	79.8	23.3	25.9	27.5	0.5	1.0
	ひばりが丘	227	81.9	26.0	30.0	32.6	0.9	0.4
	栗原	186	78.0	25.3	34.4	26.9	0.5	0.5
	相武台	212	78.3	30.2	34.9	32.1	1.9	0.5
	立野台	133	82.0	24.1	25.6	29.3	2.3	-
	新田宿	168	80.4	28.6	27.4	33.3	1.8	-

問8-（2）（福祉に「あまり関心がない」「全く関心がない」方）
関心がないと回答された理由は何ですか。（1つだけ○）

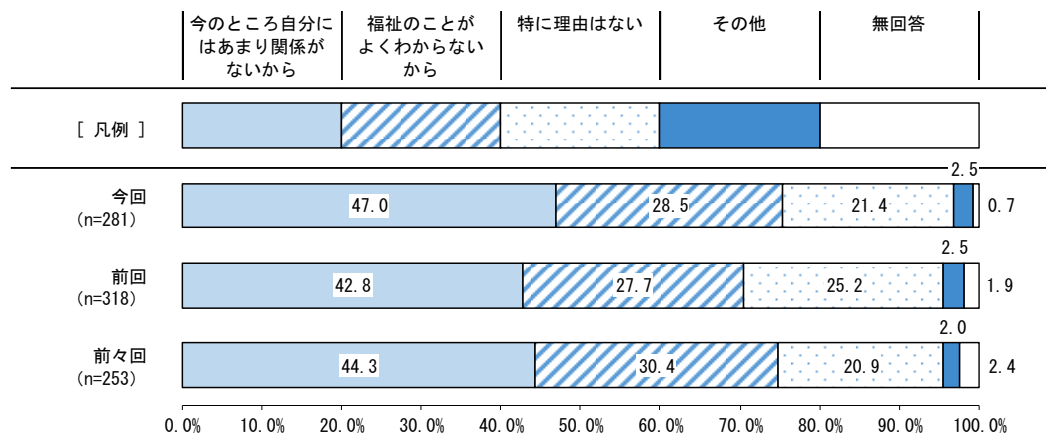
【全体】

- 「今のところ自分にはあまり関係がないから」が47.0%で最も多く、次いで「福祉のことがよくわからないから」が28.5%、「特に理由はない」が21.4%となっています。

【(参考) 経年比較】

- 「今のところ自分にはあまり関係がないから」が前回調査より4.2ポイント高くなっています。

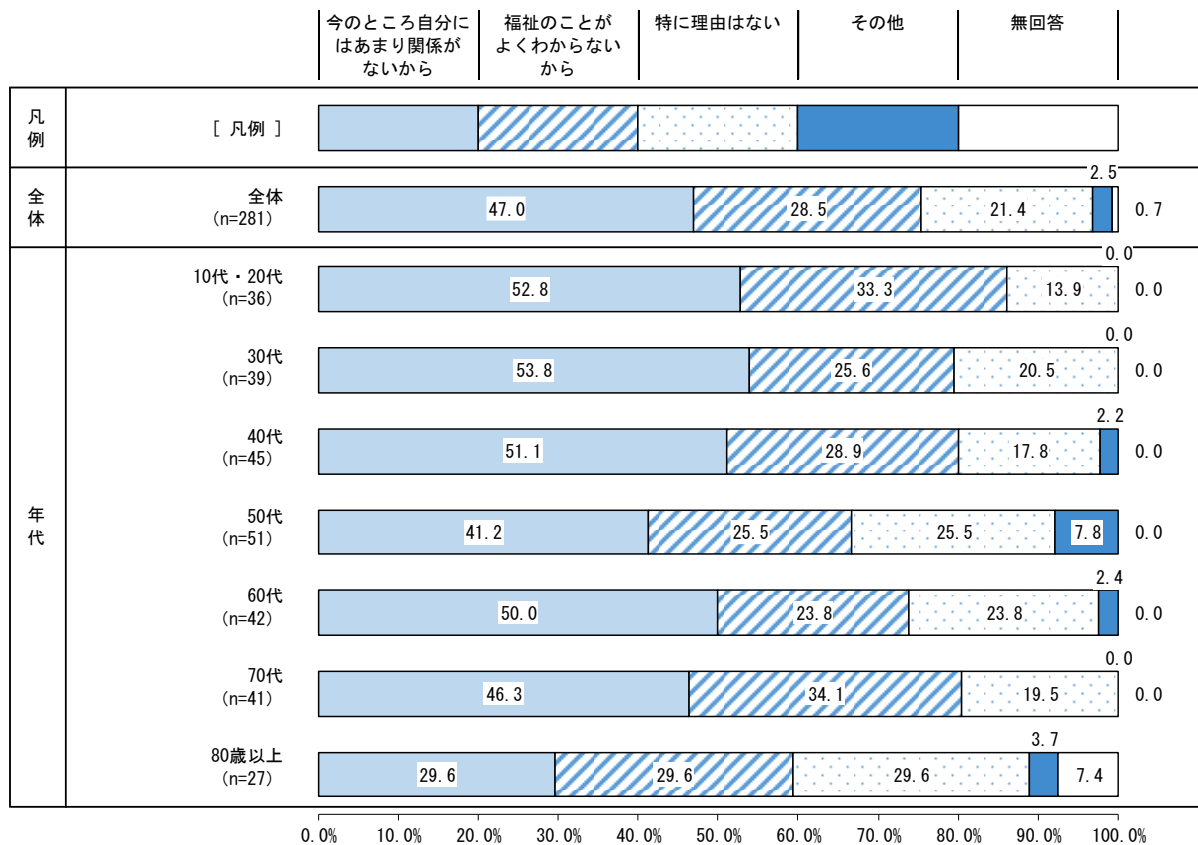
【関心がない理由（全体・経年比較）】



【年代】

- 「今のところ自分にはあまり関係がないから」は 80 歳以上が 29.6%と他の年代に比べて少なくなっています。
- 「福祉のことがよくわからないから」は 10 代・20 代が 33.3%、70 代が 34.1%と他の年代に比べて多くなっています。

【関心がない理由（年代別）】



問9 あなたは次の団体や機関を知っていますか。（当てはまるもの全てに○）

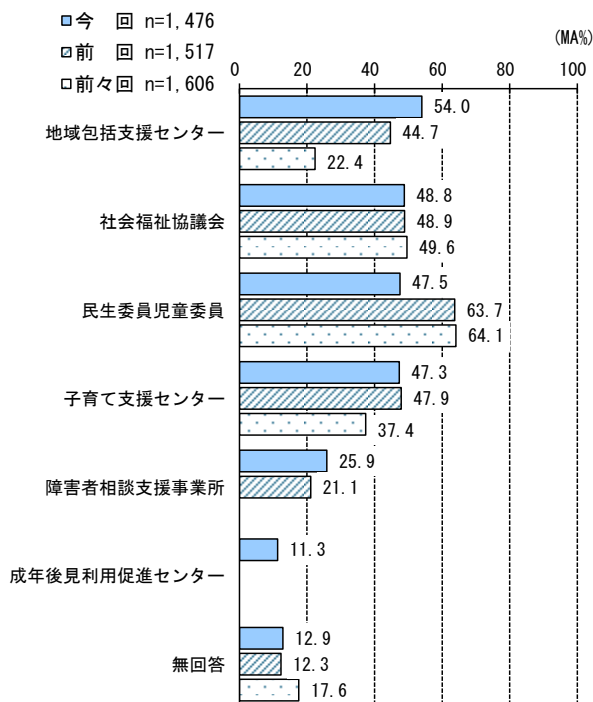
【全体】

- 「地域包括支援センター」が54.0%で最も多く、次いで「社会福祉協議会」が48.8%、「民生委員児童委員」が47.5%となっています。

【（参考）経年比較】

- 「地域包括支援センター」が前回調査より9.3ポイント、前々回調査より31.6ポイント高くなっています。
- 「民生委員児童委員」が前回調査より16.2ポイント、前々回調査より16.6ポイント低くなっています。

【団体や機関の認知状況（全体・経年比較）】



※「成年後見利用促進センター」は前回、前々回調査にはない。
「障害者相談支援事業所」は前々回調査にはない。

【年代】

- 10代・20代では、「子育て支援センター」が71.1%で最も多く、次いで「地域包括支援センター」が27.6%、「障害者相談支援事業所」が22.4%となっています。
- 30代では、「子育て支援センター」が77.0%で最も多く、次いで「地域包括支援センター」が36.5%、「障害者相談支援事業所」が31.0%となっています。
- 40代では、「子育て支援センター」が70.0%で最も多く、次いで「地域包括支援センター」が48.3%、「社会福祉協議会」が42.0%となっています。
- 50代では、「子育て支援センター」が56.9%で最も多く、次いで「地域包括支援センター」が55.8%、「民生委員児童委員」が51.6%となっています。
- 60代では、「社会福祉協議会」が59.9%で最も多く、次いで「地域包括支援センター」が58.9%、「民生委員児童委員」が58.2%となっています。
- 70代では、「地域包括支援センター」が61.0%で最も多く、次いで「社会福祉協議会」が58.5%、「民生委員児童委員」が48.2%となっています。
- 80歳以上では、「地域包括支援センター」が60.7%で最も多く、次いで「民生委員児童委員」が59.3%、「社会福祉協議会」が54.7%となっています。

【居住地域】

- 相模が丘では、「地域包括支援センター」が55.3%で最も多く、次いで「社会福祉協議会」が48.2%、「民生委員児童委員」が46.3%となっています。
- ひばりが丘では、「地域包括支援センター」が59.2%で最も多く、次いで「子育て支援センター」が50.5%、「民生委員児童委員」が48.9%となっています。
- 栗原では、「子育て支援センター」が52.5%で最も多く、次いで「社会福祉協議会」が49.6%、「地域包括支援センター」が48.3%となっています。
- 相武台では、「地域包括支援センター」が52.8%で最も多く、次いで「社会福祉協議会」が51.3%、「民生委員児童委員」が50.6%となっています。
- 立野台では、「社会福祉協議会」が51.4%で最も多く、次いで「地域包括支援センター」が50.3%、「民生委員児童委員」が46.2%となっています。
- 新田宿では、「地域包括支援センター」が55.4%で最も多く、次いで「社会福祉協議会」が50.0%、「民生委員児童委員」が44.6%となっています。

【団体や機関の認知状況（年代別・居住地域別）】

単位：％

		母数 (n)	問9 あなたは次の団体や機関を知っていますか。(MA)						
			民生 委員 児童 委員	社会 福祉 協議 会	地域 包括 支援 セン ター	障 害 者 相 談 支 援 事 業 所	子 育 て 支 援 セン ター	成 年 後 見 利 用 促 進 セン ター	無 回 答
全体		1,476	47.5	48.8	54.0	25.9	47.3	11.3	12.9
年代	10代・20代	76	▼ 17.1	▼ 18.4	▼ 27.6	22.4	△ 71.1	6.6	15.8
	30代	126	▼ 28.6	▼ 27.0	▼ 36.5	31.0	△ 77.0	7.9	14.3
	40代	207	37.7	42.0	48.3	29.0	△ 70.0	9.7	13.5
	50代	283	51.6	45.6	55.8	29.7	56.9	10.6	13.4
	60代	287	△ 58.2	△ 59.9	58.9	32.1	41.5	13.2	8.7
	70代	272	48.2	58.5	61.0	21.0	▼ 27.6	14.0	14.0
	80歳以上	214	△ 59.3	54.7	60.7	▼ 14.5	▼ 20.6	11.7	13.6
居住地域	相模が丘	255	46.3	48.2	55.3	25.9	44.7	11.8	12.2
	ひばりが丘	309	48.9	43.7	59.2	27.5	50.5	9.4	11.3
	栗原	238	47.5	49.6	48.3	28.6	52.5	8.8	11.8
	相武台	271	50.6	51.3	52.8	30.3	49.4	11.4	16.2
	立野台	173	46.2	51.4	50.3	16.8	40.5	11.0	14.5
	新田宿	224	44.6	50.0	55.4	22.3	42.9	16.1	11.6

【同居家族】

- 同居人ありでは、「地域包括支援センター」が 52.7%で最も多く、次いで「子育て支援センター」が 49.7%、「社会福祉協議会」が 48.8%となっています。
- 一人暮らしでは、「地域包括支援センター」が 62.1%で最も多く、次いで「社会福祉協議会」が 49.3%、「民生委員児童委員」が 44.3%となっています。
- 「地域包括支援センター」は一人暮らしが 62.1%と同居人ありの 52.7%に比べて多くなっています。

【身近に介護や支援が必要な方の有無】

- 支援が必要な親族ありでは、「地域包括支援センター」が 63.2%で最も多く、次いで「社会福祉協議会」が 49.5%、「民生委員児童委員」が 47.6%となっています。
- 支援が必要な親族なしでは、「子育て支援センター」が 50.3%で最も多く、次いで「地域包括支援センター」が 49.6%、「社会福祉協議会」が 48.6%となっています。
- 「地域包括支援センター」は支援が必要な親族ありが 63.2%と支援が必要な親族なしの 49.6%に比べて多く、「子育て支援センター」は支援が必要な親族なしが 50.3%と支援が必要な親族ありの 41.6%に比べて多くなっています。

【団体や機関の認知状況（同居家族別・介護や支援が必要な方の有無別）】

単位：％

		母数 (n)	問9 あなたは次の団体や機関を知っていますか。(MA)						無 回 答
			民 生 委 員 児 童 委 員	社 会 福 祉 協 議 会	地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー	障 害 者 相 談 支 援 事 業 所	子 育 て 支 援 セ ン タ ー	成 年 後 見 利 用 促 進 セ ン タ ー	
全体		1,476	47.5	48.8	54.0	25.9	47.3	11.3	12.9
家 同 族 居	同居人あり	1,267	48.1	48.8	52.7	26.0	49.7	11.3	12.2
	一人暮らし	203	44.3	49.3	62.1	25.6	▼ 32.5	11.8	16.7
支 介 援 護	支援が必要な親族あり	473	47.6	49.5	63.2	26.8	41.6	12.1	11.0
	支援が必要な親族なし	971	47.9	48.6	49.6	25.6	50.3	10.9	13.5

【経済的状況】

- ゆとりがあるでは、「社会福祉協議会」が59.7%で最も多く、次いで「民生委員児童委員」「地域包括支援センター」が57.1%、「子育て支援センター」が53.2%となっています。
- ややゆとりがあるでは、「地域包括支援センター」が56.1%で最も多く、次いで「社会福祉協議会」が51.3%、「民生委員児童委員」が48.7%となっています。
- やや苦しいでは、「地域包括支援センター」が52.2%で最も多く、次いで「社会福祉協議会」が48.0%、「子育て支援センター」が47.6%となっています。
- 苦しいでは、「地域包括支援センター」が51.9%で最も多く、次いで「子育て支援センター」が48.9%、「社会福祉協議会」が45.6%となっています。
- 経済的にゆとりがある人は、全ての団体や機関の認知度が他の区分に比べて多くなっています。

【団体や機関の認知状況（経済的状況別）】

単位：％

		母数 (n)	問9 あなたは次の団体や機関を知っていますか。(MA)						
			民生委員 児童委員	社会福祉協議会	地域包括支援センター	障害者相談支援事業所	子育て支援センター	成年後見利用促進センター	無回答
全体		1,476	47.5	48.8	54.0	25.9	47.3	11.3	12.9
経済的状況	ゆとりがある	77	57.1	△ 59.7	57.1	32.5	53.2	18.2	11.7
	ややゆとりがある	526	48.7	51.3	56.1	22.2	46.0	9.9	13.1
	やや苦しい	515	47.2	48.0	52.2	28.2	47.6	11.7	12.0
	苦しい	237	40.9	45.6	51.9	28.3	48.9	12.2	15.2
	わからない	111	52.3	39.6	56.8	25.2	45.0	10.8	9.9

問10 あなたは自分に必要な福祉サービスの情報をどの程度入手できていると思いますか。（１つだけ○）

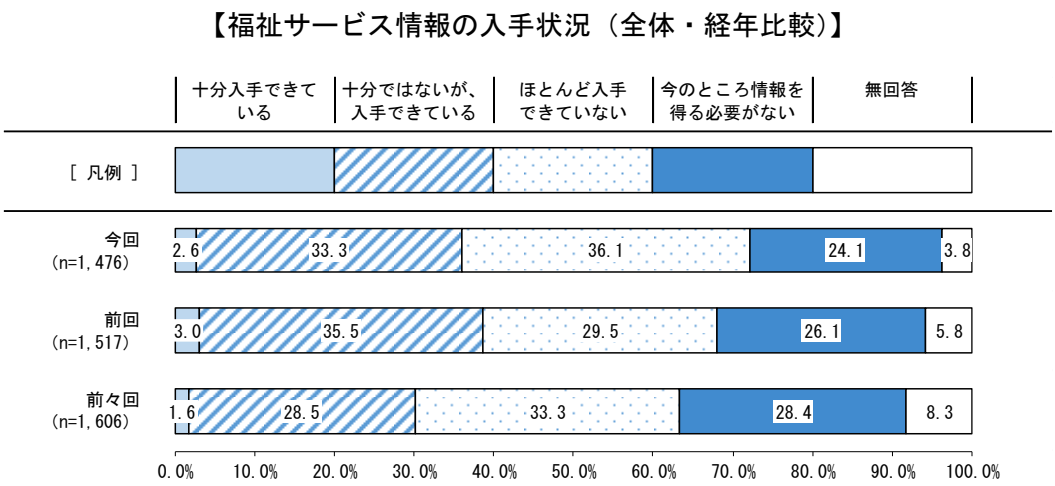
- 【全体】

○ 「ほとんど入手できていない」が 36.1%で最も多く、次いで「十分ではないが、入手できている」が 33.3%、「今のところ情報を得る必要がない」が 24.1%となっています。

【(参考) 経年比較】

○ 「十分入手できている」「十分ではないが、入手できている」を合わせると 35.9%で、前々回調査より 5.8 ポイント高く、前回調査より 2.6 ポイント低くなっています。

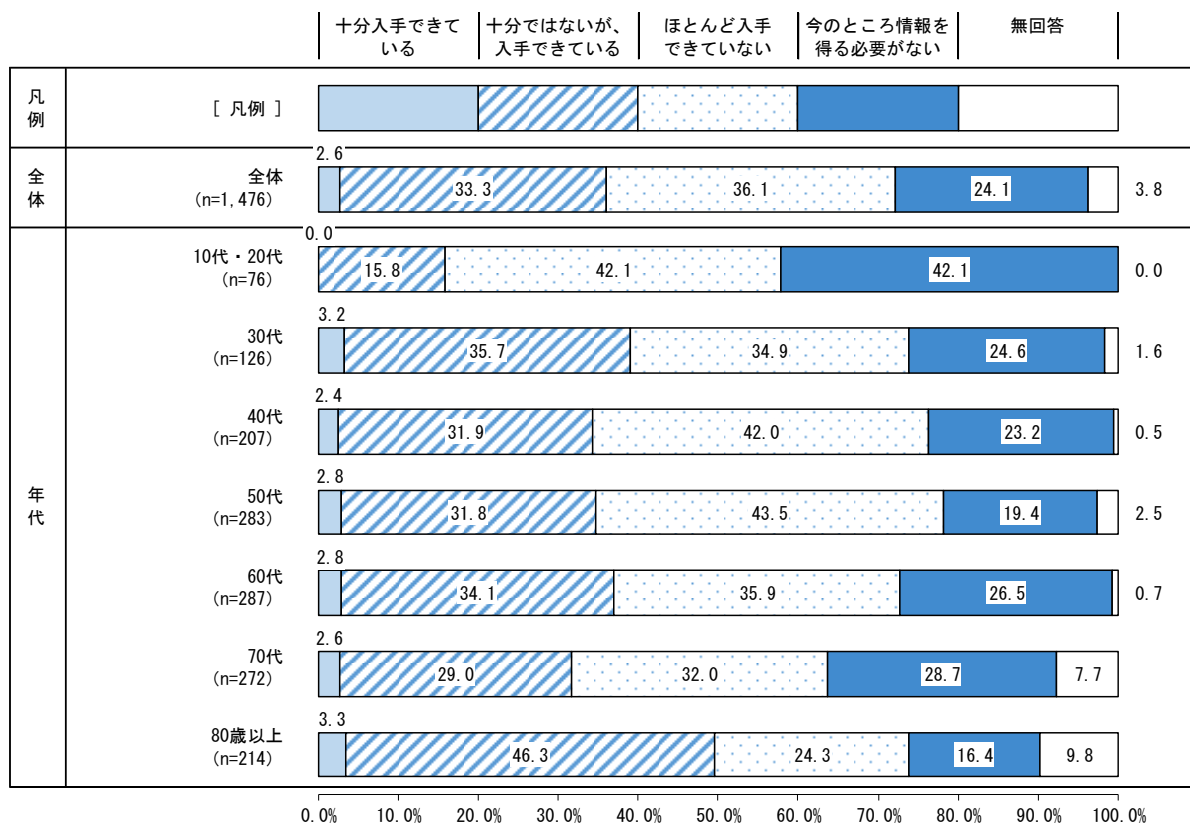
○ また、「ほとんど入手できていない」が前回調査より 6.6 ポイント高くなっています。



【年代】

- 「ほとんど入手できていない」は10代・20代、40代、50代が40%台、30代、60代、70代が30%台となっており、80歳以上が24.3%となっています。
- 「十分ではないが、入手できている」は10代・20代が15.8%、30代から60代が30%台、70代が29.0%、80歳以上が46.3%となっています。
- 「十分入手できている」「十分ではないが、入手できている」を合わせた“入手できている”方は、80歳以上が約5割であり、30代から70代は4割に満たず、10代・20代は15.8%となっています。

【福祉サービス情報の入手状況（年代別）】



【同居家族】

- 一人暮らしでは、「十分ではないが、入手できている」が 34.5%で最も多く、次いで「ほとんど入手できていない」が 30.0%、「今のところ情報を得る必要がない」が 28.1%となっています。
- 「ほとんど入手できていない」は同居人ありが 37.0%と一人暮らしの 30.0%に比べて多くなっています。

【身近に介護や支援が必要な方の有無】

- 支援が必要な親族ありでは、「十分ではないが、入手できている」が 46.1%で最も多く、次いで「ほとんど入手できていない」が 32.6%、「今のところ情報を得る必要がない」が 13.1%となっています。
- 支援が必要な親族なしでは、「ほとんど入手できていない」が 38.0%で最も多く、次いで「今のところ情報を得る必要がない」が 29.6%、「十分ではないが、入手できている」が 27.3%となっています。
- 「十分ではないが、入手できている」は支援が必要な親族ありが 46.1%と支援が必要な親族なしの 27.3%に比べて多くなっています。

【福祉サービス情報の入手状況（同居家族別・身近に介護や支援が必要な方の有無別）】

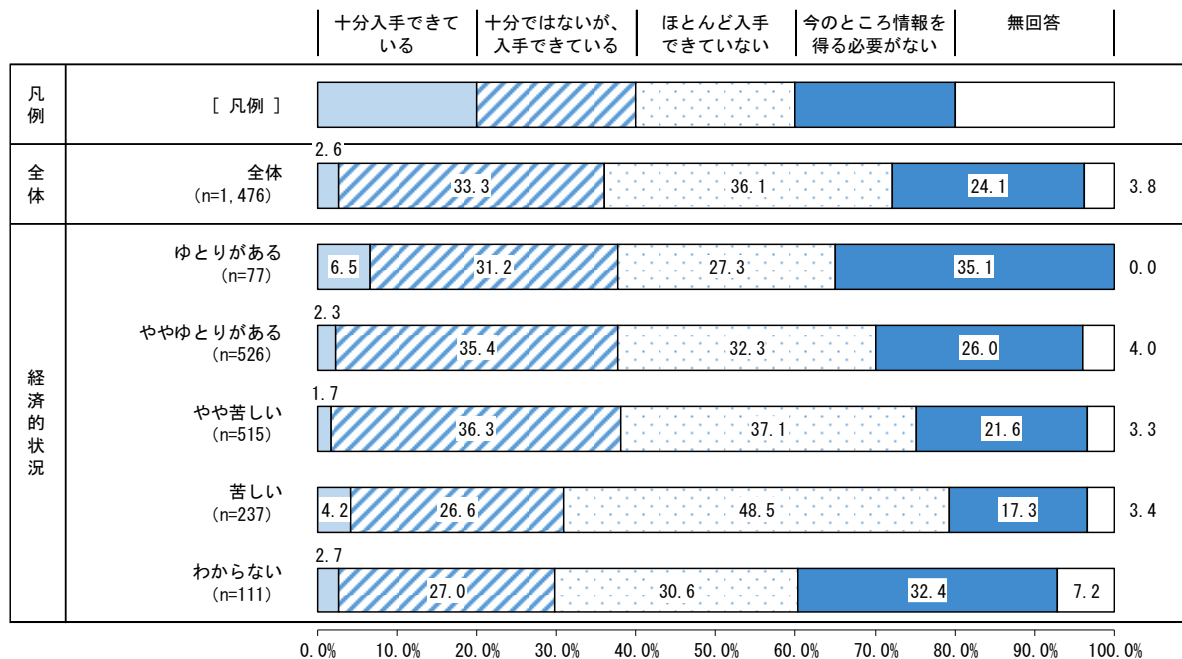
単位：%

		母数 (n)	問10 あなたは自分に必要な福祉サービスの情報をどの程度入手できていると思いますか。				
			十分 入手 でき て い る	十 分 で は な い が、 入 手 で き て い る	ほ と ん ど 入 手 で き て い な い	今 の と こ ろ 情 報 を 得 る 必 要 が な い	無 回 答
全体		1,476	2.6	33.3	36.1	24.1	3.8
家 同 族 居	同居人あり	1,267	2.6	33.2	37.0	23.4	3.7
	一人暮らし	203	3.0	34.5	30.0	28.1	4.4
支 介 援 護	支援が必要な親族あり	473	3.6	△ 46.1	32.6	▼ 13.1	4.7
	支援が必要な親族なし	971	2.1	27.3	38.0	29.6	3.1

【経済的状況】

- 「十分入手できている」はゆとりがあるが6.5%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「十分ではないが、入手できている」はややゆとりがあるが35.4%、やや苦しいが36.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「ほとんど入手できていない」は苦しいが48.5%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「今のところ情報を得る必要がない」はゆとりがあるが35.1%、わからないが32.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【福祉サービス情報の入手状況（経済的状況別）】



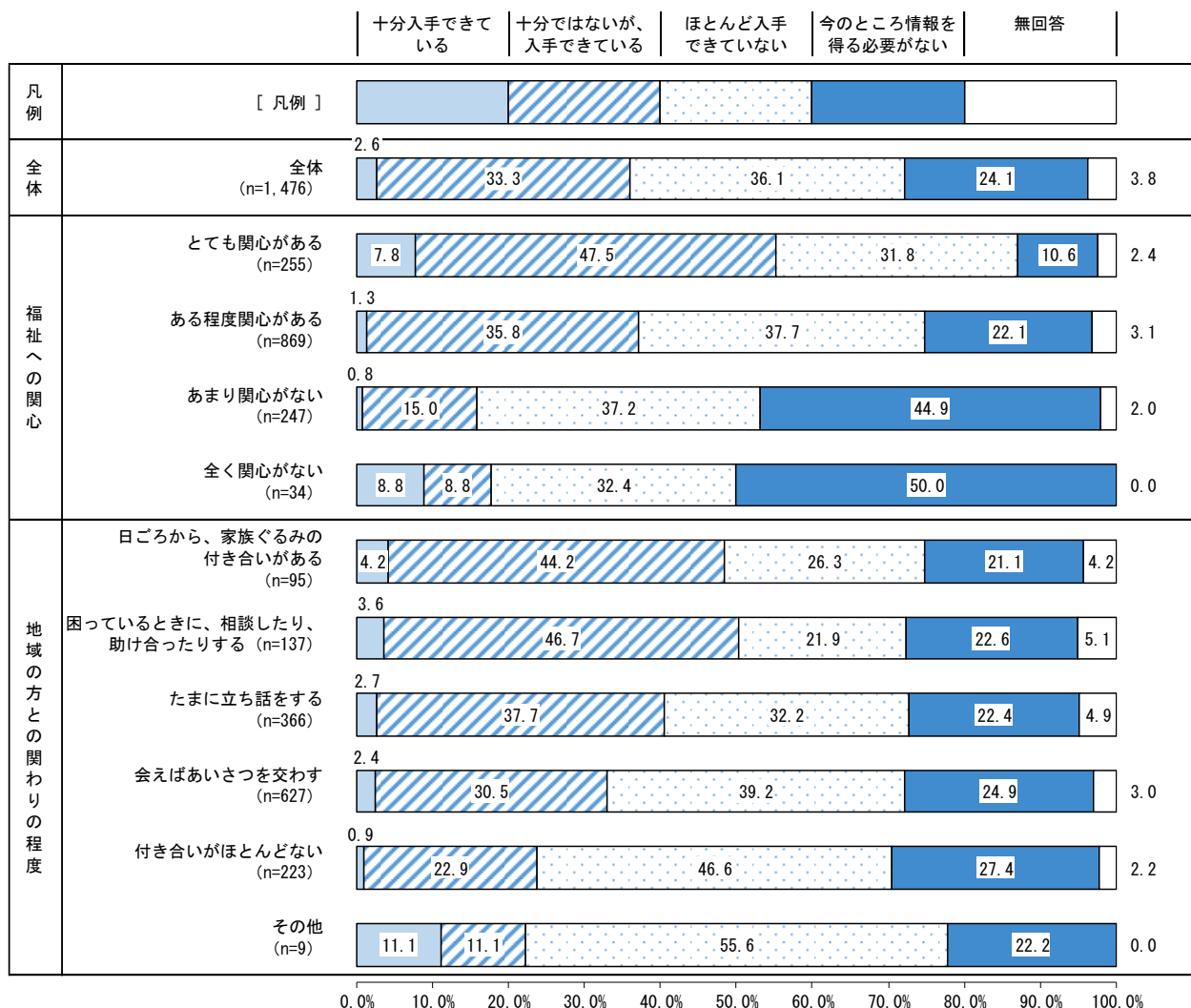
【福祉への関心】

- とても関心があるでは、「十分ではないが、入手できている」が 47.5%で最も多く、次いで「ほとんど入手できていない」が 31.8%、「今のところ情報を得る必要がない」が 10.6%となっています。
- ある程度関心があるでは、「ほとんど入手できていない」が 37.7%で最も多く、次いで「十分ではないが、入手できている」が 35.8%、「今のところ情報を得る必要がない」が 22.1%となっています。
- あまり関心がないでは、「今のところ情報を得る必要がない」が 44.9%で最も多く、次いで「ほとんど入手できていない」が 37.2%、「十分ではないが、入手できている」が 15.0%となっています。
- 全く関心がないでは、「今のところ情報を得る必要がない」が 50.0%で最も多く、次いで「ほとんど入手できていない」が 32.4%、「十分入手できている」「十分ではないが、入手できている」が 8.8%となっています。
- 福祉への関心が高いほど「十分ではないが、入手できている」が多くなる傾向がみられます。
- 福祉への関心が高いほど「今のところ情報を得る必要がない」が少なくなる傾向がみられます。

【地域の方との関わりの程度】

- 地域の方との関わりがあるほど「十分入手できている」「十分ではないが、入手できている」が多くなる傾向がみられます。

【福祉サービス情報の入手状況（福祉への関心別、地域の方との関わりの程度別）】



問10-（１）（福祉サービスの情報を「十分入手できている」「十分ではないが、入手できている」「ほとんど入手できていない」方）
あなたは福祉サービスに関する情報を主にどこから入手していますか。
（当てはまるもの全てに○）

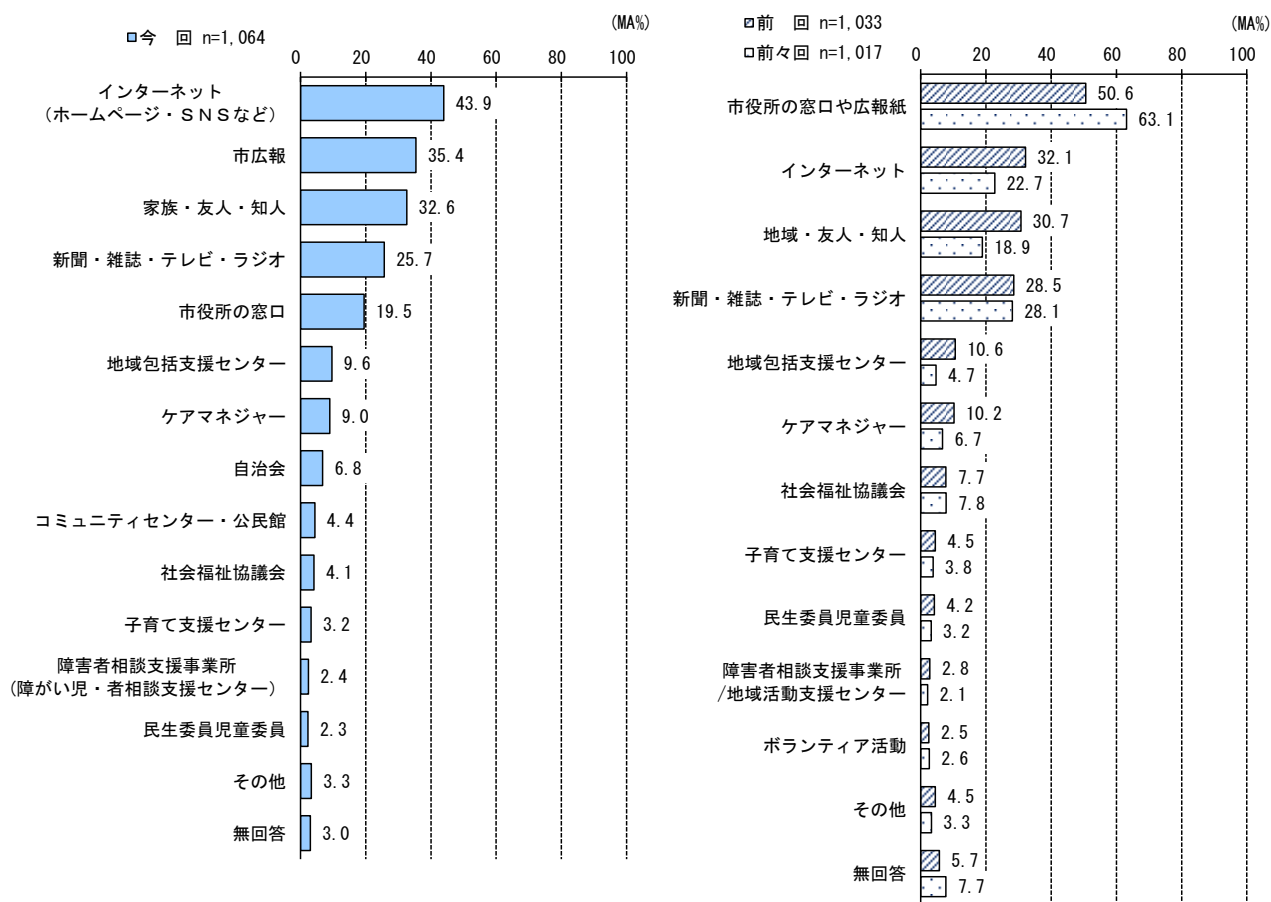
【全体】

○ 「インターネット（ホームページ・SNSなど）」が 43.9%で最も多く、次いで「市広報」が 35.4%、「家族・友人・知人」が 32.6%となっています。

【（参考）経年比較】

○ 選択肢が異なりますが、前回調査では2番目（32.1%）、前々回調査では3番目（22.7%）だった「インターネット」が今回調査では 43.9%で最も多くなっています。

【福祉サービス情報の入手先（全体・経年比較）】



※前回調査では「障害者相談支援事業所」、前々回調査では「地域活動支援センター」

【年代】

- 10代・20代から60代までは「インターネット（ホームページ・SNSなど）」が最も多くなっており、70歳以上では「市広報」が最も多くなっています。
- 10代・20代から50代では「インターネット（ホームページ・SNSなど）」に次いで「家族・友人・知人」が多くなっています。

【福祉サービス情報の入手先（年代別）】

単位：％

		問10-(1) あなたは福祉サービスに関する情報を主にどこから入手していますか。(MA)															
		母数 (n)	市役所の窓口	市広報	民生委員児童委員	社会福祉協議会	子育て支援センター	地域包括支援センター	障害者相談支援事業所 (障がい児・者相談支援センター)	コミュニティセンター・公民館	自治会	ケアマネジャー	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	インターネット (ホームページ・SNSなど)	家族・友人・知人	その他	無回答
全体		1,064	19.5	35.4	2.3	4.1	3.2	9.6	2.4	4.4	6.8	9.0	25.7	43.9	32.6	3.3	3.0
年代	10代・20代	44	18.2	▼ 11.4	—	2.3	△ 13.6	2.3	2.3	2.3	4.5	—	29.5	△ 61.4	△ 45.5	4.5	—
	30代	93	20.4	▼ 19.4	—	2.2	12.9	3.2	4.3	5.4	4.3	3.2	▼ 9.7	△ 74.2	40.9	3.2	—
	40代	158	21.5	27.2	—	3.2	7.0	3.8	2.5	5.7	5.7	2.5	▼ 13.9	△ 67.1	34.8	2.5	1.3
	50代	221	18.6	30.8	1.4	0.9	1.4	9.0	2.7	4.1	5.0	7.7	21.7	△ 55.7	32.6	4.5	1.8
	60代	209	21.5	40.7	2.4	4.3	0.5	7.7	2.9	2.4	3.8	11.5	32.1	49.3	31.6	3.3	1.9
	70代	173	16.8	△ 53.8	2.9	7.5	—	8.7	0.6	5.2	12.1	8.7	30.6	▼ 16.8	▼ 20.8	4.0	8.1
	80歳以上	158	19.0	38.6	7.0	7.6	0.6	△ 25.9	2.5	5.7	10.8	△ 20.9	△ 36.1	▼ 5.1	37.3	1.3	4.4

問11 成年後見制度について知っていますか。(1つだけ○)

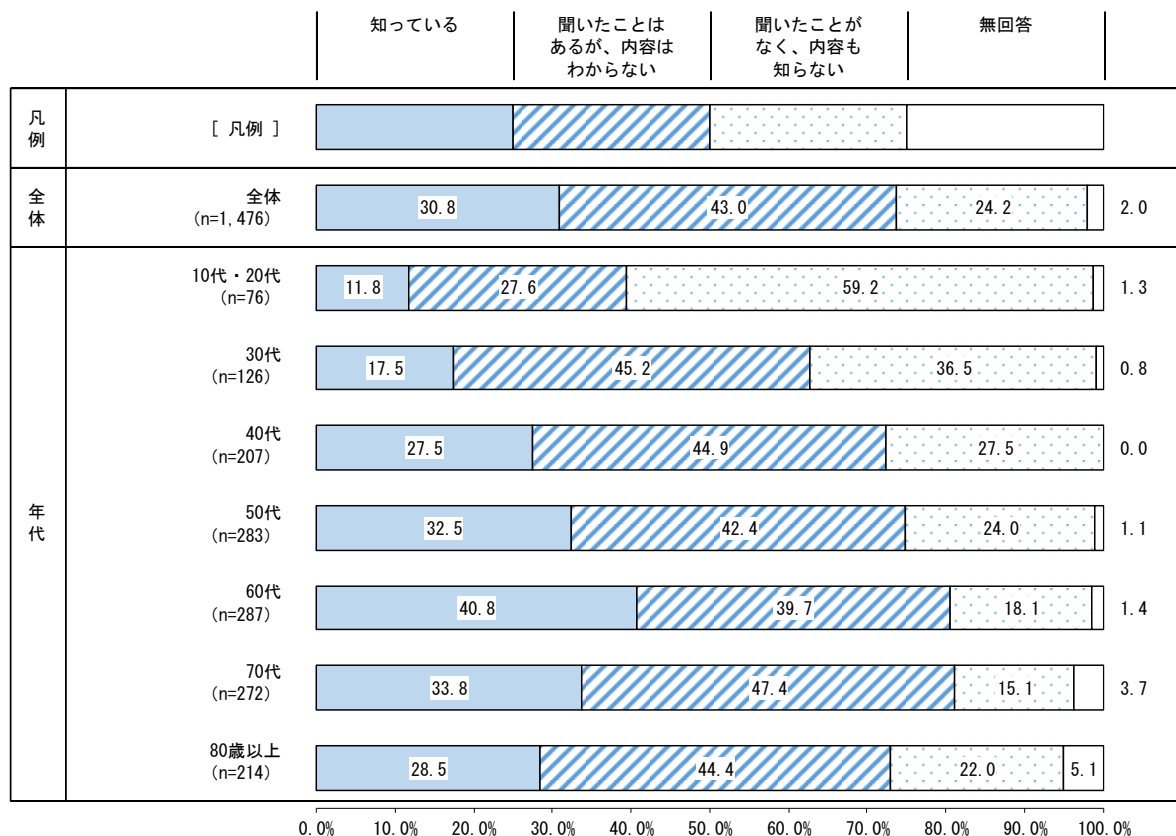
【全体】

- 「聞いたことはあるが、内容はわからない」が 43.0%で最も多く、次いで「知っている」が 30.8%、「聞いたことがなく、内容も知らない」が 24.2%となっています。

【年代】

- 60代までは年齢が高いほど「知っている」が多くなっていますが、70代以降は減少しています。特に、70代では「聞いたことはあるが、内容はわからない」が 47.4%と他の区分に比べて多くなっています。

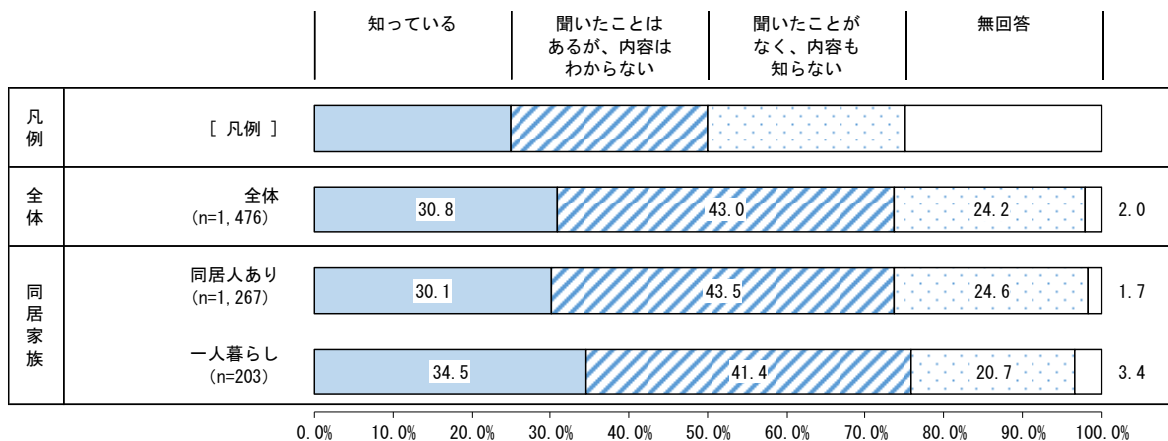
【成年後見制度の認知状況（年代別）】



【同居家族】

- 同居人ありでは、「聞いたことはあるが、内容はわからない」が 43.5%で最も多く、次いで「知っている」が 30.1%、「聞いたことがなく、内容も知らない」が 24.6%となっています。
- 一人暮らしでは、「聞いたことはあるが、内容はわからない」が 41.4%で最も多く、次いで「知っている」が 34.5%、「聞いたことがなく、内容も知らない」が 20.7%となっています。

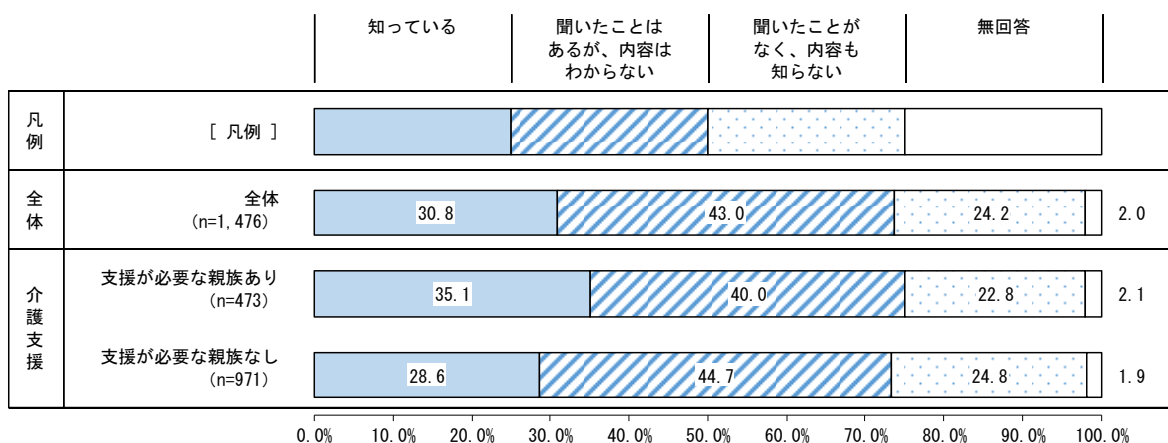
【成年後見制度の認知状況（同居家族別）】



【身近で介護や支援が必要な人の有無】

- 「知っている」は支援が必要な親族ありが 35.1%と支援が必要な親族なしの 28.6%に比べて多くなっていますが、支援が必要な親族ありでも「聞いたことはあるが、内容はわからない」が 40.0%、「聞いたことがなく、内容も知らない」が 22.8%となっています。

【成年後見制度の認知状況（介護や支援が必要な人の有無別）】



【暮らしの中で感じる悩みや不安】

- 悩みや不安の有無、内容によらず、「聞いたことはあるが、内容はわからない」が最も多くなっています。
- 終活（身の回りの整理、葬儀、相続等）のことに悩みや不安を感じている人では、「知っている」が38.0%と他の区分に比べて多くなっていますが、42.9%は「聞いたことはあるが、内容はわからない」となっています。

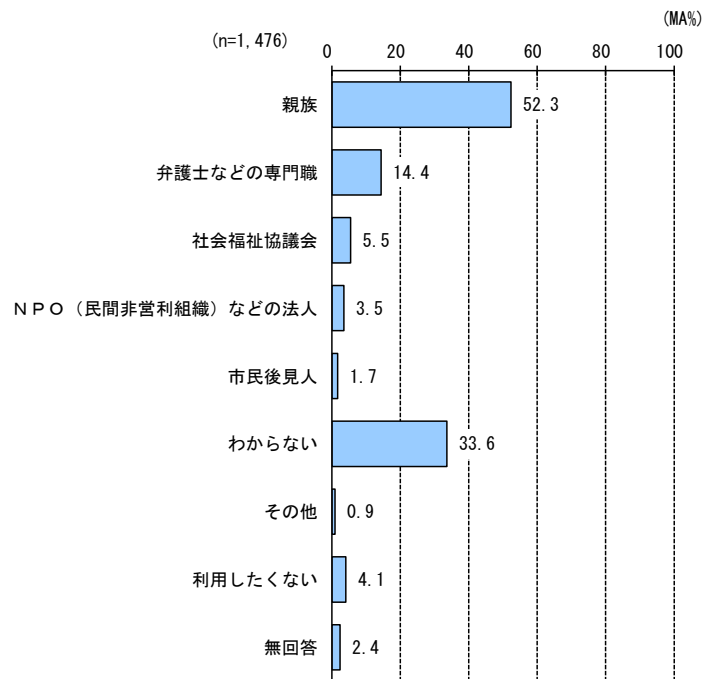
【成年後見制度の認知状況（暮らしの中で感じる悩みや不安別）】

		母数 (n)	問11 成年後見制度について知っていますか。				単位：％
			知 っ て い る	内 容 は わ か ら な い が、	内 容 も 知 ら な い	無 回 答	
全体		1,476	30.8	43.0	24.2	2.0	
問 1 6 悩 み や 不 安 （ M A ）	自分や家族の健康に関すること	833	31.1	45.9	21.4	1.7	
	介護に関すること	361	35.2	44.9	18.3	1.7	
	仕事に関すること	311	25.4	45.0	28.6	1.0	
	生活費など経済的問題	539	28.2	41.4	29.7	0.7	
	近所との関係	108	23.1	52.8	24.1	－	
	育児・子育てに関すること	175	21.1	52.0	26.3	0.6	
	家族間の人間関係	107	32.7	38.3	28.0	0.9	
	自分や家族の生活上の問題（進学、就職、結婚など）	224	30.8	46.0	23.2	－	
	住まいに関すること	238	31.1	46.6	21.4	0.8	
	終活（身の回りの整理、葬儀、相続等）のこと	392	38.0	42.9	18.4	0.8	
	緊急時の対応のこと（体調の急変や災害など）	489	31.9	43.4	23.5	1.2	
特にない	144	33.3	41.7	23.6	1.4		
その他		26	30.8	46.2	23.1	－	

問12 あなたが成年後見制度を利用することになった場合、どなたに後見人をお願いしたいですか。（当てはまるもの全てに○）

- 【全体】
- 「親族」が 52.3%で最も多く、次いで「わからない」が 33.6%、「弁護士などの専門職」が 14.4%となっています。
- 【年代】
- 40代までは、「わからない」が最も多く、次いで「親族」、「弁護士などの専門職」となっています。
 - 50代以上では、「親族」が最も多く、次いで「わからない」、「弁護士などの専門職」となっています。
 - また、「親族」は70代が 64.0%、80歳以上が 69.6%と他の年代に比べて多くなっています。

【後見人を頼みたい人】



【後見人を頼みたい人（年代別）】

		問12 あなたが成年後見制度を利用することになった場合、どなたに後見人をお願いしたいですか。（MA）									単位：％
		母数 (n)	親族	弁護士などの専門職	社会福祉協議会	NPO（民間非営利組織）などの法人	市民後見人	わからない	その他	利用したくない	無回答
全体		1,476	52.3	14.4	5.5	3.5	1.7	33.6	0.9	4.1	2.4
年代	10代・20代	76	▼ 39.5	13.2	1.3	1.3	—	△ 53.9	—	2.6	—
	30代	126	▼ 39.7	15.9	4.8	2.4	0.8	△ 45.2	0.8	2.4	1.6
	40代	207	▼ 38.2	23.2	6.8	1.9	1.9	41.5	1.4	4.3	—
	50代	283	44.5	20.5	6.7	4.2	2.1	41.0	0.7	3.5	2.8
	60代	287	54.0	14.3	5.2	6.3	1.0	30.3	0.3	4.5	0.7
	70代	272	△ 64.0	7.7	5.1	2.6	2.9	24.6	0.7	5.1	4.4
	80歳以上	214	△ 69.6	5.6	5.1	2.3	1.4	▼ 19.2	1.4	4.7	5.1

問12-（１）（成年後見制度を「利用したくない」方）

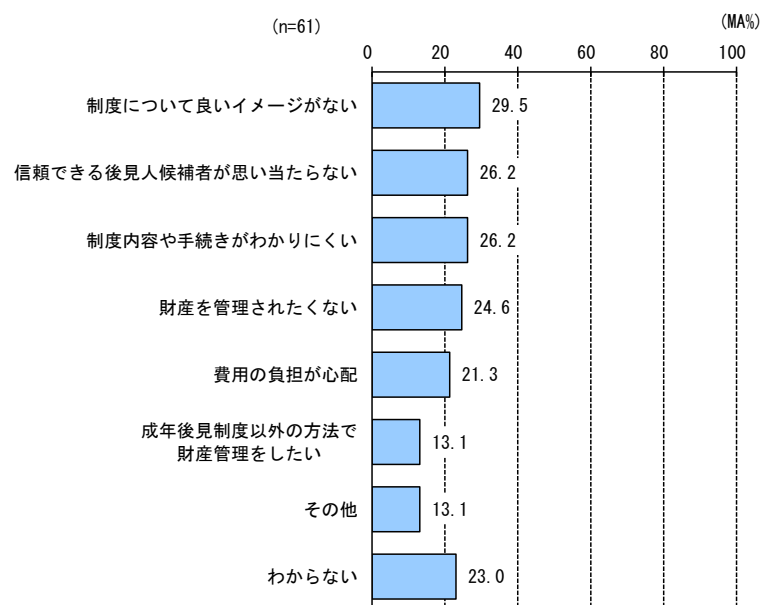
あなたが成年後見制度を利用したくないと思う理由を教えてください。

（当てはまるもの全てに○）

【全体】

- 「制度について良いイメージがない」が29.5%で最も多く、次いで「制度内容や手続きがわかりにくい」「信頼できる後見人候補者が思い当たらない」が26.2%、「財産を管理されたくない」が24.6%となっています。

【成年後見制度を利用したくない理由】



3. 地域との関わりについて

問13 あなたが考える地域の範囲をお答えください。（1つだけ○）

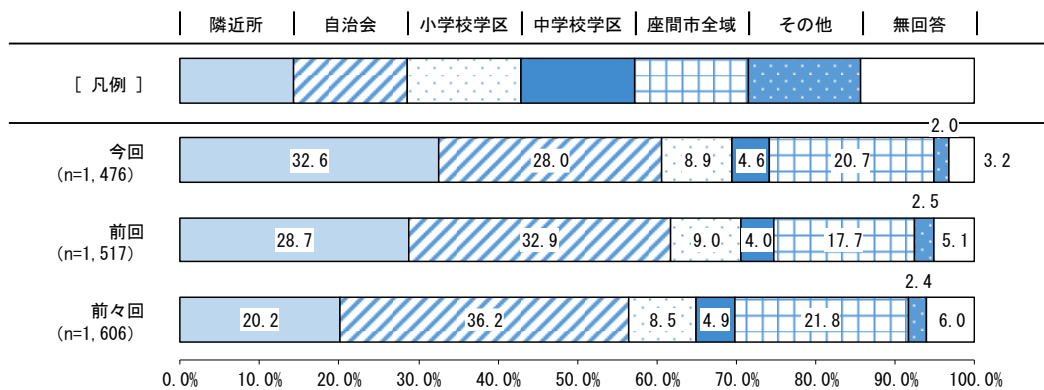
【全体】

- 「隣近所」が32.6%で最も多く、次いで「自治会」が28.0%、「座間市全域」が20.7%となっています。

【(参考) 経年比較】

- 「隣近所」が前回調査より3.9ポイント、前々回調査より12.4ポイント高く、「自治会」が前回調査より4.9ポイント、前々回調査より8.2ポイント低くなっています。

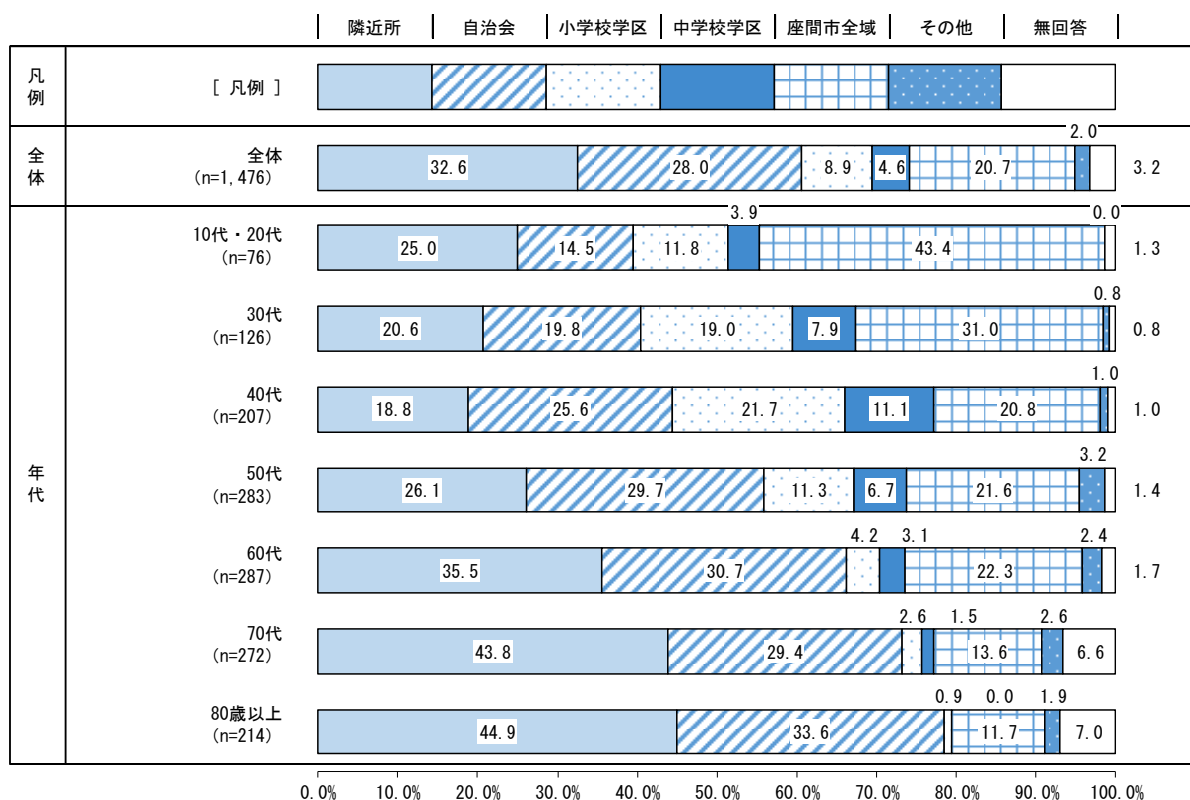
【地域の範囲（全体・経年比較）】



【年代】

- 10代・20代では、「座間市全域」が43.4%で最も多く、次いで「隣近所」が25.0%、「自治会」が14.5%となっています。
- 30代では、「座間市全域」が31.0%で最も多く、次いで「隣近所」が20.6%、「自治会」が19.8%となっています。
- 40代では、「自治会」が25.6%で最も多く、次いで「小学校学区」が21.7%、「座間市全域」が20.8%となっています。
- 50代では、「自治会」が29.7%で最も多く、次いで「隣近所」が26.1%、「座間市全域」が21.6%となっています。
- 60代では、「隣近所」が35.5%で最も多く、次いで「自治会」が30.7%、「座間市全域」が22.3%となっています。
- 70代では、「隣近所」が43.8%で最も多く、次いで「自治会」が29.4%、「座間市全域」が13.6%となっています。
- 80歳以上では、「隣近所」が44.9%で最も多く、次いで「自治会」が33.6%、「座間市全域」が11.7%となっています。

【地域の範囲（年代別）】



【愛着がある理由】

- 地域に愛着がある（「大いにある」「ある程度ある」）方では、愛着がある理由によらず、「隣近所」が最も多くなっています。
- また、地域の人と親しくしているから愛着を感じる方では、「隣近所」が 37.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【地域の範囲（愛着がある理由別）】

単位：％

		母数 (n)	問13 あなたが考える地域の範囲をお答えください。						
			隣 近 所	自 治 会	小 学 校 学 区	中 学 校 学 区	座 間 市 全 域	そ の 他	無 回 答
全体		980	32.4	28.5	9.5	5.4	20.8	1.7	1.6
問14-1 愛着がある理由 (MA)	長年住んでいるから	701	33.2	29.2	8.6	5.6	19.8	1.9	1.7
	親・兄弟など家族がいるから	146	31.5	25.3	11.6	6.2	19.9	4.1	1.4
	地域の人と親しくしているから	320	37.8	27.8	8.4	6.3	17.5	1.6	0.6
	自然などの環境が良いから	286	30.8	26.2	9.8	5.2	25.9	1.4	0.7
	安心して住めるから	411	33.8	29.7	8.3	4.9	21.2	1.7	0.5
	その他	35	28.6	▼ 17.1	11.4	5.7	22.9	11.4	2.9

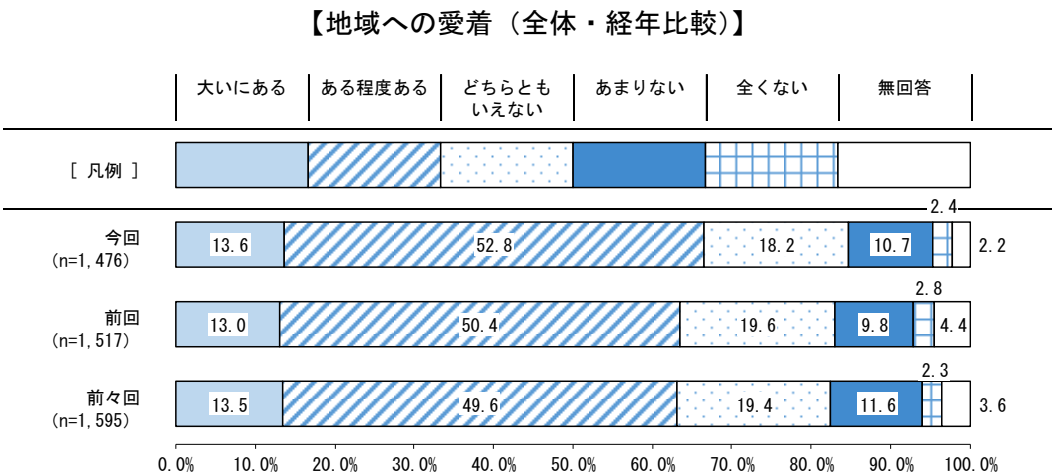
問14 あなたは今住んでいる地域（問2で回答された地域）に愛着がありますか。
（1つだけ○）

【全体】

○ 「ある程度ある」が 52.8%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が 18.2%、「大いにある」が 13.6%となっています。「大いにある」「ある程度ある」を合わせた“地域に愛着がある方”は66.4%となっています。

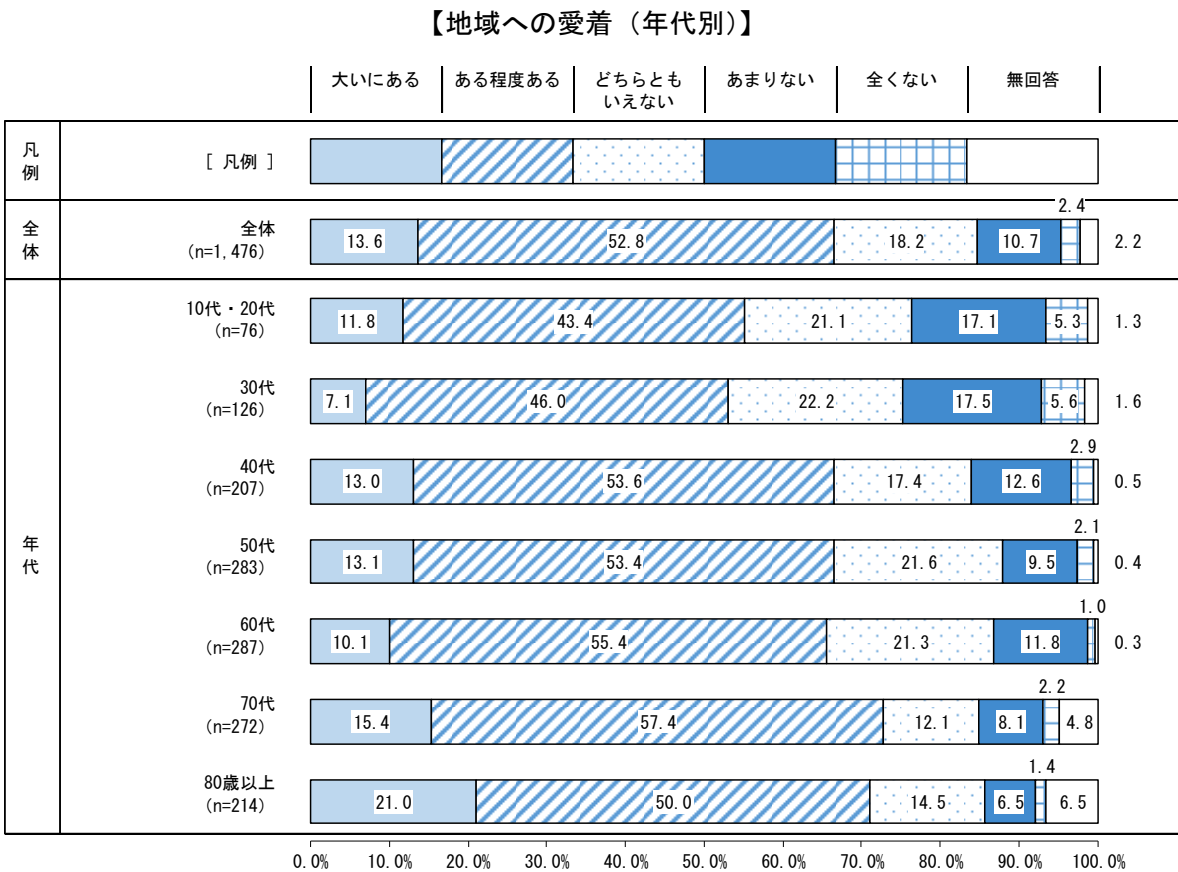
【（参考）経年比較】

○ 「大いにある」「ある程度ある」を合わせた“地域に愛着がある方”は前回調査より 3.0 ポイント、前々回調査より 3.3 ポイント高くなっています。



【年代】

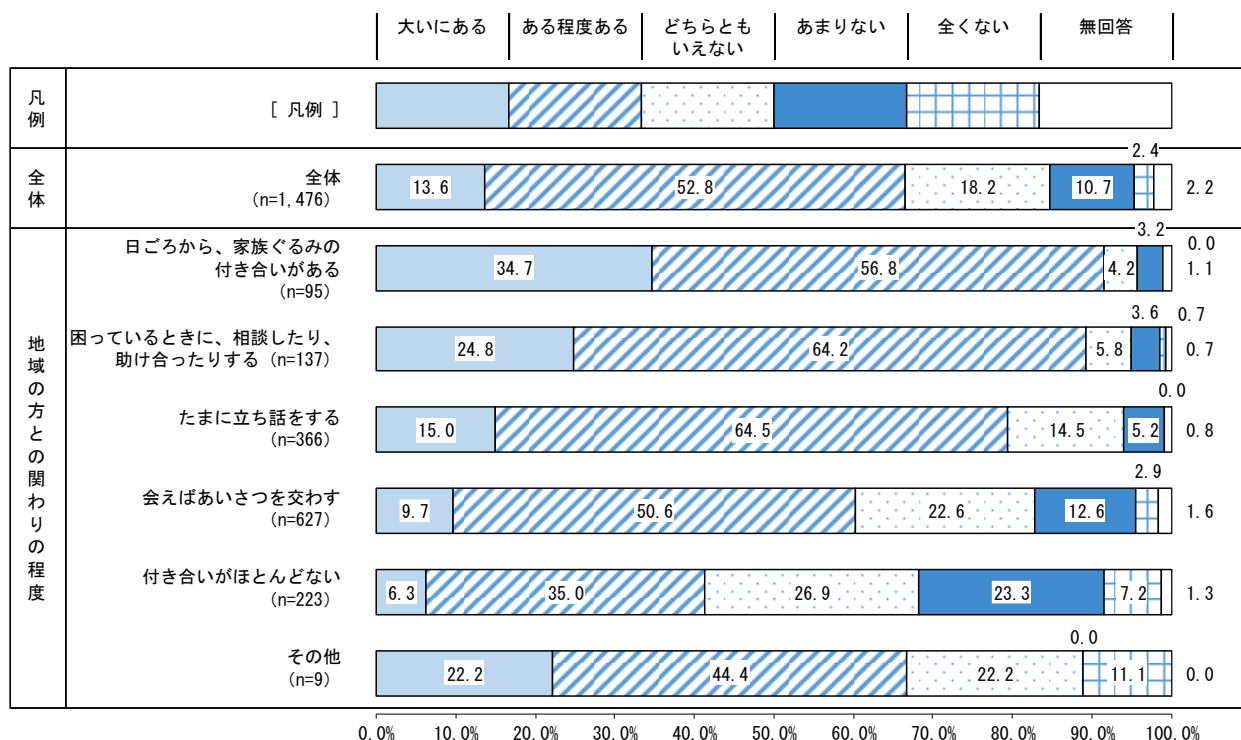
○ 「大いにある」「ある程度ある」を合わせた“地域に愛着がある方”は 10 代・20 代が 55.2%、30代が 53.1%に対して、70代が 72.8%、80歳以上が 71.0%と他の年代より多くなっています。



【地域の方との関わりの程度】

- 地域の方と関わりがある方ほど地域への愛着が「大いにある」が多く、地域の方と関わりがない方ほど地域への愛着が「あまりない」が多くなる傾向がみられます。

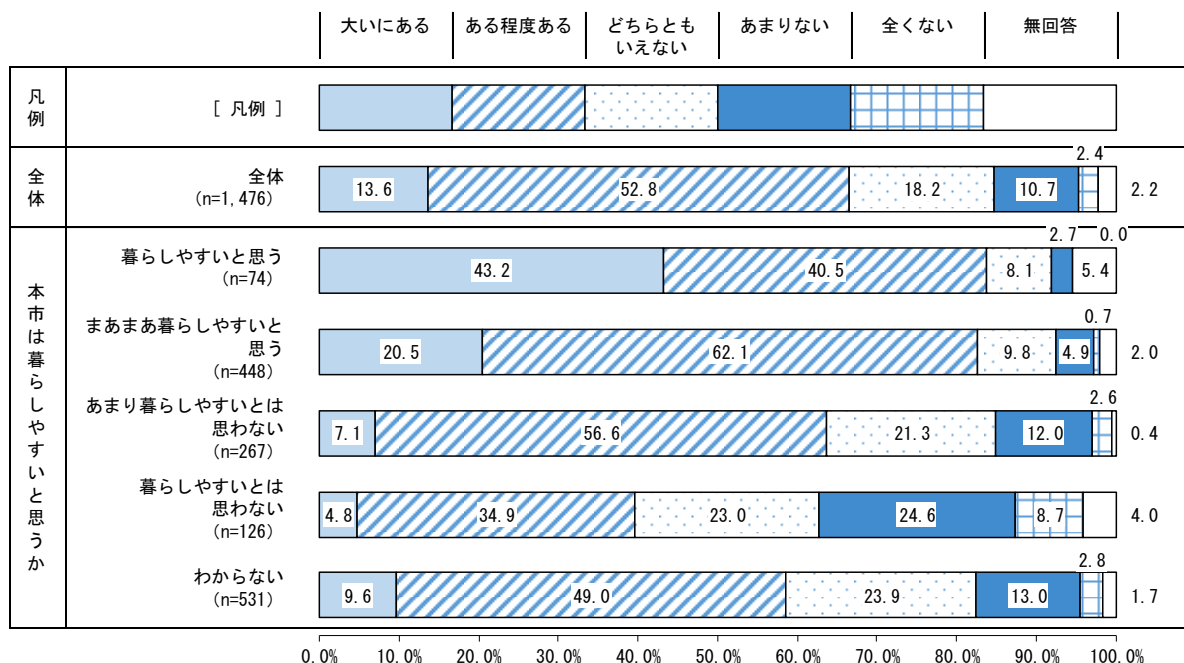
【地域への愛着（地域の方との関わりの程度別）】



【暮らしやすさ】

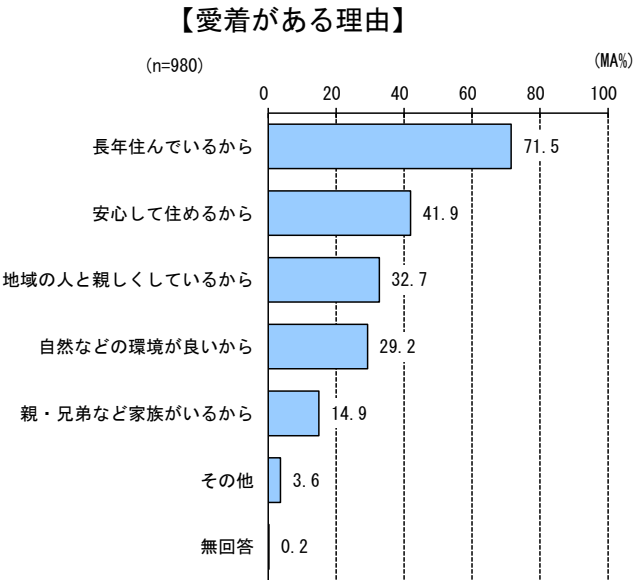
- 暮らしやすいと思っている方ほど地域への愛着が「大いにある」が多くなる傾向がみられます。

【地域への愛着（暮らしやすさ別）】



問14-（１） （地域に愛着が「大いにある」「ある程度ある」方）
「愛着があると感じるのはなぜですか。（当てはまるもの全てに○）」

【全体】
○ 「長年住んでいるから」が 71.5%で最も多く、次いで「安心して住めるから」が 41.9%、「地域の人と親しくしているから」が 32.7%となっています。



【年代】
○ 年代によらず、「長年住んでいるから」が最も多くなっています。
○ 「親・兄弟など家族がいるから」は 10 代・20 代が 35.7%、30 代が 25.4%と他の年代に比べて多くなっています。
○ 「地域の人と親しくしているから」は 80 歳以上が 49.3%と他の年代に比べて多くなっています。

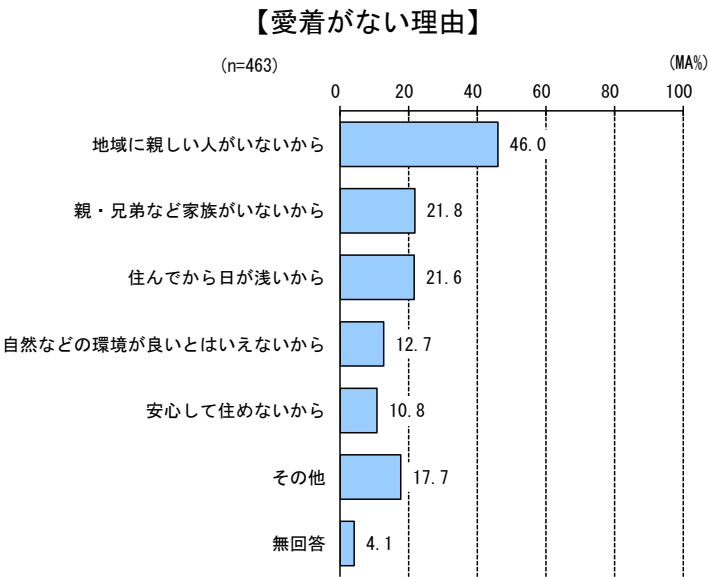
【居住地域】
○ 居住地域によらず、「長年住んでいるから」が最も多くなっています。
○ 「自然などの環境が良いから」は立野台が 40.9%、新田宿が 42.3%と他の地域に比べて多くなっています。

【愛着がある理由（年代別・居住地域別）】

		母数 (n)	問14-(1) 愛着があると感じるのはなぜですか。(MA)							単位：%
			長年 住ん でい る か ら	家 親 族・ が兄 い弟 など から	し 地 て 域 の 人 か ら 親 し く	良 自 い 然 な ど の 環 境 が	安 心 し て 住 め る か ら	そ の 他	無 回 答	
全体		980	71.5	14.9	32.7	29.2	41.9	3.6	0.2	
年代	10代・20代	42	66.7	△ 35.7	▼ 21.4	23.8	▼ 26.2	-	-	
	30代	67	▼ 46.3	△ 25.4	29.9	22.4	34.3	1.5	-	
	40代	138	▼ 55.1	21.0	34.1	29.7	42.8	4.3	-	
	50代	188	71.8	12.8	▼ 20.7	28.2	38.8	5.3	-	
	60代	188	76.6	10.6	29.8	27.7	45.7	4.3	0.5	
	70代	198	78.8	10.1	36.4	34.3	45.5	3.0	-	
	80歳以上	152	△ 82.2	13.2	△ 49.3	30.3	44.1	2.0	0.7	
	相模が丘	182	75.3	14.3	28.0	▼ 18.1	46.2	6.0	-	
居住 地域	ひばりが丘	199	71.9	17.1	31.7	▼ 18.6	47.2	2.0	0.5	
	栗原	148	72.3	12.2	36.5	25.7	41.2	3.4	-	
	相武台	172	69.8	17.4	33.7	35.5	34.9	2.9	0.6	
	立野台	127	70.1	13.4	37.0	△ 40.9	42.5	2.4	-	
	新田宿	149	69.1	13.4	30.9	△ 42.3	37.6	4.0	-	

問14-（２） （地域に愛着が「どちらともいえない」「あまりない」「全くない」方）
愛着がないと感じる理由は何ですか。（当てはまるもの全てに○）

【全体】
○ 「地域に親しい人がいないから」が 46.0%で最も多く、次いで「親・兄弟など家族がいないから」が 21.8%、「住んでから日が浅いから」が 21.6%となっています。



【年代】
○ 10代・20代では、「住んでから日が浅いから」が 45.5%で最も多く、30代以上では「地域に親しい人がいないから」が最も多くなっています。
○ 「地域に親しい人がいないから」は60代が 58.2%と他の年代に比べて多く、80歳以上が 27.1%と他の年代に比べて少なくなっています。

【居住地域】
○ 居住地域によらず、「地域に親しい人がいないから」が最も多くなっていますが、相模が丘が 37.3%と他の地域に比べて少なくなっています。

【愛着がない理由（年代別・居住地域別）】

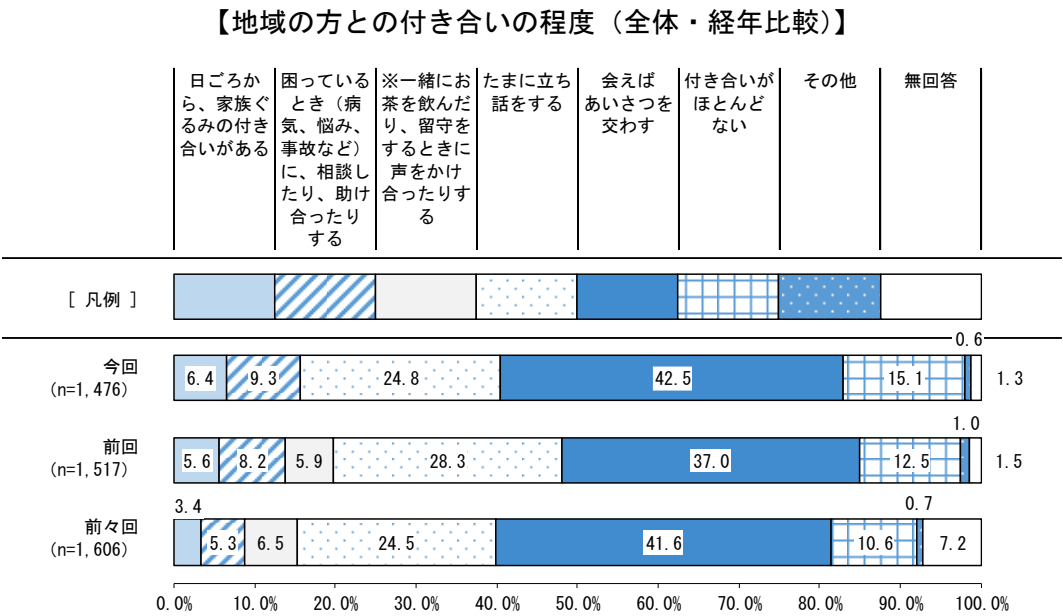
		問14-（2） 愛着がないと感じる理由は何ですか。（MA）							
		母数 (n)	浅い いん か で ら 日 が	家 族 ・ 兄 弟 な ど か ら	い 地 な 域 に か 親 し い 人 が	と 自 然 な 環 境 が 良 い	安 心 し て 住 め な い か ら	そ の 他	無 回 答
全体		463	21.6	21.8	46.0	12.7	10.8	17.7	4.1
年代	10代・20代	33	△ 45.5	▼ 9.1	39.4	12.1	6.1	15.2	3.0
	30代	57	△ 47.4	22.8	49.1	10.5	14.0	14.0	—
	40代	68	22.1	20.6	47.1	4.4	10.3	19.1	—
	50代	94	14.9	20.2	44.7	10.6	10.6	24.5	1.1
	60代	98	16.3	29.6	△ 58.2	17.3	14.3	15.3	3.1
	70代	61	13.1	27.9	44.3	16.4	8.2	14.8	6.6
	80歳以上	48	▼ 10.4	12.5	▼ 27.1	18.8	6.3	16.7	18.8
	80歳以上	48	▼ 10.4	12.5	▼ 27.1	18.8	6.3	16.7	18.8
居住 地域	相模が丘	67	22.4	20.9	37.3	22.4	14.9	16.4	6.0
	ひばりが丘	101	16.8	17.8	45.5	9.9	8.9	24.8	1.0
	栗原	87	20.7	27.6	50.6	12.6	8.0	10.3	3.4
	相武台	90	27.8	22.2	47.8	14.4	13.3	17.8	5.6
	立野台	45	13.3	26.7	48.9	6.7	11.1	15.6	4.4
	新田宿	70	27.1	18.6	45.7	10.0	8.6	18.6	5.7

問15 あなたは普段、地域の方と、どの程度の付き合いがありますか。（１つだけ○）

- 【全体】
- 「会えばあいさつを交わす」が 42.5%で最も多く、次いで「たまに立ち話をする」が 24.8%、「付き合いがほとんどない」が 15.1%となっています。

【(参考) 経年比較】

○ 選択肢が異なりますが、「付き合いがほとんどない」が前回調査より 2.6 ポイント、前々回調査より 4.5 ポイント高くなっています。

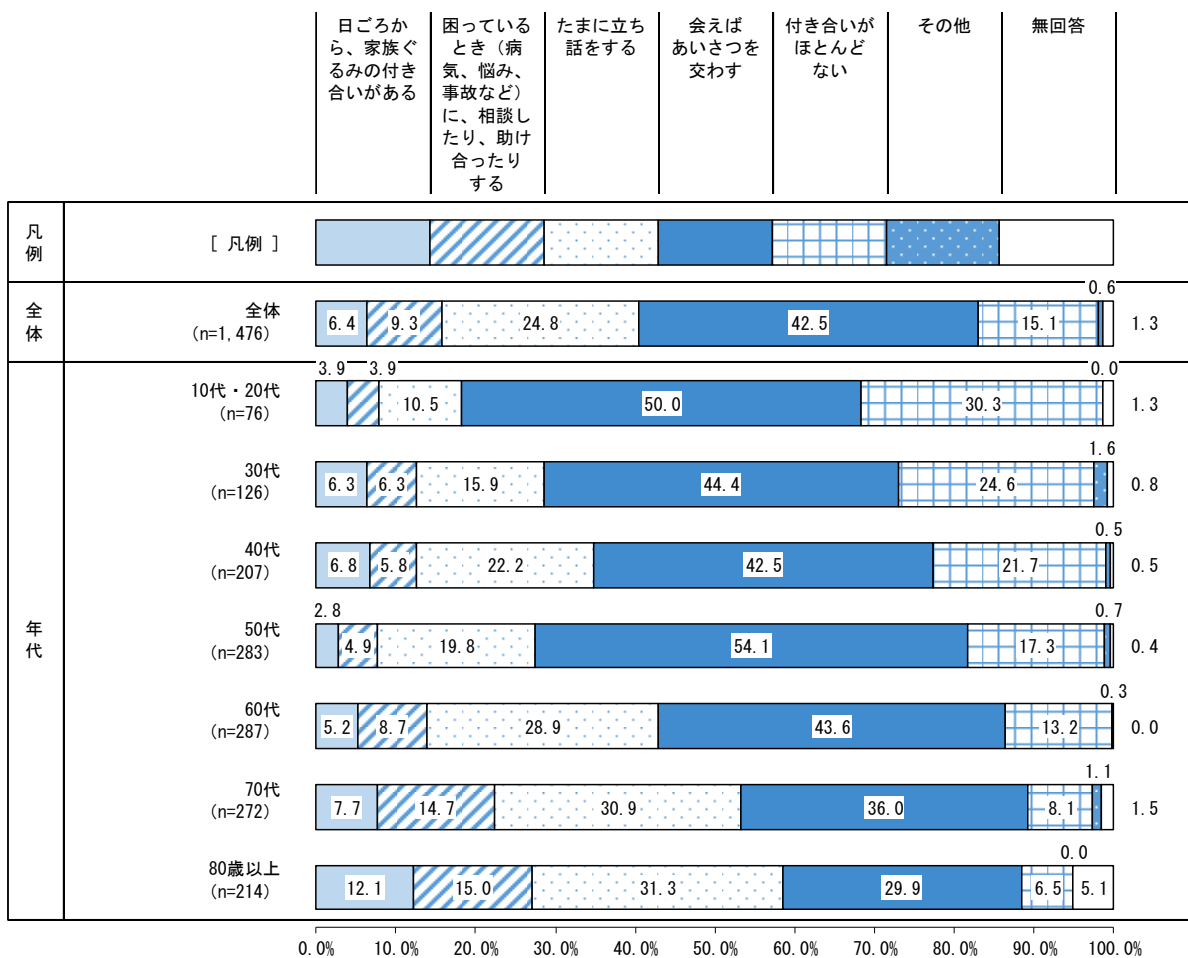


※「一緒にお茶を飲んだり、留守をするときに声をかけ合ったりする」は今回調査の選択肢にはない。

【年代】

- 70代までは「会えばあいさつを交わす」が最も多く、特に50代では54.1%と他の年代より多くなっています。
- 80歳以上では「たまに立ち話をする」が31.3%で最も多くなっています。
- 若い年代ほど「付き合いがほとんどない」が多い傾向があり、10代・20代では30.3%と他の年代より多くなっています。

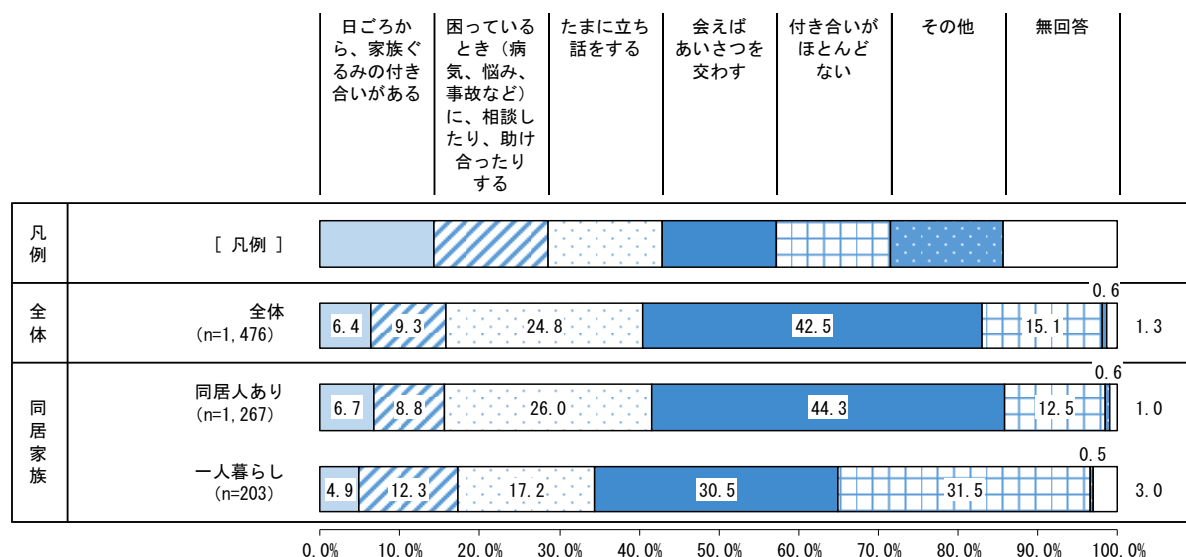
【地域の方との付き合いの程度（年代別）】



【同居家族】

- 同居人ありでは、「会えばあいさつを交わす」が 44.3%で最も多く、次いで「たまに立ち話をす
る」が 26.0%、「付き合いがほとんどない」が 12.5%となっています。
- 一人暮らしでは、「付き合いがほとんどない」が 31.5%で最も多く、次いで「会えばあいさつを
交わす」が 30.5%、「たまに立ち話をする」が 17.2%となっています。
- 「付き合いがほとんどない」は一人暮らしが 31.5%と同居人ありの 12.5%に比べて多くなって
います。

【地域の方との付き合いの程度（同居家族別）】

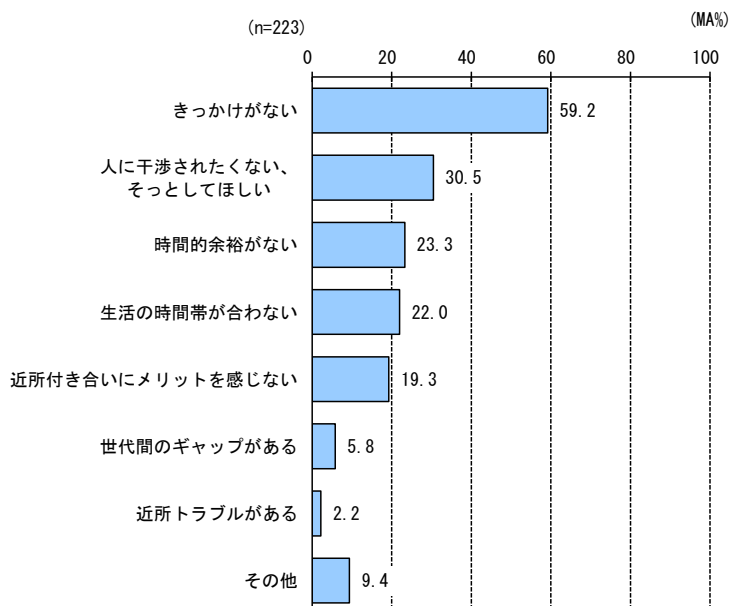


問15-（１） （地域の方と「付き合いがほとんどない」方）
その理由はなんですか。（当てはまるもの全てに○）

【全体】

- 「きっかけがない」が59.2%で最も多く、次いで「人に干渉されたくない、そっとしてほしい」が30.5%、「時間的余裕がない」が23.3%となっています。

【付き合いがない理由】



【同居家族】

- 同居人ありでは「時間的余裕がない」が27.2%と一人暮らしの14.1%に比べて多くなっています。
- 一方、一人暮らしでは「きっかけがない」が64.1%、「人に干渉されたくない、そっとしてほしい」が35.9%と同居人ありに比べて多くなっています。

【付き合いがない理由（同居家族別）】

単位：％

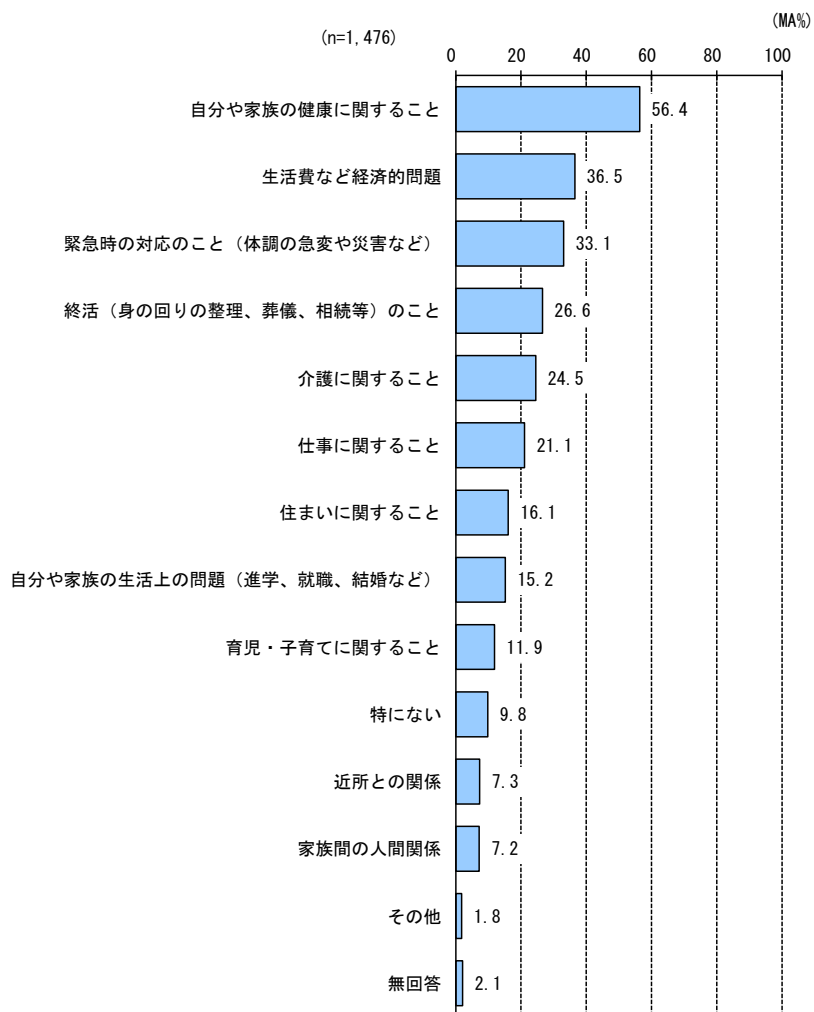
		母数 (n)	問15-(1) その理由はなんですか。(MA)							
			時間的 余裕が ない	人に干渉されたくない、 そっとしてほしい	生活の 時間帯が 合わない	世代間の ギャップが ある	近所ト ラブルが ある	近所付 き合いに メリツト を感じない	きつ かけが ない	その他
全体		223	23.3	30.5	22.0	5.8	2.2	19.3	59.2	9.4
家 同 族 居	同居人あり	158	27.2	28.5	22.8	6.3	2.5	18.4	57.0	11.4
	一人暮らし	64	14.1	35.9	20.3	4.7	1.6	21.9	64.1	3.1

問16 あなたは毎日の暮らしの中で、どのようなことに悩みや不安を感じていますか。
(当てはまるもの全てに○)

【全体】

○ 「自分や家族の健康に関すること」が 56.4%で最も多く、次いで「生活費など経済的問題」が 36.5%、「緊急時の対応のこと（体調の急変や災害など）」が 33.1%となっています。

【悩みや不安】



【年代】

- 10代・20代では、「生活費など経済的問題」が47.4%で最も多く、次いで「仕事に関すること」が35.5%、「自分や家族の健康に関すること」が32.9%となっています。
- 30代では、「生活費など経済的問題」が61.1%で最も多く、次いで「育児・子育てに関すること」が53.2%、「自分や家族の健康に関すること」が50.8%となっています。
- 40代では、「自分や家族の健康に関すること」が57.5%で最も多く、次いで「生活費など経済的問題」が55.6%、「緊急時の対応のこと（体調の急変や災害など）」が37.2%となっています。
- 50代では、「自分や家族の健康に関すること」が59.4%で最も多く、次いで「生活費など経済的問題」が41.7%、「緊急時の対応のこと（体調の急変や災害など）」が38.5%となっています。
- 60代では、「自分や家族の健康に関すること」が65.5%で最も多く、次いで「終活（身の回りの整理、葬儀、相続等）のこと」が38.3%、「生活費など経済的問題」が34.5%となっています。
- 70代では、「自分や家族の健康に関すること」が52.9%で最も多く、次いで「終活（身の回りの整理、葬儀、相続等）のこと」が30.5%、「緊急時の対応のこと（体調の急変や災害など）」が26.1%となっています。
- 80歳以上では、「自分や家族の健康に関すること」が55.6%で最も多く、次いで「緊急時の対応のこと（体調の急変や災害など）」が30.8%、「終活（身の回りの整理、葬儀、相続等）のこと」が25.2%となっています。

【悩みや不安（年代別）】

単位：％

		問16 あなたは毎日の暮らしの中で、どのようなことに悩みや不安を感じていますか。(MA)														
		母数 (n)	自分や家族の健康に 関すること	介護に 関すること	仕事に 関すること	生活費など経済的 問題	近所との 関係	育児・子育てに 関すること	家族間の人間 関係	自分や家族の生活 上の問題 (進学、就職、結婚 など)	住まいに 関すること	終活(身の回りの 整理、 葬儀、相続等)の こと	緊急時の対応の こと (体調の急変や災害 など)	特 に ない	その他	無 回 答
全体		1,476	56.4	24.5	21.1	36.5	7.3	11.9	7.2	15.2	16.1	26.6	33.1	9.8	1.8	2.1
年代	10代・20代	76	▼ 32.9	▼ 9.2	△ 35.5	△ 47.4	3.9	14.5	3.9	△ 27.6	7.9	▼ 5.3	31.6	10.5	3.9	2.6
	30代	126	50.8	▼ 8.7	△ 34.1	△ 61.1	10.3	△ 53.2	16.7	△ 25.4	23.8	▼ 9.5	32.5	5.6	0.8	0.8
	40代	207	57.5	22.2	△ 35.7	△ 55.6	11.6	△ 29.5	11.6	△ 29.5	18.8	18.8	37.2	5.8	3.4	0.5
	50代	283	59.4	33.6	△ 32.9	41.7	7.4	9.9	7.8	22.3	21.2	30.4	38.5	8.1	1.1	0.7
	60代	287	65.5	27.9	18.8	34.5	8.4	▼ 1.0	6.6	9.1	22.3	△ 38.3	33.1	8.4	2.4	—
	70代	272	52.9	24.6	▼ 6.3	▼ 22.1	4.8	▼ 1.1	3.3	▼ 3.7	10.3	30.5	26.1	14.0	0.7	2.9
	80歳以上	214	55.6	23.4	▼ 0.5	▼ 13.6	3.7	—	3.7	▼ 3.7	▼ 4.2	25.2	30.8	14.5	0.9	7.5

【同居家族】

- 同居人ありでは、「自分や家族の健康に関すること」が 58.0%で最も多く、次いで「生活費など経済的問題」が 36.9%、「緊急時の対応のこと（体調の急変や災害など）」が 30.9%となっています。
- 一人暮らしでは、「自分や家族の健康に関すること」が 46.8%で最も多く、次いで「緊急時の対応のこと（体調の急変や災害など）」が 46.3%、「終活（身の回りの整理、葬儀、相続等）」のことが 34.0%となっています。

【介護や支援が必要な人の有無】

- 支援が必要な親族ありでは、「自分や家族の健康に関すること」が 61.9%で最も多く、次いで「生活費など経済的問題」が 38.9%、「介護に関すること」が 37.0%となっています。
- 支援が必要な親族なしでは、「自分や家族の健康に関すること」が 54.3%で最も多く、次いで「生活費など経済的問題」が 35.8%、「緊急時の対応のこと（体調の急変や災害など）」が 33.9%となっています。

【悩みや不安（同居家族別・介護や支援が必要な人の有無別）】

単位：％

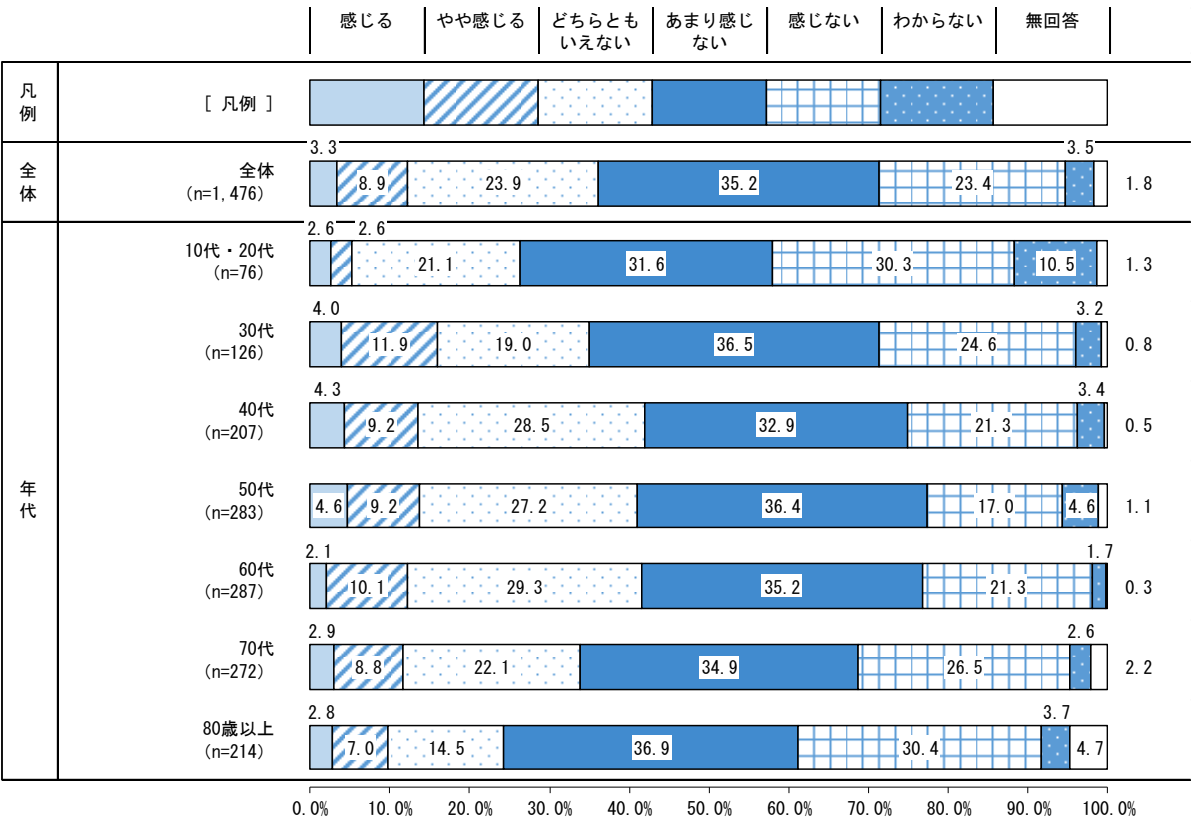
単位：%

		母数 (n)	問16 あなたは毎日の暮らしの中で、どのようなことに悩みや不安を感じていますか。(MA)													
			自分や家族の健康に 関すること	介護に 関すること	仕事に 関すること	生活費など 経済的 問題	近所との 関係	育児・子 育てに 関すること	家族間の 人間関係	自分や家 族の生活 上の問題 (進学、就 職、結婚 など)	住まいに 関すること	葬儀、相 続等)の 身の回り の整理、 終活(身 の回りの 整理、 終活、 相続等) のこと	緊急時の 対応の急 変や災害 など) (体調の 急変や災 害など)	特にな い	その他	無回 答
全体		1,476	56.4	24.5	21.1	36.5	7.3	11.9	7.2	15.2	16.1	26.6	33.1	9.8	1.8	2.1
家 同 族 居	同居人あり	1,267	58.0	25.2	21.3	36.9	7.1	13.6	7.3	16.2	15.8	25.3	30.9	9.2	1.7	2.0
	一人暮らし	203	46.8	19.7	19.7	33.5	8.4	▼ 1.5	6.9	8.9	18.7	34.0	△ 46.3	12.8	2.5	3.0
支 介 援 護	支援が必要な親族あり	473	61.9	△ 37.0	21.8	38.9	9.3	11.8	8.9	17.5	17.8	29.4	31.1	8.2	1.5	3.0
	支援が必要な親族なし	971	54.3	18.3	21.0	35.8	6.3	12.0	6.7	14.3	15.6	25.3	33.9	10.3	2.0	1.5

問17 あなたが今住んでいる地域で孤立感を感じることはありませんか。（１つだけ○）

- 【全体】
- 孤立感を「あまり感じない」が 35.2%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が 23.9%、孤立感を「感じない」が 23.4%となっています。「感じる」「やや感じる」を合わせた“地域で孤立感を感じる方”は 12.2%となっています。「あまり感じない」「感じない」を合わせた“地域で孤立感を感じない方”は 58.6%となっています。
- 【年代】
- 年代によらず、孤立感を「あまり感じない」が最も多くなっています。
 - 「感じる」「やや感じる」を合わせた“地域で孤立感を感じる方”は 30 代が 15.9%で最も多く、次いで 50 代が 13.8%、40 代が 13.5%となっています。

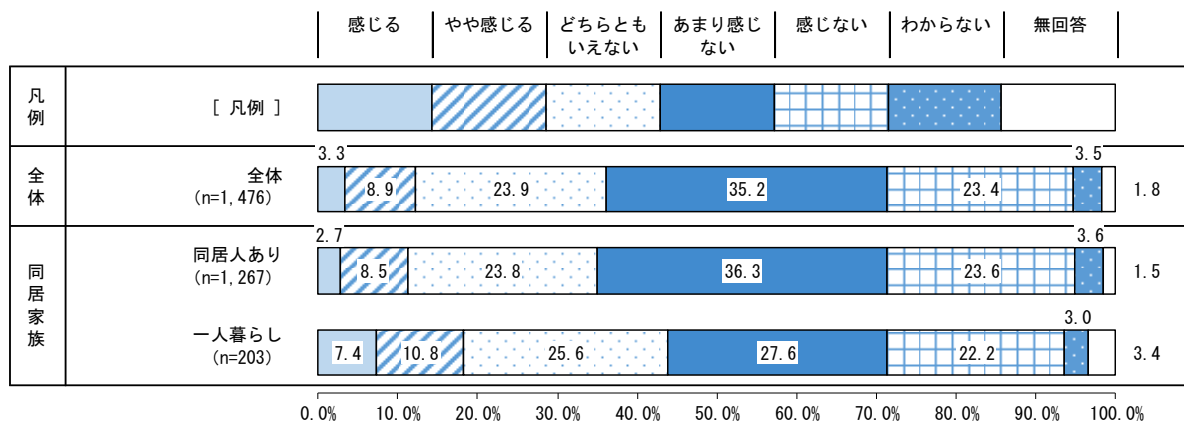
【地域での孤立感（年代別）】



【同居家族】

- 同居人ありでは、孤立感を「あまり感じない」が36.3%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が23.8%、「感じない」が23.6%となっています。
- 一人暮らしでは、孤立感を「あまり感じない」が27.6%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が25.6%、「感じない」が22.2%となっています。
- 「感じる」「やや感じる」を合わせた“地域で孤立感を感じる方”は一人暮らしが18.2%と同居人ありの11.2%に比べて多くなっています。

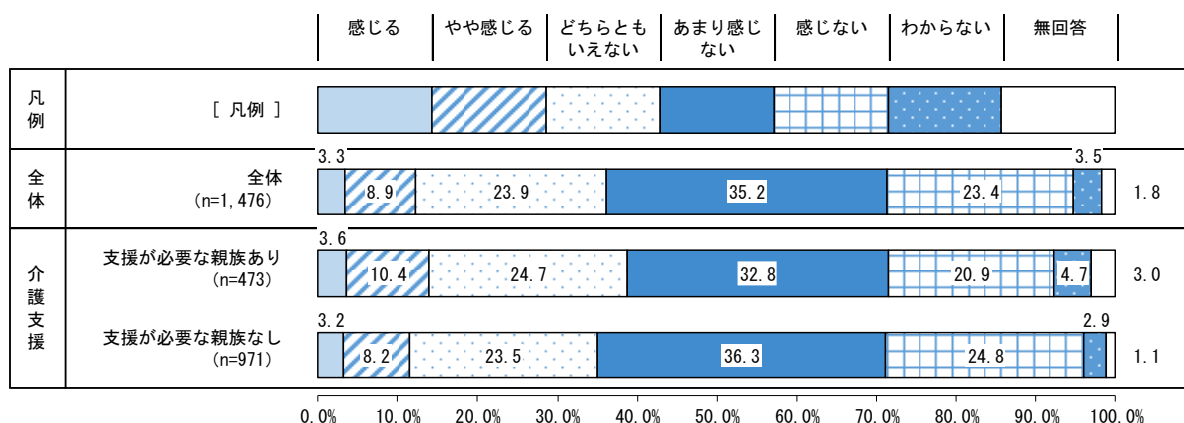
【地域での孤立感（同居家族別）】



【介護や支援が必要な人の有無】

- 「感じる」「やや感じる」を合わせた“地域で孤立感を感じる方”は支援が必要な親族ありが14.0%、支援が必要な親族なしが11.4%となっています。
- 「あまり感じない」「感じない」を合わせた“地域で孤立感を感じない方”は支援が必要な親族なしが61.1%と支援が必要な親族ありの53.7%に比べて多くなっています。

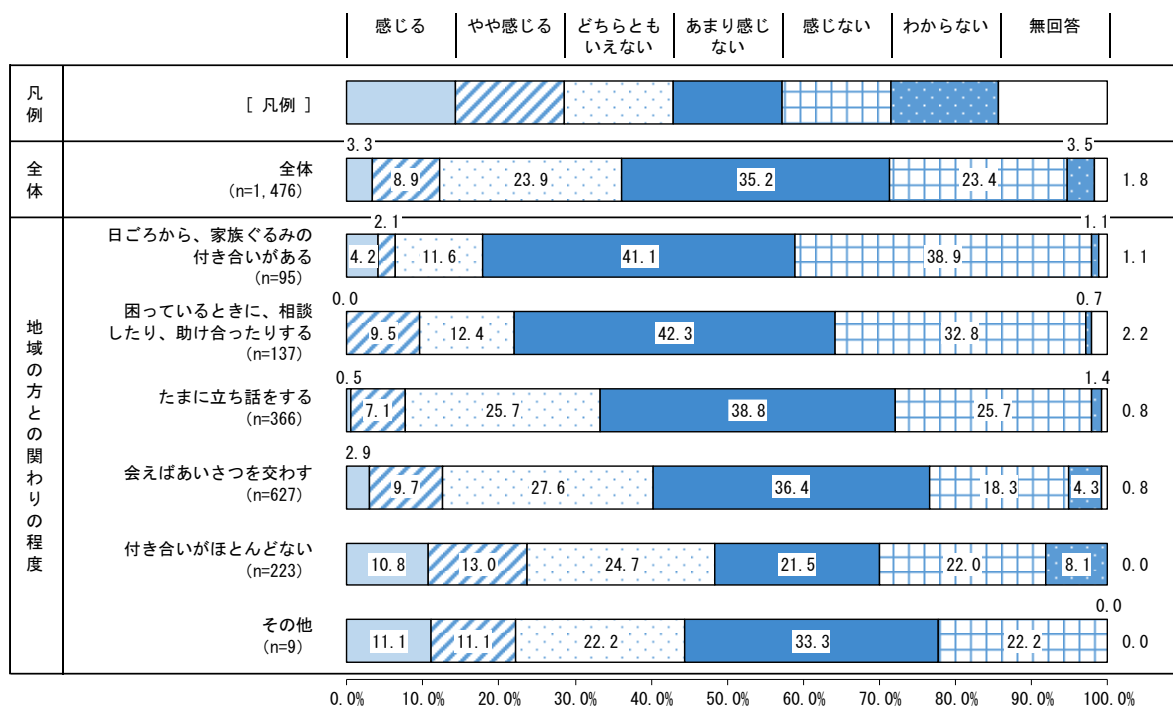
【地域での孤立感（介護や支援が必要な人の有無別）】



【地域の方との関わりの程度】

- 「感じる」「やや感じる」を合わせた“地域で孤立感を感じる方”は付き合いがほとんどないが23.8%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「あまり感じない」「感じない」を合わせた“地域で孤立感を感じない方”は、家族ぐるみの付き合いがある人では80.0%、困っているときに、相談したり助け合ったりする人では75.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【地域での孤立感（地域の方との関わりの程度別）】



【悩みや不安】

- 孤立感を「感じる」は近所との関係に悩みや不安を感じている方が 12.0%と他の区分に比べて多くなっています。
- 孤立感を「やや感じる」は近所との関係に悩みや不安を感じている方が 15.7%、終活（身の回りの整理、葬儀、相続等）のことに悩みや不安を感じている方が 14.5%となっています。
- 一方、孤立感を「感じない」は悩みや不安が特にない方が約4割となっています。

【地域での孤立感（悩みや不安別）】

単位：％

		母数 (n)	問17 あなたが今住んでいる地域で孤立感を感じることがありますか。						
			感じる	やや感じる	どちらでもない	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
全体		1,476	3.3	8.9	23.9	35.2	23.4	3.5	1.8
問 1 6 悩 み や 不 安 （ M A ）	自分や家族の健康に関すること	833	3.0	10.3	26.8	34.8	22.0	2.6	0.5
	介護に関すること	361	4.7	10.8	30.7	34.6	15.8	3.0	0.3
	仕事に関すること	311	5.8	12.2	29.3	33.1	16.4	3.2	-
	生活費など経済的問題	539	6.7	10.0	28.8	31.4	19.1	3.3	0.7
	近所との関係	108	12.0	15.7	△ 37.0	▼ 19.4	14.8	0.9	-
	育児・子育てに関すること	175	2.3	7.4	29.7	38.9	20.6	1.1	-
	家族間の人間関係	107	9.3	14.0	27.1	29.0	17.8	2.8	-
	自分や家族の生活上の問題（進学、就職、結婚など）	224	4.5	10.3	32.6	34.8	15.6	2.2	-
	住まいに関すること	238	6.7	13.9	29.8	28.2	18.5	2.5	0.4
	終活（身の回りの整理、葬儀、相続等）のこと	392	5.1	14.5	30.4	32.1	13.5	3.3	1.0
	緊急時の対応のこと（体調の急変や災害など）	489	4.1	11.2	27.8	33.7	19.4	3.3	0.4
	特にない	144	-	1.4	▼ 9.0	39.6	△ 41.7	7.6	0.7
	その他	26	11.5	△ 19.2	19.2	▼ 15.4	26.9	7.7	-

【相談や助けを頼みたい人】

- 孤立感を「感じる」は障害者相談支援事業所が 13.2%、頼める人がいないが 20.0%と他の区分に比べて多くなっています。
- 孤立感を「やや感じる」は社会福祉協議会が 13.7%、職場の方が 13.1%と他の区分に比べて多くなっています。
- 一方、孤立感を「感じない」は地域の方が 35.2%、民生委員児童委員が 39.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【地域での孤立感（相談や助けを頼みたい人別）】

単位：％

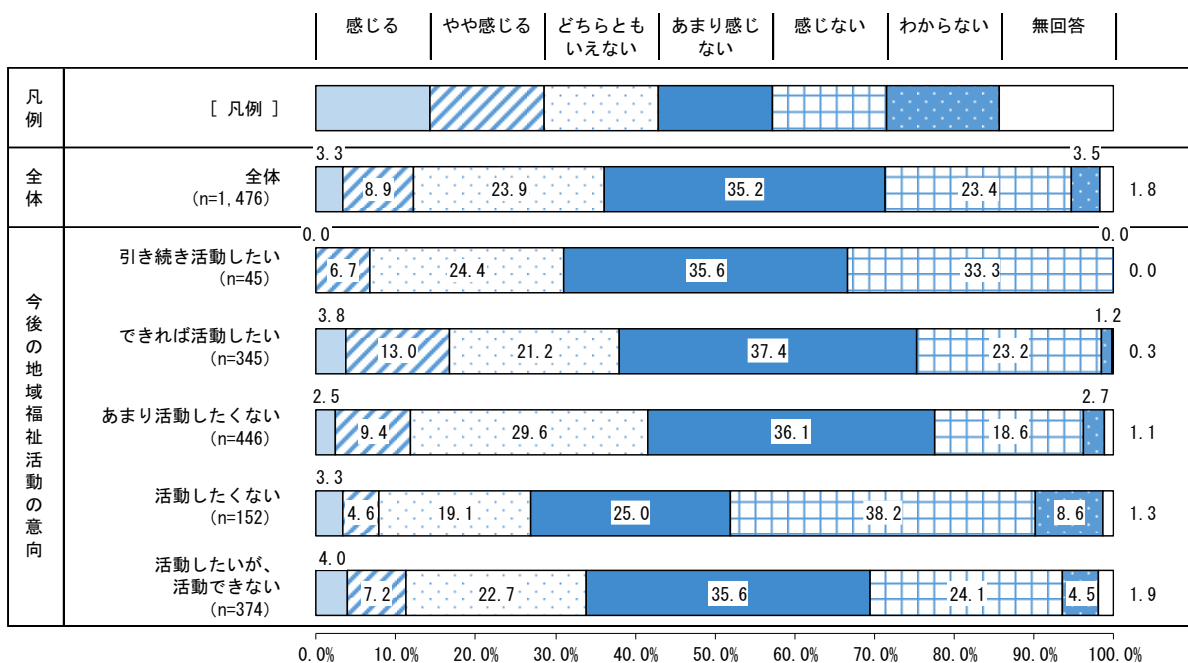
単位：%

		母数 (n)	問17 あなたが今住んでいる地域で孤立感を感じることがありますか。						
			感じる	やや感じる	どちらでもない	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
全体		1,476	3.3	8.9	23.9	35.2	23.4	3.5	1.8
問18 相談や助けを頼みたい人 (MA)	家族	1,191	2.6	8.6	23.5	36.4	24.1	3.3	1.5
	親族	579	1.4	8.3	25.9	35.6	24.2	3.6	1.0
	地域の方	105	1.0	5.7	▼ 13.3	41.9	△ 35.2	1.9	1.0
	友人・知人	437	2.3	9.2	19.7	38.7	28.1	1.6	0.5
	職場の方	107	1.9	13.1	26.2	34.6	23.4	0.9	-
	民生委員児童委員	28	7.1	7.1	14.3	32.1	△ 39.3	-	-
	医療機関	277	2.2	11.6	26.4	33.9	22.7	2.2	1.1
	社会福祉協議会	95	5.3	13.7	24.2	36.8	16.8	3.2	-
	地域包括支援センター	226	3.5	7.5	23.0	41.6	20.8	2.7	0.9
	子育て支援センター	16	6.3	-	18.8	△ 68.8	▼ 6.3	-	-
	障害者相談支援事業所	38	13.2	10.5	31.6	34.2	▼ 7.9	-	2.6
	市役所の窓口	330	4.5	9.4	27.0	34.8	21.5	1.5	1.2
	頼める人がいない	45	△ 20.0	8.9	22.2	26.7	▼ 11.1	11.1	-
	頼むつもりはない	14	7.1	7.1	14.3	28.6	28.6	△ 14.3	-
	その他	13	△ 15.4	15.4	15.4	▼ 7.7	23.1	△ 15.4	7.7

【今後の地域福祉活動意向】

- 孤立感を「あまり感じない」は、今後の地域福祉活動について活動したくないが25.0%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 孤立感を「感じない」は、今後の地域福祉活動について引き続き活動したいが33.3%、活動したくないが38.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【地域での孤立感（今後の地域福祉活動意向別）】



【今後したい活動内容】

- 孤立感を「感じる」は、障がいのある方の生活を支援する活動が6.6%と他の区分に比べて多くなっています。
- 孤立感を「やや感じる」は、自治会の活動が2.8%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 一方、孤立感を「あまり感じない」「感じない」は自治会の活動が他の区分に比べて多くなっています。

【地域での孤立感（今後したい活動内容別）】

単位：％

		母数 (n)	問17 あなたが今住んでいる地域で孤立感を感じるがありますか。						
			感じる	やや感じる	どちらとも	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
全体		390	3.3	12.3	21.5	37.2	24.4	1.0	0.3
今後問 したい 活動 内容 (MA)	自治会の活動	106	3.8	2.8	14.2	45.3	32.1	0.9	0.9
	地区社会福祉協議会（地区社協）の活動	42	4.8	9.5	23.8	40.5	19.0	2.4	－
	高齢者の生活を支援する活動	99	5.1	12.1	24.2	35.4	23.2	－	－
	障がいのある方の生活を支援する活動	61	6.6	11.5	23.0	36.1	23.0	－	－
	高齢者や障がいのある方などの社会参加や 生きがいをつくる活動	86	3.5	16.3	25.6	32.6	19.8	1.2	1.2
	子育てを支援する活動	112	1.8	9.8	22.3	42.0	24.1	－	－
	特技や趣味を生かした活動	129	3.1	15.5	20.2	37.2	21.7	2.3	－
	災害時に支え合う活動	163	3.1	9.2	20.9	38.7	27.0	0.6	0.6
	誰もが立ち寄れる地域の居場所をつくる活動	99	4.0	15.2	26.3	36.4	18.2	－	－
	その他	13	7.7	15.4	23.1	▼ 15.4	△ 38.5	－	－

単位：％

【充実してほしい市社会福祉協議会の活動、支援】

- 孤立感を「感じる」は、就労やボランティアなどを通じた社会参加の充実が 4.1%、高齢者、障がい者、ひとり親家庭、産前産後の方への日常的な生活支援が 4.6%、福祉に関する情報発信の充実が 4.0%、生活資金の貸付けが 4.0%、相談やサービスが利用できない方（ひきこもり、サービス利用拒否など）への支援が 4.5%、誰もが立ち寄れる居場所づくりが 4.0%と他の活動・支援に比べて多くなっています。
- 「やや感じる」は生活資金の貸付けが 14.7%と他の活動・支援に比べて多くなっています。

【地域での孤立感（充実してほしい市社会福祉協議会の活動、支援別）】

単位：％

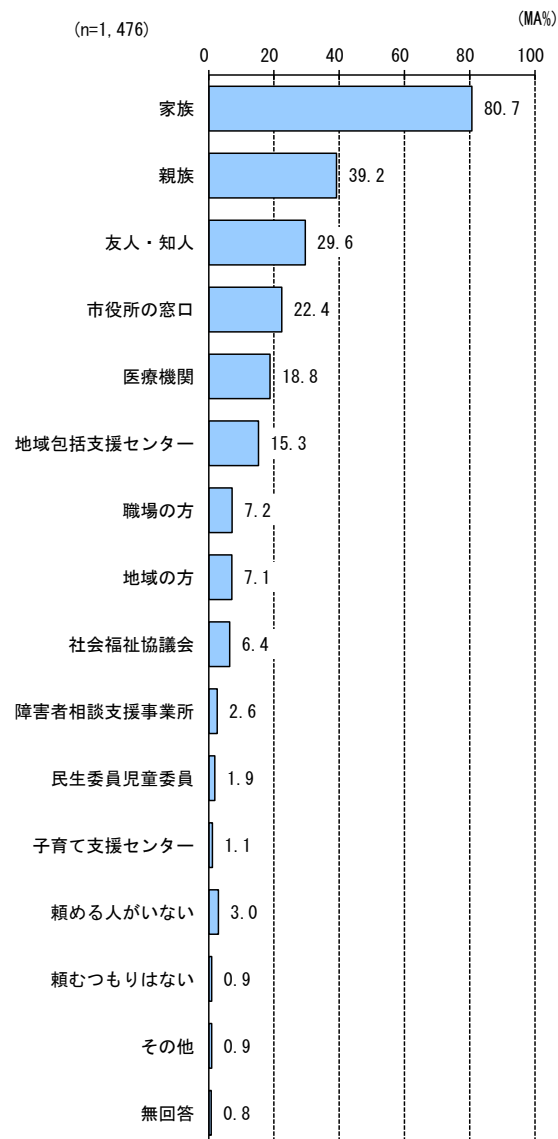
		母数 (n)	問17 あなたが今住んでいる地域で孤立感を感じることがありますか。						
			感じる	やや感じる	い ど え ち な い と も	あ ま り 感 じ な い	感 じ な い	わ か ら な い	無 回 答
全体		1,476	3.3	8.9	23.9	35.2	23.4	3.5	1.8
問 2 9 充 実 し て ほ し い 市 社 会 福 祉 協 議 会 の 活 動 、 支 援	地区社会福祉協議会（地区社協）の参加促進と支援	165	3.0	8.5	21.2	36.4	27.3	1.2	2.4
	福祉ボランティアの参加促進と支援	145	3.4	13.1	24.1	35.9	22.1	1.4	-
	就労やボランティアなどを通じた社会参加の充実	148	4.1	11.5	23.0	40.5	18.2	2.7	-
	地域福祉活動を担う人材の育成（地域の担い手、ボランティアなど）	329	1.8	10.0	24.6	39.2	22.8	0.9	0.6
	自治会や地区社会福祉協議会（地区社協）、地域で活躍する団体やボランティアなどがつながり、福祉問題を解決するための場づくり	224	1.8	8.0	24.6	37.5	24.1	1.8	2.2
	気軽に相談できる体制の充実	670	3.1	9.1	25.5	37.8	20.3	2.8	1.3
	高齢者、障がい者、ひとり親家庭、産前産後の方への日常的な生活支援	395	4.6	10.1	25.6	36.2	19.2	3.0	1.3
	権利擁護の促進（成年後見制度、財産管理など）	41	2.4	9.8	△ 36.6	29.3	19.5	2.4	-
	福祉に関する情報発信の充実	350	4.0	9.4	26.9	34.9	21.4	2.3	1.1
	生活資金の貸付け	75	4.0	14.7	22.7	▼ 22.7	24.0	9.3	2.7
	相談やサービスが利用できない方（ひきこもり、サービス利用拒否など）への支援	111	4.5	9.0	27.0	32.4	22.5	3.6	0.9
	誰もが立ち寄れる居場所づくり	324	4.0	9.6	23.5	37.3	21.3	3.1	1.2
	特にない	126	2.4	7.1	20.6	31.7	30.2	7.1	0.8
	その他	41	12.2	14.6	24.4	▼ 14.6	22.0	9.8	2.4

問18 あなたは暮らしの中で相談や助けが必要なとき、誰に頼みたいと思いますか。
 (当てはまるもの全てに○)

【全体】

○ 「家族」が80.7%で最も多く、次いで「親族」が39.2%、「友人・知人」が29.6%となっています。

【相談や助けを頼みたい人】



【同居家族】

- 同居人ありでは、「家族」が 85.4%で最も多く、次いで「親族」が 40.8%、「友人・知人」が 29.3%となっています。
- 一人暮らしでは、「家族」が 51.2%で最も多く、次いで「友人・知人」が 31.5%、「親族」が 30.0%となっています。

【介護や支援が必要な人の有無】

- 支援が必要な親族ありでは、「家族」が 79.5%で最も多く、次いで「親族」が 39.5%、「友人・知人」が 25.8%となっています。
- 支援が必要な親族なしでは、「家族」が 81.3%で最も多く、次いで「親族」が 39.3%、「友人・知人」が 32.1%となっています。

【相談や助けを頼みたい人（同居家族別・介護や支援が必要な人の有無別）】

単位：％

単位：％

		母数 (n)	問18 あなたは暮らしの中で相談や助けが必要なとき、誰に頼みたいと思いますか。(MA)															
			家族	親族	地域の方	友人・知人	職場の方	民生委員児童委員	医療機関	社会福祉協議会	地域包括支援センター	子育て支援センター	障害者相談支援事業所	市役所の窓口	頼める人がいない	頼むつもりはない	その他	無回答
全体		1,476	80.7	39.2	7.1	29.6	7.2	1.9	18.8	6.4	15.3	1.1	2.6	22.4	3.0	0.9	0.9	0.8
家 同 族 居	同居人あり	1,267	85.4	40.8	7.2	29.3	7.2	1.6	19.1	6.2	14.7	1.3	2.6	22.3	2.7	0.7	0.7	0.7
	一人暮らし	203	▼51.2	30.0	6.9	31.5	7.4	3.4	16.3	7.9	19.7	—	2.5	22.7	5.4	2.5	2.0	1.5
支 介 援 護	支援が必要な親族あり	473	79.5	39.5	7.6	25.8	6.8	0.8	19.0	5.3	17.8	0.6	4.9	21.8	3.4	0.8	1.3	1.3
	支援が必要な親族なし	971	81.3	39.3	6.9	32.1	7.6	2.4	18.7	7.2	14.1	1.2	1.3	22.8	3.0	1.0	0.7	0.6

【福祉サービス情報の入手状況】

- 十分入手できている人は、「地域の方」が 17.9%と他の区分に比べて多くなっています。
- ほとんど入手できていない人は、「頼める人がいない」が 4.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【相談や助けを頼みたい人（福祉サービス情報の入手状況別）】

単位：％

単位：％

		母数 (n)	問18 あなたは暮らしの中で相談や助けが必要なとき、誰に頼みたいと思いますか。(MA)															
			家族	親族	地域の方	友人・知人	職場の方	民生委員児童委員	医療機関	社会福祉協議会	地域包括支援センター	子育て支援センター	障害者相談支援事業所	市役所の窓口	頼める人がいない	頼むつもりはない	その他	無回答
全体		1,476	80.7	39.2	7.1	29.6	7.2	1.9	18.8	6.4	15.3	1.1	2.6	22.4	3.0	0.9	0.9	0.8
問10 福祉サービス 情報の入手	十分入手できている	39	76.9	38.5	△17.9	30.8	10.3	5.1	20.5	15.4	23.1	－	－	23.1	2.6	－	5.1	2.6
	十分ではないが、 入手できている	492	82.9	44.5	8.1	33.7	8.3	2.8	23.6	7.1	20.3	1.8	5.9	25.0	1.6	0.8	0.8	0.2
	ほとんど入手 できていない	533	80.1	37.1	7.3	27.6	7.5	1.3	17.1	6.4	12.9	0.6	1.3	23.3	4.5	1.3	0.8	0.4
	今のところ情報を 得る必要がない	356	80.1	36.2	4.5	29.5	5.9	1.4	14.9	3.7	11.0	1.1	0.3	16.9	3.4	0.6	0.8	1.4

【地域の方との関わりの程度】

- 地域の方と関わりの程度によらず、「家族」が最も多くなっていますが、付き合いがほとんどない人は「家族」が63.2%、「親族」が29.1%と他の区分に比べて少なくなっています。
- また、付き合いがほとんどない人は「頼める人がいない」が12.1%と他の区分に比べて多くなっています。
- 家族ぐるみの付き合いがある人、相談したり助け合ったりする人は、「友人・知人」「地域の方」が他の区分に比べて多くなっています。

【相談や助けを頼みたい人（地域の方との関わりの程度別）】

単位：％

		母数 (n)	問18 あなたは暮らしの中で相談や助けが必要なとき、誰に頼みたいと思いますか。(MA)							
			家 族	親 族	地 域 の 方	友 人 ・ 知 人	職 場 の 方	民 生 委 員 児 童 委 員	医 療 機 関	社 会 福 祉 協 議 会
全体		1,476	80.7	39.2	7.1	29.6	7.2	1.9	18.8	6.4
関 地 わ 域 の 方 程 と 度 の	日ごろから、家族ぐるみの 付き合いがある	95	89.5	47.4	△ 17.9	△ 47.4	8.4	3.2	18.9	7.4
	困っているときに、相談した り、助け合ったりする	137	82.5	40.9	△ 24.1	△ 43.8	6.6	5.1	24.1	10.9
	たまに立ち話をする	366	87.2	41.0	9.0	30.9	7.9	2.2	23.8	6.3
	会えばあいさつを交わす	627	81.7	40.7	3.2	25.2	6.7	0.8	16.4	5.4
	付き合いがほとんどない	223	▼ 63.2	▼ 29.1	0.9	23.8	7.6	1.3	14.3	6.7
	その他	9	△100.0	▼ 22.2	-	△ 77.8	△ 22.2	-	22.2	-

単位：％

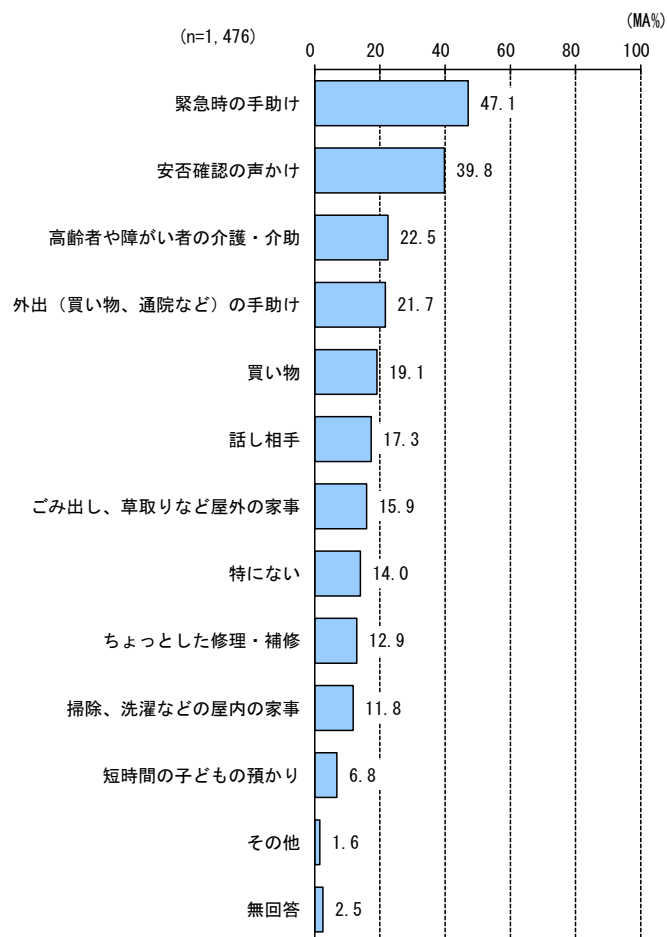
		母数 (n)	問18 あなたは暮らしの中で相談や助けが必要なとき、誰に頼みたいと思いますか。(MA)							
			地域包括支援センター	子育て支援センター	障害者相談支援事業所	市役所の窓口	頼める人がいない	頼むつもりはない	その他	無回答
全体		1,476	15.3	1.1	2.6	22.4	3.0	0.9	0.9	0.8
関地域の 方向と 度の	日ごろから、家族ぐるみの 付き合いがある	95	18.9	2.1	3.2	20.0	-	-	1.1	-
	困っているときに、相談したり、 助け合ったりする	137	24.8	0.7	2.2	19.0	0.7	-	-	0.7
	たまに立ち話をする	366	18.6	1.1	2.7	23.8	1.4	0.3	0.5	0.8
	会えばあいさつを交わす	627	13.1	1.4	2.9	24.1	1.9	1.1	1.0	0.6
	付き合いがほとんどない	223	9.0	-	1.8	19.3	12.1	2.7	1.3	-
	その他	9	22.2	-	-	▼ 11.1	-	-	-	-

問19 あなたやご家族が、高齢や病気、障がいもしくは子育てなどにおいて、生活する上での困りごとが生じたとき、地域の方にどのような手助けをしてほしいですか。
(当てはまるもの全てに○)

【全体】

○ 「緊急時の手助け」が 47.1%で最も多く、次いで「安否確認の声かけ」が 39.8%、「高齢者や障がい者の介護・介助」が 22.5%となっています。

【地域の人に手助けしてほしいこと】



【年代】

- 70代までは、「緊急時の手助け」が最も多く、次いで「安否確認の声かけ」となっています。
- 80歳以上では、「安否確認の声かけ」が35.0%で最も多く、次いで「緊急時の手助け」が32.7%となっています。
- 「短時間の子どもの預かり」は30代が33.3%と他の年代に比べて多くなっています。

【居住地域】

- 居住地域によらず、「緊急時の手助け」が最も多く、次いで「安否確認の声かけ」となっています。
- 「高齢者や障がい者の介護・介助」は相模が丘が30.2%と他の地域に比べて多くなっています。
- 「安否確認の声かけ」は相武台が49.8%と他の地域に比べて多くなっています。

【地域の人に手助けしてほしいこと（年代別・居住地域別）】

単位：％

		問19 あなたやご家族が、高齢や病気、障がいもしくは子育てなどにおいて、生活する上での困りごとが生じたとき、地域の方にどのような手助けをしてほしいですか。(MA)													
		母数 (n)	安 否 確 認 の 声 か け	話 し 相 手	買 い 物	掃 除、 洗 濯 な ど の 家 事	屋 外 の 家 事 、 草 取 り な ど	外 出 （ 買 い 物 、 通 院 な ど ） の 手 助 け	ち よ つ と し た 修 理 ・ 補 修	短 時 間 の 子 ど も の 預 か り	高 齢 者 や 障 が い 者 の 介 護 ・ 介 助	緊 急 時 の 手 助 け	特 に な い	そ の 他	無 回 答
全体		1,476	39.8	17.3	19.1	11.8	15.9	21.7	12.9	6.8	22.5	47.1	14.0	1.6	2.5
年代	10代・20代	76	30.3	22.4	▼ 6.6	13.2	7.9	▼ 9.2	7.9	9.2	14.5	△ 57.9	13.2	1.3	—
	30代	126	44.4	25.4	19.0	17.5	11.1	23.0	9.5	△ 33.3	19.8	50.8	9.5	0.8	—
	40代	207	44.9	24.6	17.4	12.1	12.6	17.9	10.6	13.0	27.5	56.0	13.0	1.4	—
	50代	283	41.7	19.8	19.8	11.7	15.2	24.7	12.0	4.6	32.2	53.7	8.8	1.1	0.4
	60代	287	44.3	14.3	20.2	11.5	19.2	23.7	14.6	2.8	23.3	48.4	14.6	1.4	1.7
	70代	272	32.7	9.6	21.3	9.6	17.3	21.7	16.2	0.7	16.2	39.3	19.5	1.5	4.8
	80歳以上	214	35.0	14.0	20.1	10.7	19.6	22.4	14.0	0.9	16.4	▼ 32.7	17.3	2.8	7.9
居住地域	相模が丘	255	42.4	15.7	17.6	12.2	18.0	23.1	13.3	7.5	30.2	52.9	11.8	1.2	2.0
	ひばりが丘	309	33.3	19.1	19.7	11.0	13.6	23.6	10.0	6.1	18.4	45.6	15.5	0.3	2.6
	栗原	238	36.6	12.2	18.9	10.1	15.5	17.6	12.2	6.7	21.0	42.4	17.2	3.4	1.3
	相武台	271	△ 49.8	19.2	19.9	12.2	12.9	23.2	15.1	8.5	19.9	51.7	11.8	1.5	3.7
	立野台	173	43.4	21.4	20.2	15.0	21.4	22.0	15.6	4.6	20.8	46.2	14.5	0.6	0.6
	新田宿	224	34.8	17.0	18.8	11.6	17.0	20.1	12.9	7.1	25.0	43.3	13.4	2.2	4.0

【地域の範囲】

- 地域の範囲によらず、「緊急時の手助け」が最も多くなっています。
- 「安否確認の声かけ」は中学校学区が 55.9%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「短時間の子どもの預かり」は小学校学区が 18.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【地域の人に手助けしてほしいこと（地域の範囲別）】

単位：％

単位：％

		母数 (n)	問19 あなたやご家族が、高齢や病気、障がいもしくは子育てなどにおいて、生活する上での困りごとが生じたとき、 地域の方にどのような手助けをしてほしいですか。(MA)													
			安否 確認の 声かけ	話 し 相 手	買 い 物	掃 除、洗 濯 など の 家 事	屋 外 の 家 事	ご み 出 し、 草 取 り な ど	外 出 （買 い 物、 通 院 な ど） の 手 助 け	ち よ つ と し た 修 理・ 補 修	短 時 間 の 子 ど も の 預 か り	介 護・ 介 助	高 齢 者 や 障 が い 者 の	緊 急 時 の 手 助 け	特 に な い	そ の 他
全体		1,476	39.8	17.3	19.1	11.8	15.9	21.7	12.9	6.8	22.5	47.1	47.1	14.0	1.6	2.5
地域 問 の 1 範 3 囲	隣近所	481	38.5	16.6	22.7	11.4	18.5	24.7	13.7	4.0	21.2	42.6	42.6	16.0	1.9	3.5
	自治会	413	43.1	16.0	15.0	8.5	13.6	20.3	12.3	3.4	20.3	44.8	44.8	13.6	1.2	1.7
	小学校学区	132	33.3	14.4	16.7	14.4	12.1	18.9	9.8	△ 18.9	25.0	56.1	56.1	12.1	1.5	-
	中学校学区	68	△ 55.9	20.6	13.2	10.3	13.2	17.6	17.6	10.3	25.0	△ 57.4	57.4	10.3	1.5	1.5
	座間市全域	305	41.0	22.0	22.0	17.0	18.0	22.3	13.8	10.8	26.9	55.4	55.4	11.5	0.7	1.3
	その他	30	▼ 23.3	10.0	13.3	13.3	10.0	20.0	13.3	10.0	26.7	▼ 30.0	30.0	20.0	13.3	-

【同居家族】

- 同居家族の有無によらず、「緊急時の手助け」が最も多くなっています。
- 「安否確認の声かけ」は一人暮らしが 44.8%と同居人ありの 39.1%に比べて多くなっています。
- 「高齢者や障がい者の介護・介助」は同居人ありが 23.6%と一人暮らしの 15.8%に比べて多くなっています。

【介護や支援が必要な人の有無】

- 介護や支援が必要な人の有無によらず、「緊急時の手助け」が最も多くなっています。
- 「高齢者や障がい者の介護・介助」は支援が必要な親族ありが 28.3%と支援が必要な親族なしの 20.0%に比べて多くなっています。

【地域の人に手助けしてほしいこと（同居家族別・介護や支援が必要な人の有無別）】

単位：％

単位：%

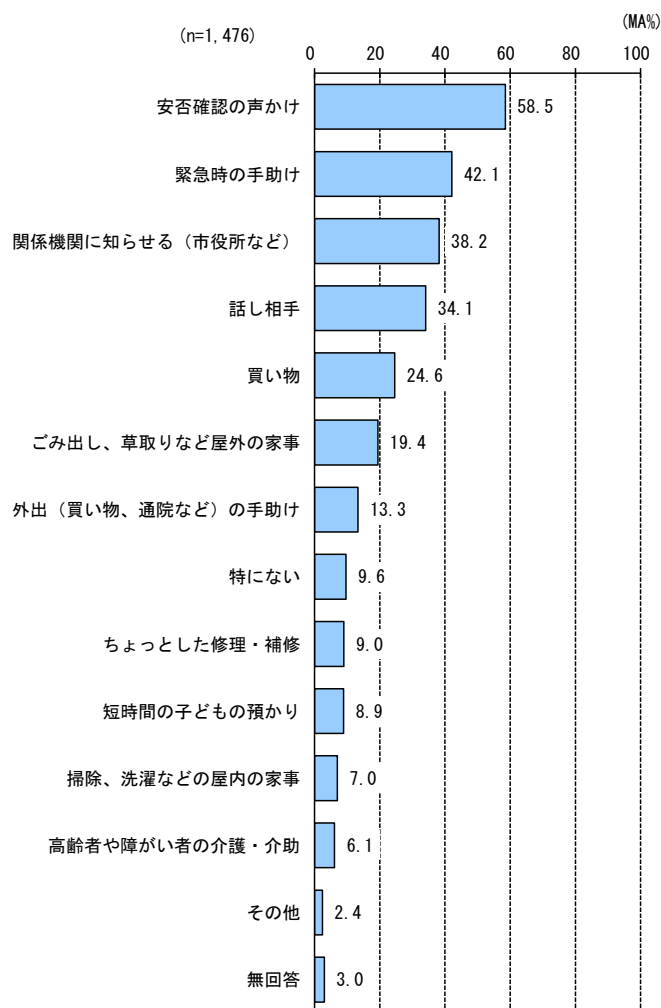
		母数 (n)	問19 あなたやご家族が、高齢や病気、障がいもしくは子育てなどにおいて、生活する上での困りごとが生じたとき、 地域の方にどのような手助けをしてほしいですか。(MA)													
			安否 確認の 声かけ	話 し 相 手	買 い 物	掃 除、 洗 濯 な ど の 家 事	屋 外 の 家 事	ご み 出 し、 草 取 り な ど	外 出 （ 買 い 物、 通 院 な ど ） の 手 助 け	ち よ つ と し た 修 理・ 補 修	短 時 間 の 子 ど も の 預 か り	介 護・ 介 助	高 齢 者 や 障 が い 者 の	緊 急 時 の 手 助 け	特 に な い	そ の 他
全体		1,476	39.8	17.3	19.1	11.8	15.9	21.7	12.9	6.8	22.5	47.1	47.1	14.0	1.6	2.5
家 同 族 居	同居人あり	1,267	39.1	17.5	19.1	11.5	15.7	21.9	12.3	7.2	23.6	47.1	47.1	13.9	1.5	2.4
	一人暮らし	203	44.8	15.8	19.2	13.3	17.2	20.7	17.2	4.9	15.8	46.8	46.8	14.8	2.5	3.0
支 介 援 護	支援が必要な親族あり	473	37.2	16.9	20.1	11.6	17.8	22.2	15.2	9.1	28.3	47.8	47.8	11.0	1.3	3.0
	支援が必要な親族なし	971	41.5	17.7	18.7	12.2	15.6	21.4	11.8	6.0	20.0	47.3	47.3	15.1	1.9	2.0

問20 地域で、高齢者や障がいのある方の介助・介護、子育てなどで困っている家庭がいた場合、あなたはどのような手助けができると思いますか。
(当てはまるもの全てに○)

【全体】

○ 「安否確認の声かけ」が 58.5%で最も多く、次いで「緊急時の手助け」が 42.1%、「関係機関に知らせる（市役所など）」が 38.2%となっています。

【地域で自身が手助けできること】



【年代】

- 10代・20代では、「緊急時の手助け」が53.9%で最も多く、次いで「安否確認の声かけ」が44.7%、「関係機関に知らせる（市役所など）」が43.4%となっています。
- 30代から70代では、「安否確認の声かけ」が最も多く、次いで「緊急時の手助け」、「関係機関に知らせる（市役所など）」となっています。
- 80歳以上では、「安否確認の声かけ」が49.1%で最も多く、次いで「話し相手」が31.8%、「関係機関に知らせる（市役所など）」が25.7%となっています。

【居住地域】

- 「安否確認の声かけ」「緊急時の声かけ」は相武台が他の地域に比べて多くなっています。

【地域で自身が手助けできること（年代別・居住地域別）】

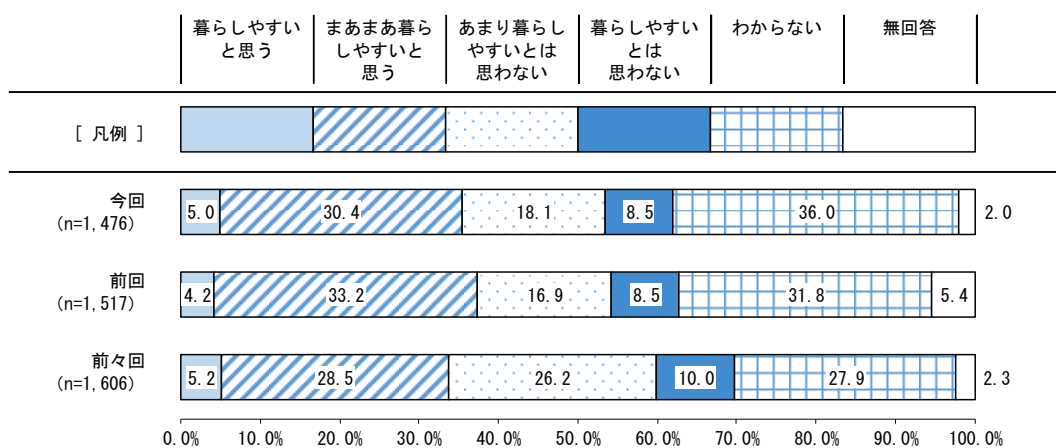
単位：％

		母数 (n)	問20 地域で、高齢者や障がいのある方の介助・介護、子育てなどで困っている家庭がいた場合、 あなたはどのような手助けができると思いますか。(MA)													
			安否 確認の 声かけ	話し 相手	買い 物	掃除、 洗濯 などの 家事	屋外 の家事 （ごみ 出し、 草取り など	外出（ 買い物、 通院 など） の手 助け	ちよつ とした 修理・ 補修	短時 間の 子ども の預かり	高齢 者や 障がい 者の 介護・ 介助	緊急 時の 手助け	（市役 所など） 関係 機関に 知らせる	特 に ない	そ の 他	無 回 答
全体		1,476	58.5	34.1	24.6	7.0	19.4	13.3	9.0	8.9	6.1	42.1	38.2	9.6	2.4	3.0
年代	10代・20代	76	▼ 44.7	35.5	23.7	9.2	13.2	17.1	5.3	9.2	6.6	△ 53.9	43.4	10.5	1.3	－
	30代	126	57.1	36.5	27.8	9.5	19.8	19.0	11.1	△ 19.8	4.0	47.6	38.9	11.9	0.8	－
	40代	207	63.8	37.7	27.5	7.2	17.4	12.6	5.8	12.6	7.2	46.4	45.9	5.3	0.5	0.5
	50代	283	62.9	35.7	30.0	8.8	22.3	15.2	12.4	13.1	8.8	51.2	42.0	5.7	1.4	1.1
	60代	287	63.4	33.1	25.8	8.0	20.9	11.8	9.4	6.3	7.0	47.4	42.9	7.7	0.3	1.0
	70代	272	56.3	30.5	22.8	4.8	20.2	14.3	9.6	4.0	4.8	33.5	31.3	12.5	4.0	5.9
	80歳以上	214	49.1	31.8	▼ 13.6	3.3	15.9	6.1	5.6	2.3	1.9	▼ 21.5	▼ 25.7	15.4	6.5	9.3
居住 地域	相模が丘	255	57.3	34.1	27.1	4.7	18.8	15.3	8.2	6.7	8.6	42.4	38.4	8.2	3.1	1.6
	ひばりが丘	309	56.0	33.3	21.7	6.1	15.2	10.0	7.4	6.8	4.9	39.5	39.5	11.3	1.6	2.6
	栗原	238	58.4	36.6	26.5	9.2	21.4	12.6	10.5	10.1	5.0	42.0	35.7	8.8	2.9	2.1
	相武台	271	63.5	33.9	24.4	7.0	21.4	16.2	8.1	11.8	5.5	48.3	38.0	8.9	1.5	5.5
	立野台	173	55.5	32.9	23.7	6.9	17.3	13.3	6.4	8.7	2.9	37.6	40.5	12.1	2.3	2.3
	新田宿	224	59.8	33.5	24.6	8.0	22.3	11.6	12.5	8.9	8.0	41.1	37.1	7.6	2.2	3.6

問21 本市は高齢者、障がいのある方、子育て世帯などにとって暮らしやすいまちだと思いますか。（１つだけ○）

- 【全体】
- 「わからない」が36.0%で最も多く、次いで「まあまあ暮らしやすいと思う」が30.4%、「あまり暮らしやすいとは思わない」が18.1%となっています。「暮らしやすいと思う」「まあまあ暮らしやすいと思う」を合わせた“暮らしやすいと思う方”は35.4%となっています。「あまり暮らしやすいとは思わない」「暮らしやすいとは思わない」を合わせた“暮らしやすいとは思わない方”は26.6%となっています。
- 【(参考) 経年比較】
- 「暮らしやすいと思う」「まあまあ暮らしやすいと思う」を合わせた“暮らしやすいと思う方”は前回調査より2.0ポイント低く、前々回調査より1.7ポイント高くなっています。
 - 「あまり暮らしやすいとは思わない」「暮らしやすいとは思わない」を合わせた“暮らしやすいとは思わない方”は前回調査より1.2ポイント高く、前々回調査より9.6ポイント低くなっています。
 - 「わからない」は前回調査より4.2ポイント、前々回調査より8.1ポイント高くなっています。

【暮らしやすいまちだと思うか（全体・経年比較）】



- 【暮らしやすさ】
- あまり暮らしやすいとは思わないでは、「配偶者」が76.0%と他の区分に比べて多くなっています。
 - 暮らしやすいとは思わないでは、「子ども」が54.0%となっており、全体の割合より10ポイント以上高くなっています。

【同居している人（暮らしやすさ別）】

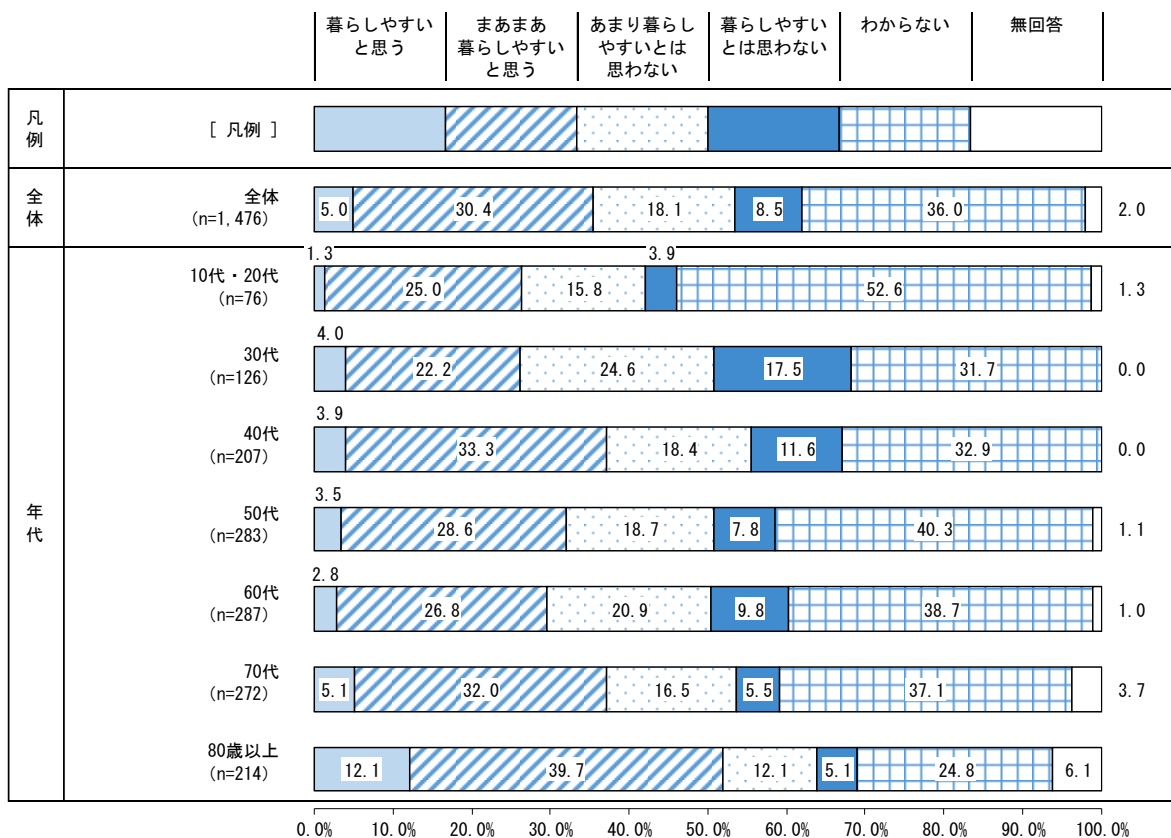
単位：％

		母数 (n)	問5 あなたと一緒に住んでいるのはどなたですか。(MA)										
			配偶者	子ども	父親	母親	兄弟姉妹	祖父母	孫	親戚	一人暮らし (単身)	その他	無回答
全体		1,476	66.2	41.5	7.8	12.1	4.1	1.0	2.6	0.1	13.8	2.4	0.4
暮らしやすさ 本市の	暮らしやすいと思う	74	▼ 55.4	45.9	1.4	9.5	2.7	－	5.4	－	16.2	4.1	－
	まあまあ暮らしやすいと思う	448	69.9	45.1	7.1	12.3	3.1	1.8	3.6	0.2	11.8	2.2	0.2
	あまり暮らしやすいとは思わない	267	76.0	48.3	4.9	7.1	3.0	1.1	1.1	－	10.9	2.6	0.7
	暮らしやすいとは思わない	126	72.2	△ 54.0	9.5	10.3	3.2	0.8	1.6	－	8.7	2.4	0.8
	わからない	531	58.8	32.2	10.4	15.1	5.8	0.6	2.3	0.2	17.1	2.4	0.4

【年代】

- 「暮らしやすいと思う」「まあまあ暮らしやすいと思う」を合わせた“暮らしやすいと思う方”は80歳以上が51.8%と他の年代に比べて多くなっています。
- 一方、「あまり暮らしやすいとは思わない」「暮らしやすいとは思わない」を合わせた“暮らしやすいとは思わない方”は30代が42.1%と他の年代に比べて多くなっています。

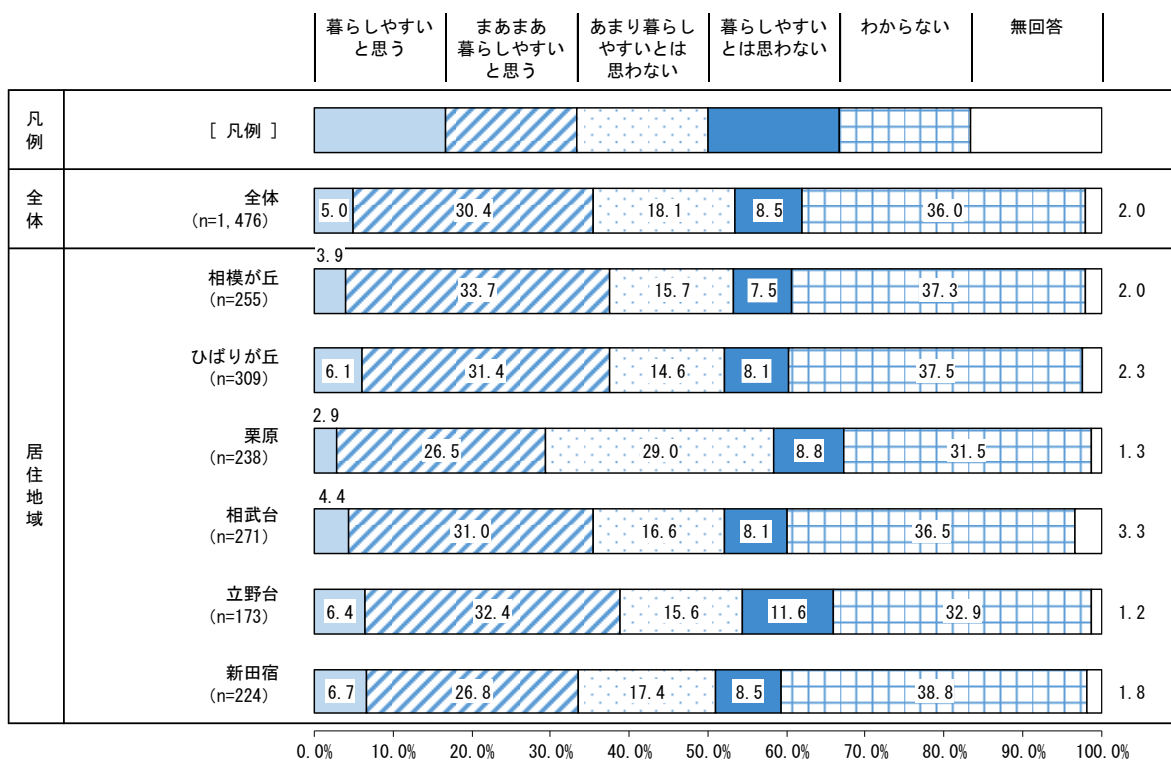
【暮らしやすいまちだと思うか（年代別）】



【居住地域】

- 「あまり暮らしやすいとは思わない」は栗原が 29.0%と他の地域に比べて多くなっています。
- 「暮らしやすいとは思わない」は立野台が 11.6%と他の地域に比べて多くなっています。

【暮らしやすいまちだと思うか（居住地域別）】



【地域に必要なだと思うもの】

- 「あまり暮らしやすいとは思わない」は活動費、運営費などの資金が 21.7%、活動の拠点となる場の整備が 21.5%、見守り、助け合い、支え合う活動の場や機関の情報提供が 20.8%となっています。

【暮らしやすいまちだと思うか（地域に必要なと思うもの別）】

単位：％

		母数 (n)	問21 本市は高齢者、障がいのある方、子育て世帯などにとって暮らしやすいまちだと思いますか。					
			と暮らしやすい	ややまあまあ暮らしやすい	いあまり暮らしやすいとは思わない	暮らしやすいとは思わない	わからない	無回答
全体		1,476	5.0	30.4	18.1	8.5	36.0	2.0
の 問24 え合い に必要 なもの (MA)	活動の意義と重要性のPR	425	6.4	32.9	18.1	4.7	36.7	1.2
	活動の拠点となる場の整備	470	4.0	28.3	21.5	8.7	36.0	1.5
	活動費、運営費などの資金	461	5.2	31.0	21.7	8.7	32.5	0.9
	活動に関わる人材の育成	609	4.1	33.8	18.4	7.1	35.5	1.1
	見守り、助け合い、支え合う活動の場や機関の情報提供	600	3.8	32.2	20.8	7.7	34.3	1.2
	活動に求められる役割の整理・効率化	304	6.6	36.8	17.1	7.6	31.3	0.7
	特になし	106	6.6	▼ 17.0	12.3	14.2	△ 47.2	2.8
	その他	52	1.9	▼ 13.5	23.1	15.4	44.2	1.9

【充実してほしい市社会福祉協議会の活動、支援】

- 「あまり暮らしやすいとは思わない」は福祉ボランティアの参加促進と支援が 24.1%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「暮らしやすいとは思わない」は高齢者、障がい者、ひとり親家庭、産前産後の方への日常生活支援が 12.2%、権利擁護の促進（成年後見制度、財産管理など）が 14.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【暮らしやすいまちだと思うか（充実してほしい市社会福祉協議会の活動、支援別）】

単位：％

		母数 (n)	問21 本市は高齢者、障がいのある方、子育て世帯などにとって暮らしやすいまちだと思いますか。					
			と暮らしやすい と思う	まあまあ暮らし やすいと思う	あまり暮らし やすいと思わ ない	暮らしやすい とは思わな い	わからない	無 回 答
全体		1,476	5.0	30.4	18.1	8.5	36.0	2.0
問29 充実してほしい市社会福祉協議会の活動、支援	地区社会福祉協議会（地区社協）の参加促進と支援	165	6.7	△ 43.6	13.9	6.1	28.5	1.2
	福祉ボランティアの参加促進と支援	145	5.5	39.3	24.1	5.5	▼ 22.8	2.8
	就労やボランティアなどを通じた社会参加の充実	148	4.1	30.4	18.2	8.8	37.8	0.7
	地域福祉活動を担う人材の育成（地域の担い手、ボランティアなど）	329	4.3	35.9	19.5	6.7	32.5	1.2
	自治会や地区社会福祉協議会（地区社協）、地域で活躍する団体やボランティアなどがつながり、福祉問題を解決するための場づくり	224	7.1	36.2	19.6	6.7	27.7	2.7
	気軽に相談できる体制の充実	670	4.3	32.1	16.6	6.7	39.1	1.2
	高齢者、障がい者、ひとり親家庭、産前産後の方への日常的な生活支援	395	4.6	30.9	20.8	12.2	30.4	1.3
	権利擁護の促進（成年後見制度、財産管理など）	41	12.2	24.4	12.2	14.6	36.6	－
	福祉に関する情報発信の充実	350	3.1	24.9	20.9	10.0	40.6	0.6
	生活資金の貸付け	75	4.0	30.7	21.3	8.0	34.7	1.3
	相談やサービスが利用できない方（ひきこもり、サービス利用拒否など）への支援	111	4.5	34.2	13.5	9.0	37.8	0.9
	誰もが立ち寄れる居場所づくり	324	5.6	32.4	20.1	7.1	32.7	2.2
	特になし	126	4.8	▼ 19.8	11.1	13.5	△ 50.0	0.8
	その他	41	－	▼ 12.2	△ 34.1	14.6	39.0	－

【地域福祉推進のために行政が取り組むべきこと】

- 「あまり暮らしやすいとは思わない」は課題を抱える方、世帯への理解の促進（高齢者、障がい者、子育て世帯など）が23.8%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「暮らしやすいとは思わない」は資金、活動場所などの支援と確保が10.9%、課題を抱える方、世帯への理解の促進（高齢者、障がい者、子育て世帯など）が10.8%、就労やボランティアの参加促進と支援が10.1%となっています。

【暮らしやすいまちだと思うか（地域福祉推進のために行政が取り組むべきこと別）】

単位：％

		母数 (n)	問21 本市は高齢者、障がいのある方、子育て世帯などにとって暮らしやすいまちだと思いますか。					
			暮らしやすいと思う	とまあまあ暮らしやすい	あまり暮らしやすいとは思わない	暮らしやすいとは思わない	わからない	無回答
全体		1,476	5.0	30.4	18.1	8.5	36.0	2.0
問30 行政が取り組むべきこと（3LA）	福祉サービスの充実（サービス内容の拡充・評価、専門的職員の配置など）	534	4.5	31.8	19.1	8.2	34.8	1.5
	福祉ボランティアの参加促進と支援	133	10.5	37.6	20.3	2.3	27.8	1.5
	就労やボランティアなどを通じた社会参加の充実	119	6.7	34.5	13.4	10.1	32.8	2.5
	地域福祉活動を担う人材の育成（地域の担い手、ボランティアなど）	353	4.2	34.0	21.5	8.2	30.3	1.7
	自治会や地区社会福祉協議会（地区社協）、地域で活躍する団体やボランティアなどがつながり、福祉問題を解決するための場づくり	219	7.3	40.2	17.4	3.7	29.2	2.3
	気軽に相談できる体制の充実	665	5.0	31.6	16.4	6.9	38.8	1.4
	権利擁護の促進（成年後見制度、財産管理など）	45	6.7	31.1	15.6	6.7	40.0	－
	福祉に関する情報発信の充実	390	3.8	25.9	20.5	8.2	40.5	1.0
	課題を抱える方、世帯への理解の促進（高齢者、障がい者、子育て世帯など）	223	4.9	31.4	23.8	10.8	27.4	1.8
	地域の自主的な活動（ボランティア、民間サービスなど）と行政サービスの連携強化	153	4.6	39.9	17.6	6.5	31.4	－
	相談やサービスが利用できない方（ひきこもり、サービス利用拒否など）への支援	105	5.7	38.1	17.1	5.7	32.4	1.0
	資金、活動場所などの支援と確保	238	3.8	31.9	19.7	10.9	32.4	1.3
	特にない	79	5.1	▼ 19.0	13.9	10.1	△ 50.6	1.3
	その他	34	2.9	▼ 5.9	26.5	11.8	△ 52.9	－

問21-（１） その理由は何ですか。そのように思う理由を簡単にお書きください。

- 自由記述の意見を下記のようにカテゴリー分けすると、暮らしやすいと思う理由は、「福祉サービスが充実している」が 4.4%で最も多く、次いで「施設が充実している」が 4.3%となっています。暮らしやすいとは思わない理由は、「バリアフリーでない」が 7.5%で最も多く、次いで「福祉サービスが不足している」が 6.7%となっています。
- “暮らしやすいとは思わない方”（問 21）の割合が多くなっている 30 代について、暮らしやすいとは思わない理由は、「福祉サービスが不足している」が 16.7%で、全体よりも 10 ポイント高くなっています。

暮らしやすさ	理由	全体（n=1,476）		うち「30代」（n=126）	
		該当件数 (MA)	該当割合 (%)	該当件数 (MA)	該当割合 (%)
暮らしやすいと思う	福祉サービスが充実している	65	4.4%	7	5.6%
	施設が充実している	64	4.3%	6	4.8%
	現状に不満がない	42	2.8%	3	2.4%
	市役所の機能が充実している	39	2.6%	1	0.8%
	交通の便が良い	29	2.0%	4	3.2%
	地域に交流がある	27	1.8%	2	1.6%
	自然が豊かな	18	1.2%	－	0.0%
	治安が良い	16	1.1%	－	0.0%
暮らしやすいとは思わない	バリアフリーでない	110	7.5%	15	11.9%
	福祉サービスが不足している	99	6.7%	21	16.7%
	交通の便が悪い	68	4.6%	3	2.4%
	市役所の機能が不足している	34	2.3%	8	6.3%
	施設が不足している	32	2.2%	8	6.3%
	治安・生活環境が悪い	16	1.1%	4	3.2%
	地域と交流がない	13	0.9%	1	0.8%
わからない	現時点で実感がない	88	6.0%	10	7.9%
	情報の不足	37	2.5%	4	3.2%
	周囲に該当者がいない	26	1.8%	3	2.4%
	他のまちと比較できない	24	1.6%	3	2.4%
	該当者と接点がない	22	1.5%	3	2.4%
	居住年数が長くない	17	1.2%	3	2.4%
その他		106	7.2%	15	11.9%
関心がない/わからない		69	4.7%	6	4.8%
無回答/特になし		535	36.2%	17	13.5%

4. 地域福祉活動について

問22 あなたは現在、自治会や地区社会福祉協議会（地区社協）、ボランティアなどの地域福祉活動に参加していますか。（1つだけ○）

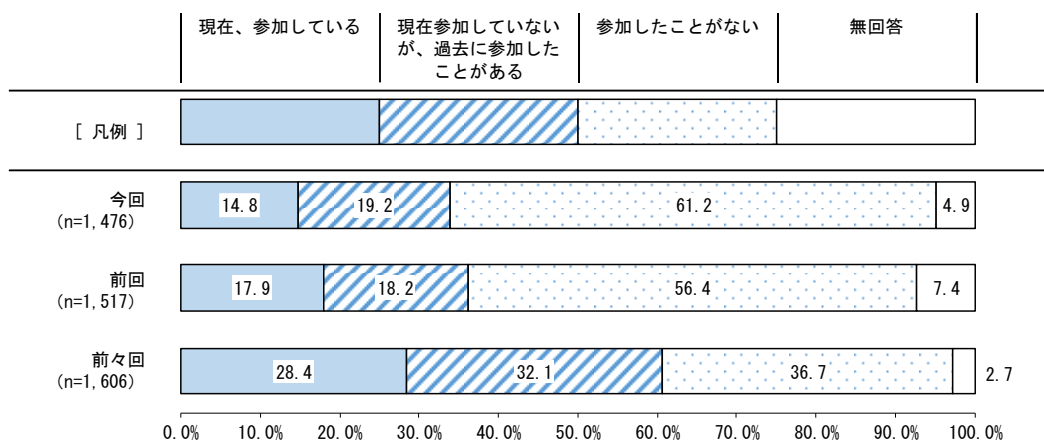
【全体】

- 「参加したことがない」が61.2%で最も多く、次いで「現在参加していないが、過去に参加したことがある」が19.2%、「現在、参加している」が14.8%となっています。

【(参考) 経年比較】

- 「現在、参加している」が前回調査より 3.1 ポイント、前々回調査より 13.6 ポイント低くなっています。
- 「参加したことがない」が前回調査より 4.8 ポイント、前々回調査より 24.5 ポイント高くなっています。

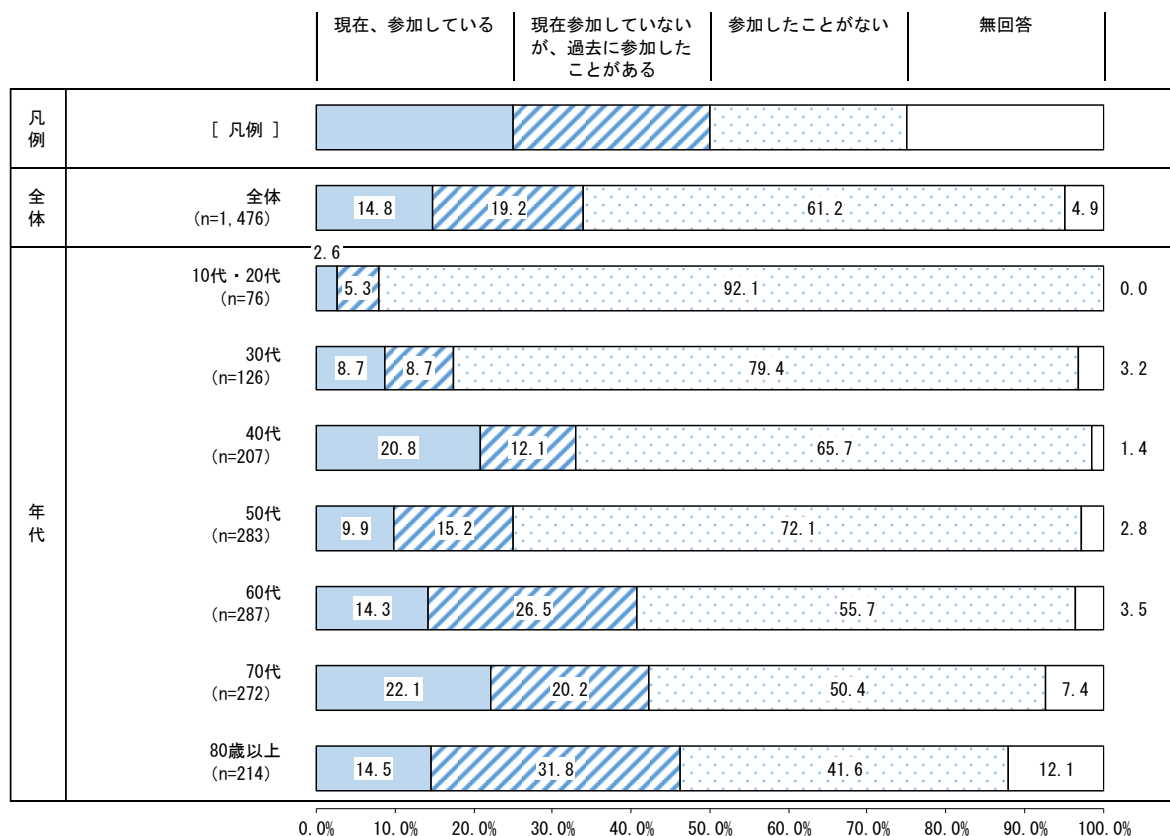
【地域福祉活動への参加状況（全体・経年比較）】



【年代】

- 「現在、参加している」は40代が20.8%、70代が22.1%と他の年代に比べて多くなっています。
- 「現在参加していないが、過去に参加したことがある」は60代が26.5%、80歳以上が31.8%と他の年代に比べて多くなっています。

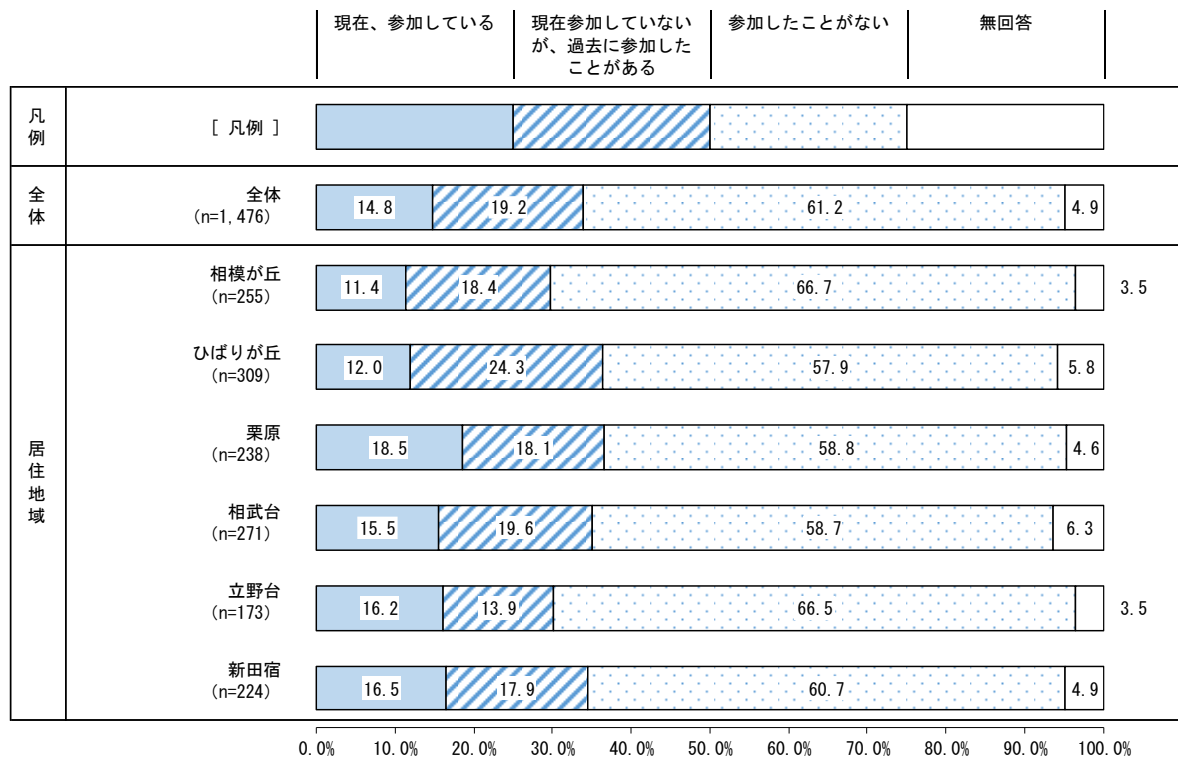
【地域福祉活動への参加状況（年代別）】



【居住地域】

○ 「現在、参加している」は栗原が18.5%、新田宿が16.5%、立野台が16.2%となっています。

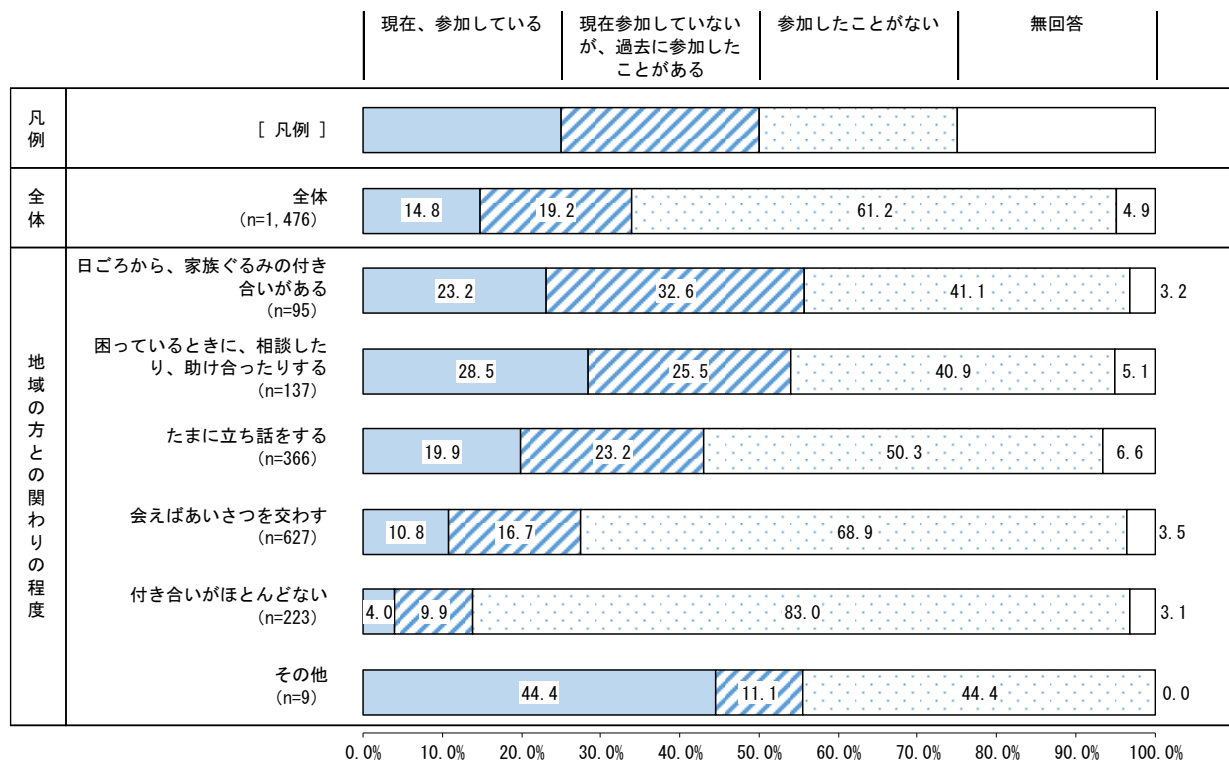
【地域福祉活動への参加状況（居住地域別）】



【地域の方との関わりの程度】

- 「現在、参加している」は、困っているときに、相談したり、助け合ったりするが28.5%、日ごろから、家族ぐるみの付き合いがあるが23.2%となっています。
- 「現在参加していないが、過去に参加したことがある」は、日ごろから、家族ぐるみの付き合いがあるが32.6%と他の区分に比べて多くなっています。

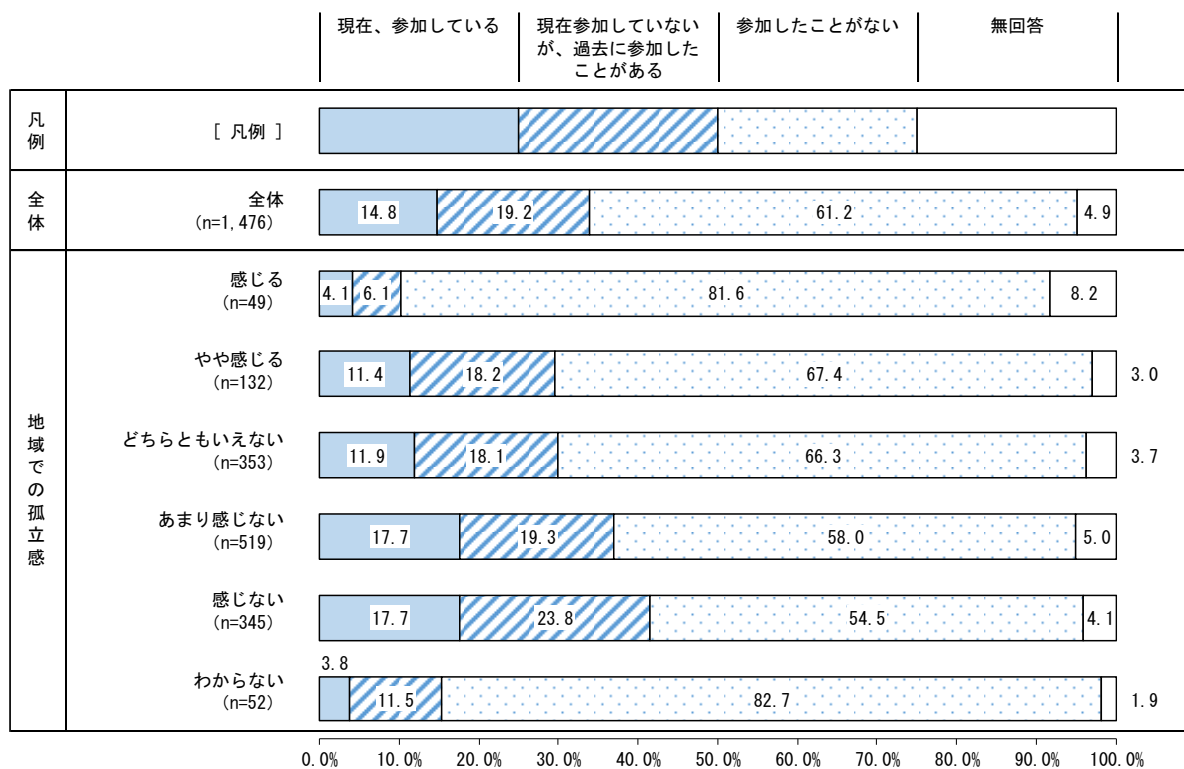
【地域福祉活動への参加状況（地域の方との関わりの程度別）】



【地域での孤立感】

- 孤立感を感じる方は「現在、参加している」が 4.1%、「参加したことがない」が 81.6%となっています。
- 一方、孤立感をあまり感じない方、感じない方は「現在、参加している」がいずれも 17.7%となっています。

【地域福祉活動への参加状況（地域での孤立感別）】

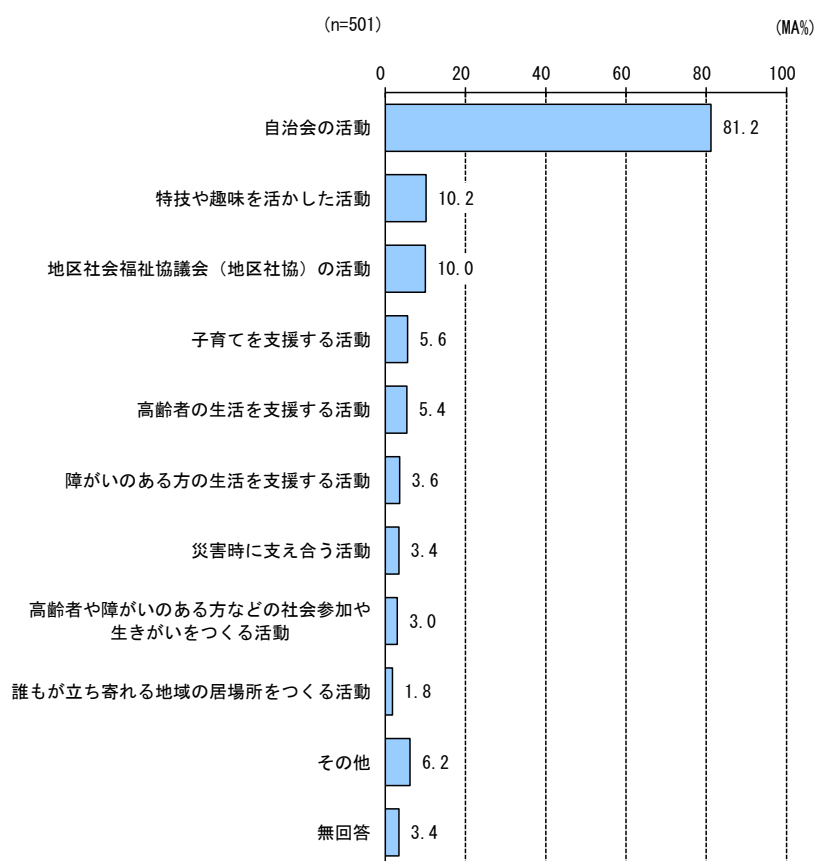


問22-（１）（地域福祉活動に「現在、参加している」「現在参加していないが、過去に参加したことがある」方）
 どんな活動に参加していますか。もしくは参加していましたか。
 （当てはまるもの全てに○）

【全体】

○ 「自治会の活動」が 81.2%で最も多く、次いで「特技や趣味を活かした活動」が 10.2%、「地区社会福祉協議会（地区社協）の活動」が 10.0%となっています。

【参加している活動】



【年代】

- 年代によらず、「自治会の活動」が最も多くなっています。
- 次いで多いのは、10代・20代では「特技や趣味を活かした活動」、30代では「高齢者や障がいのある方などの社会参加や生きがいをつくる活動」、40代、50代では「子育てを支援する活動」、60代、70代では「地区社会福祉協議会（地区社協）の活動」、80歳以上では特技や趣味を活かした活動」となっています。

【居住地域】

- 居住地域によらず、「自治会の活動」が最も多くなっています。
- 次いで多いのは、相模が丘、ひばりが丘、栗原では「特技や趣味を活かした活動」、相武台、立野台、新田宿では「地区社会福祉協議会（地区社協）の活動」となっています。

【参加している活動（年代別・居住地域別）】

単位：％

		問22-(1) どんな活動に参加していますか。もしくは参加していましたか。(MA)											
		母数 (n)	自治会 の活動	地区社会 福祉協 議会の 活動	高齢者 の生活 を支援 する活 動	障がい のある 方の活 動	高齢者 や障が いの方 の社会 参加や 生きが いをつ くる活 動	子育て を支援 する活 動	特技や 趣味を 活かした 活動	災害時 に支え 合う活 動	誰もが 立ち寄 れる地 域の活 動	その他	無回 答
全体		501	81.2	10.0	5.4	3.6	3.0	5.6	10.2	3.4	1.8	6.2	3.4
年代	10代・20代	6	▼ 66.7	-	-	-	-	-	△ 50.0	-	-	-	-
	30代	22	81.8	4.5	-	-	9.1	4.5	4.5	4.5	4.5	-	-
	40代	68	83.8	5.9	2.9	2.9	1.5	10.3	7.4	1.5	1.5	10.3	1.5
	50代	71	80.3	5.6	4.2	1.4	1.4	9.9	8.5	7.0	-	7.0	1.4
	60代	117	79.5	12.8	8.5	7.7	5.1	6.0	4.3	5.1	0.9	2.6	2.6
	70代	115	81.7	9.6	6.1	0.9	0.9	2.6	8.7	3.5	1.7	7.8	5.2
	80歳以上	99	82.8	15.2	5.1	5.1	4.0	3.0	△ 21.2	-	3.0	6.1	6.1
居住 地域	相模が丘	76	77.6	10.5	9.2	6.6	5.3	7.9	11.8	1.3	3.9	7.9	2.6
	ひばりが丘	112	79.5	7.1	1.8	2.7	5.4	3.6	10.7	2.7	0.9	8.0	5.4
	栗原	87	88.5	6.9	8.0	2.3	2.3	6.9	10.3	1.1	1.1	3.4	3.4
	相武台	95	78.9	10.5	3.2	3.2	1.1	4.2	6.3	3.2	2.1	6.3	2.1
	立野台	52	82.7	15.4	9.6	-	1.9	9.6	11.5	3.8	1.9	1.9	1.9
	新田宿	77	80.5	13.0	3.9	6.5	1.3	3.9	11.7	9.1	1.3	7.8	3.9

問22-（２） （地域福祉活動に「現在、参加している」「現在参加していないが、過去に参加したことがある」方）
活動の中で困ったこと、苦勞したことがありますか。
（当てはまるもの全てに○）

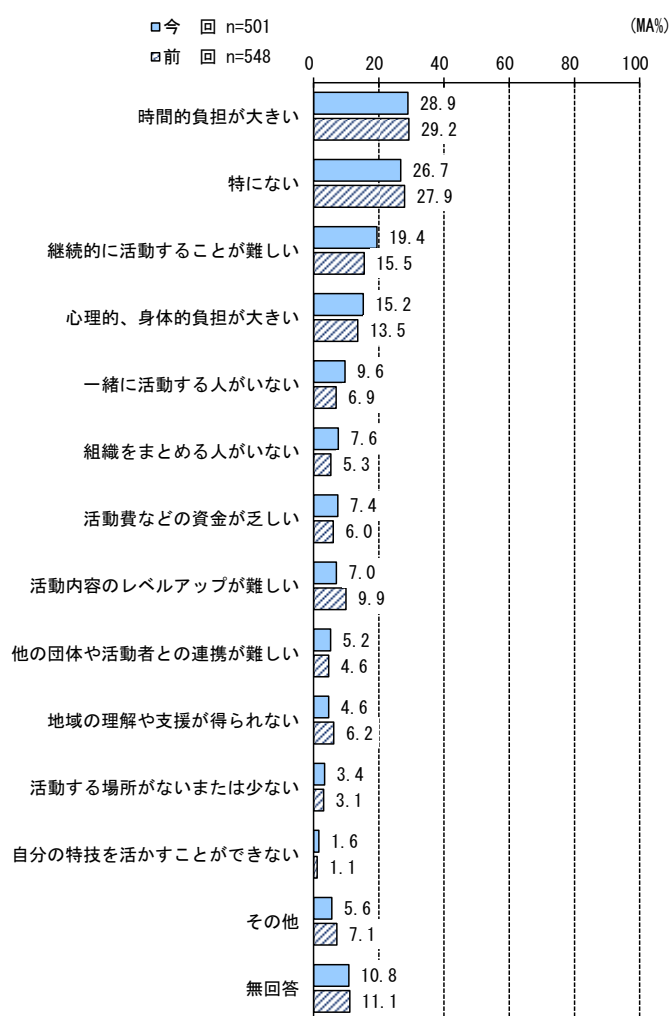
【全体】

- 「時間的負担が大きい」が 28.9%で最も多く、次いで「特にない」が 26.7%、「継続的に活動することが難しい」が 19.4%となっています。

【（参考）経年比較】

- 「継続的に活動することが難しい」は前回調査より 3.9 ポイント高くなっています。
○ 「一緒に活動する人がいない」は前回調査より 2.7 ポイント高くなっています。
○ 「活動内容のレベルアップが難しい」は前回調査より 2.9 ポイント低くなっています。

【活動で困ったこと、苦勞したこと（全体・経年比較）】



問22-（3）（地域福祉活動に「現在参加していないが、過去に参加したことがある」「参加したことがない」方）

現在活動に参加していない理由は何ですか。（当てはまるもの全てに○）

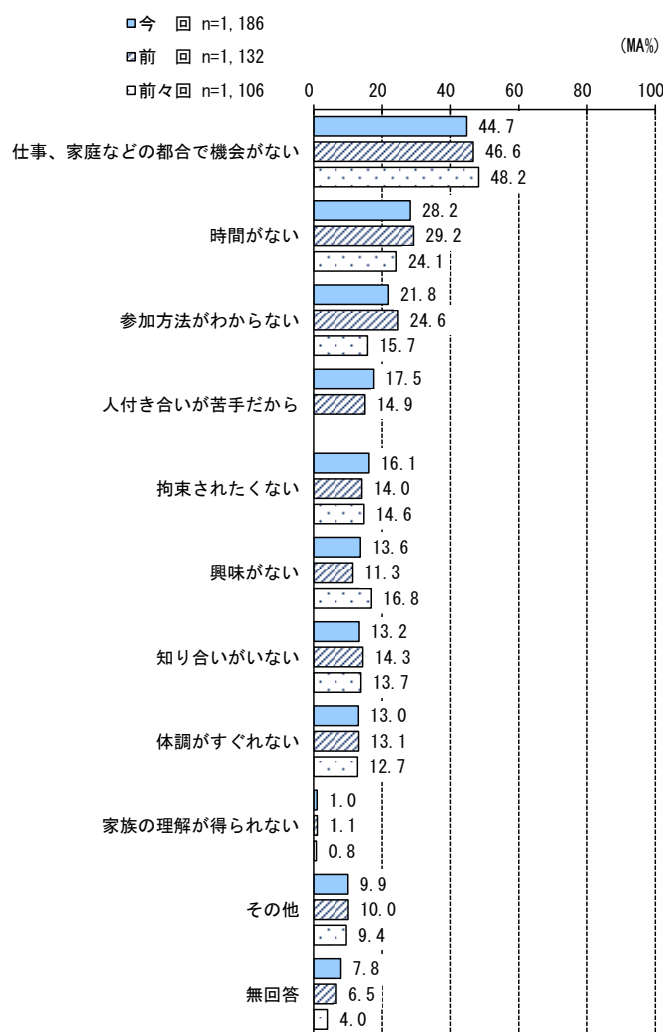
【全体】

- 「仕事、家庭などの都合で機会がない」が 44.7%で最も多く、次いで「時間がない」が 28.2%、「参加方法がわからない」が 21.8%となっています。

【(参考) 経年比較】

- 前回調査と上位の4項目の変化はありません。
○ 「参加方法がわからない」は前回調査より 2.8 ポイント低く、前々回調査より 6.1 ポイント高くなっています。

【現在活動に参加していない理由（全体・経年比較）】



※前々回調査では「人付き合いが苦手だから」はない。

【経済的状況・年代】※母数が10以上についてコメントしています。

- 経済的状況によらず、ほとんどの年代で「仕事、家庭などの都合で機会がない」が多くなっています。
- 「やや苦しい」10代・20代では「参加方法がわからない」「時間がない」「興味がない」が最も多くなっています。
- 「苦しい」20代では「時間がない」が最も多くなっています。
- 「苦しい」30代では「仕事、家庭などの都合で機会がない」「時間がない」が最も多くなっています。
- 「ややゆとりがある」80歳以上、「やや苦しい」70代、「苦しい」80歳以上ではいずれも「体調がすぐれない」が最も多くなっています。
- また、「やや苦しい」80歳以上では「仕事、家庭などの都合で機会がない」「体調がすぐれない」「人付き合いが苦手だから」が最も多くなっています。

【現在活動に参加していない理由（経済的状況・年代別）】

単位：％

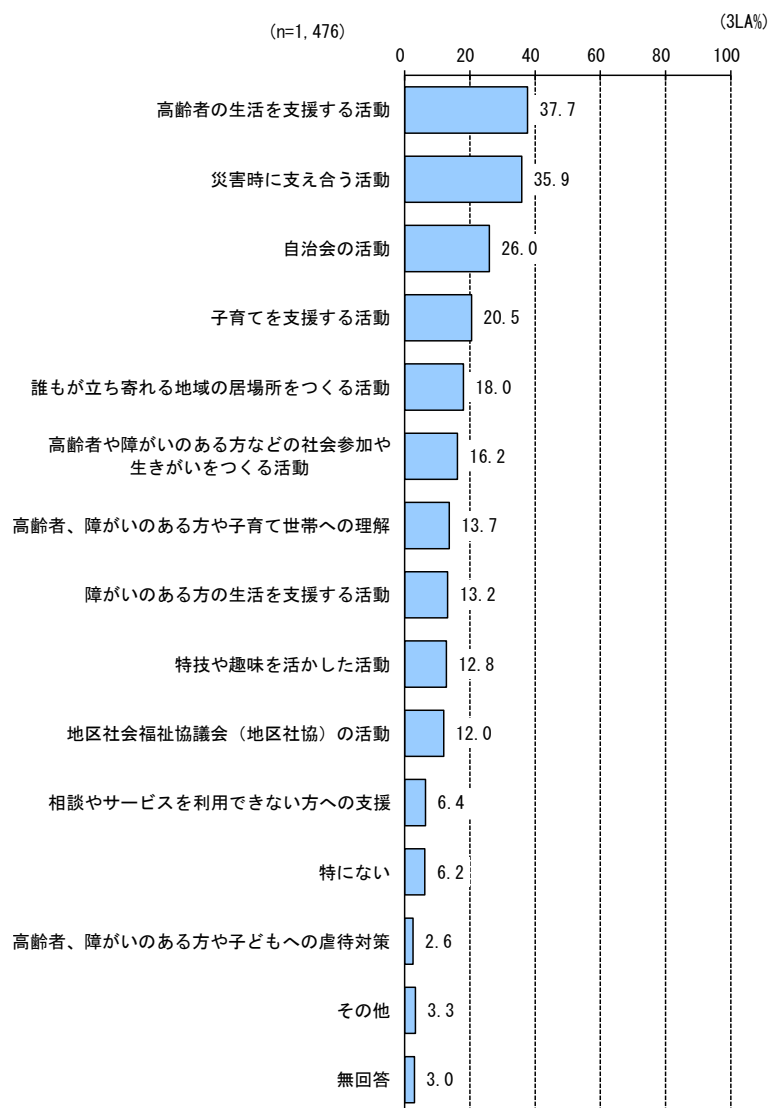
			母数 (n)	参加していない理由 (MA)											その他	無回答
				都合で、 機会がない	参加方法が わからない	時間がない	興味がない	家族の 理解がない	体調が すぐれない	知り合いが いない	拘束された くない	人付き合いが 苦手だから				
全 体			1,186	44.7	21.8	28.2	13.6	1.0	13.0	13.2	16.1	17.5	9.9	7.8		
経済的 状況×年代	ゆとりがある	10代	3	△66.7	—	△33.3	△33.3	—	—	—	—	—	—	—	—	
		20代	6	▼16.7	△50.0	△33.3	△33.3	—	—	—	—	—	16.7	—	—	
		30代	3	▼33.3	—	△66.7	△33.3	—	△33.3	—	△33.3	△33.3	—	—	—	
		40代	6	△66.7	—	△66.7	16.7	—	16.7	16.7	16.7	—	—	—	—	
		50代	14	△64.3	△42.9	▼7.1	7.1	—	—	14.3	21.4	14.3	14.3	—	—	
		60代	18	44.4	—	33.3	16.7	—	—	11.1	△27.8	16.7	16.7	11.1	—	—
		70代	9	▼11.1	22.2	22.2	—	—	△33.3	11.1	11.1	11.1	—	—	22.2	
		80歳以上	8	▼25.0	25.0	—	△25.0	—	—	—	12.5	—	—	—	50.0	
	やや ゆとりがある	10代	3	—	△33.3	33.3	△33.3	—	—	—	—	—	33.3	—	—	
		20代	24	41.7	20.8	29.2	20.8	—	—	—	8.3	25.0	4.2	4.2	—	
		30代	37	△64.9	△37.8	△56.8	13.5	5.4	▼2.7	8.1	18.9	13.5	5.4	—	—	
		40代	53	△54.7	△32.1	△49.1	20.8	—	3.8	20.8	△28.3	18.9	7.5	5.7	—	
		50代	74	△58.1	21.6	25.7	9.5	4.1	6.8	10.8	13.5	14.9	8.1	6.8	—	
		60代	83	50.6	25.3	24.1	7.2	1.2	15.7	16.9	24.1	14.5	7.2	9.6	—	
		70代	68	▼23.5	22.1	▼10.3	7.4	—	14.7	19.1	20.6	17.6	17.6	7.4	—	
		80歳以上	74	▼6.8	▼9.5	▼1.4	10.8	—	20.3	6.8	10.8	13.5	20.3	24.3	—	
	やや苦しい	10代	5	▼20.0	20.0	△60.0	△80.0	—	—	△40.0	20.0	△80.0	—	—	—	
		20代	19	36.8	△42.1	31.6	26.3	—	5.3	5.3	—	10.5	—	—	—	
		30代	45	△60.0	△40.0	△42.2	△31.1	—	8.9	22.2	17.8	26.7	4.4	—	—	
		40代	60	△56.7	26.7	△43.3	13.3	—	6.7	15.0	18.3	23.3	10.0	1.7	—	
		50代	88	△64.8	△31.8	△39.8	17.0	1.1	6.8	12.5	14.8	17.0	2.3	3.4	—	
		60代	74	52.7	20.3	28.4	9.5	1.4	10.8	18.9	13.5	14.9	12.2	6.8	—	
		70代	68	▼19.1	▼11.8	▼5.9	8.8	1.5	△30.9	13.2	10.3	14.7	11.8	14.7	—	
		80歳以上	48	▼18.8	▼8.3	▼8.3	6.3	—	18.8	8.3	10.4	18.8	18.8	22.9	—	
	苦しい	10代	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		20代	10	50.0	▼10.0	△60.0	△30.0	—	—	20.0	20.0	20.0	—	—	—	
		30代	20	△60.0	30.0	△60.0	10.0	—	10.0	15.0	15.0	20.0	—	—	—	
		40代	29	△65.5	24.1	△41.4	13.8	3.4	13.8	10.3	10.3	13.8	3.4	—	—	
		50代	49	△61.2	18.4	36.7	22.4	2.0	22.4	16.3	20.4	14.3	6.1	—	—	
		60代	42	△57.1	21.4	△40.5	11.9	—	14.3	16.7	21.4	23.8	9.5	7.1	—	
		70代	32	37.5	21.9	▼12.5	6.3	—	△31.3	15.6	18.8	△28.1	9.4	—	—	
		80歳以上	18	▼5.6	—	▼5.6	5.6	—	△33.3	—	16.7	5.6	16.7	27.8	—	
	わからない	10代	1	—	△100.0	△100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		20代	3	▼33.3	△33.3	△66.7	△100.0	—	—	—	△33.3	△66.7	—	—	—	
		30代	5	△60.0	20.0	△60.0	20.0	—	—	△40.0	20.0	—	—	20.0	—	
		40代	13	△61.5	▼7.7	23.1	—	—	7.7	—	15.4	15.4	15.4	—	—	
		50代	22	54.5	▼9.1	36.4	18.2	—	9.1	9.1	13.6	13.6	9.1	4.5	—	
		60代	19	47.4	26.3	31.6	10.5	—	5.3	10.5	10.5	△31.6	10.5	5.3	—	
		70代	14	▼28.6	▼7.1	▼14.3	—	7.1	21.4	7.1	7.1	14.3	28.6	14.3	—	
		80歳以上	8	—	—	—	12.5	—	△37.5	12.5	—	25.0	25.0	—	—	

問23 あなたが、住民同士が見守り、助け合い、支え合う活動の中で、必要だと思うものは何ですか。（○は3つまで）

【全体】

○ 「高齢者の生活を支援する活動」が 37.7%で最も多く、次いで「災害時に支え合う活動」が 35.9%、「自治会の活動」が 26.0%となっています。

【地域福祉活動に必要なもの】



【年代】

- 10代・20代では、「災害時に支え合う活動」が47.4%で最も多く、次いで「子育てを支援する活動」が40.8%、「高齢者や障がいのある方などの社会参加や生きがいをつくる活動」が21.1%となっています。
- 30代では、「子育てを支援する活動」が50.8%で最も多く、次いで「災害時に支え合う活動」が35.7%、「高齢者の生活を支援する活動」が21.4%となっています。
- 40代では、「災害時に支え合う活動」が40.6%で最も多く、次いで「子育てを支援する活動」が37.2%、「高齢者の生活を支援する活動」が31.9%となっています。
- 50代では、「高齢者の生活を支援する活動」が42.4%で最も多く、次いで「災害時に支え合う活動」が36.7%、「自治会の活動」が21.6%となっています。
- 60代では、「高齢者の生活を支援する活動」が45.6%で最も多く、次いで「災害時に支え合う活動」が40.8%、「自治会の活動」が23.7%となっています。
- 70代では、「高齢者の生活を支援する活動」が40.8%で最も多く、次いで「災害時に支え合う活動」が33.5%、「自治会の活動」が29.8%となっています。
- 80歳以上では、「自治会の活動」が39.7%で最も多く、次いで「高齢者の生活を支援する活動」が36.9%、「災害時に支え合う活動」が23.4%となっています。

【居住地域】

- 居住地域によらず、「高齢者の生活を支援する活動」「災害時に支え合う活動」が上位となっています。
- 「高齢者の生活を支援する活動」は相模が丘が41.6%、相武台が41.3%と他の地域に比べて多くなっています。
- 「自治会の活動」は栗原が30.7%と他の地域に比べて多くなっています。
- 「子育てを支援する活動」は栗原が27.3%と他の地域に比べて多くなっています。
- 「誰もが立ち寄れる地域の居場所をつくる活動」は栗原が23.5%と他の地域に比べて多くなっています。

【地域福祉活動に必要なもの（年代別・居住地域別）】

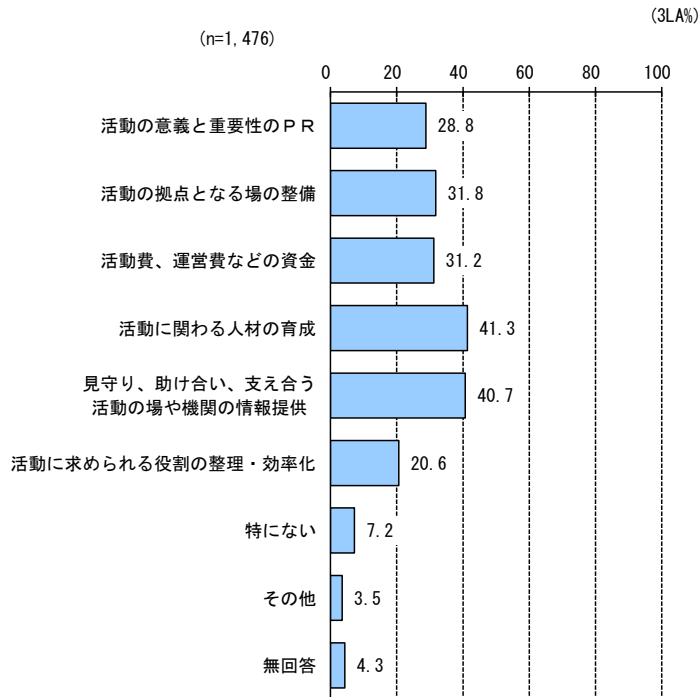
単位：％

		母数 (n)	問23 あなたが、住民同士が見守り、助け合い、支え合う活動の中で、必要だと思うものは何ですか。(3LA)														
			自治会の活動	地区社会福祉協議会（地区社協）の活動	高齢者の生活を支援する活動	障がいのある方の生活を支援する活動	高齢者や障がいのある方などの社会参加や生きがいをつくる活動	子育てを支援する活動	特技や趣味を活かした活動	災害時に支え合う活動	相談やサービスを利用できない方への支援	誰もが立ち寄れる地域の居場所をつくる活動	子育て世代への理解	高齢者、障がいのある方や子どもへの虐待対策	特にない	その他	無回答
全体		1,476	26.0	12.0	37.7	13.2	16.2	20.5	12.8	35.9	6.4	18.0	13.7	2.6	6.2	3.3	3.0
年代	10代・20代	76	19.7	9.2	▼ 19.7	10.5	21.1	△ 40.8	10.5	△ 47.4	9.2	17.1	17.1	7.9	7.9	1.3	—
	30代	126	19.8	5.6	▼ 21.4	13.5	11.1	△ 50.8	11.1	35.7	8.7	19.0	19.8	4.0	5.6	2.4	1.6
	40代	207	22.2	5.8	31.9	15.9	12.6	△ 37.2	15.5	40.6	12.1	14.5	16.4	3.4	6.8	1.9	1.4
	50代	283	21.6	11.0	42.4	20.5	18.0	20.5	15.2	36.7	6.4	14.1	14.8	3.5	3.9	4.6	0.7
	60代	287	23.7	14.3	45.6	12.5	20.2	15.7	12.2	40.8	4.9	19.2	11.1	2.1	4.5	3.8	1.0
	70代	272	29.8	17.6	40.8	10.7	17.6	▼ 8.5	11.0	33.5	2.9	22.1	13.2	1.8	7.0	2.6	4.0
	80歳以上	214	△ 39.7	13.6	36.9	5.6	11.7	▼ 2.3	12.1	▼ 23.4	5.1	19.2	8.4	—	10.3	3.3	10.7
居住地域	相模が丘	255	22.0	11.8	41.6	18.0	18.8	19.2	11.4	32.2	7.8	16.5	16.9	3.1	6.3	1.2	3.5
	ひばりが丘	309	27.2	10.7	36.9	12.9	15.2	21.0	11.3	38.2	6.8	19.1	12.9	3.6	4.9	2.6	2.9
	栗原	238	30.7	11.3	33.6	10.1	14.7	27.3	14.7	31.5	4.6	23.5	13.0	2.1	6.3	5.0	1.7
	相武台	271	23.6	14.4	41.3	15.1	18.5	20.3	12.2	40.2	4.4	12.5	13.7	1.8	5.5	4.4	3.0
	立野台	173	26.0	13.3	37.0	11.0	15.0	20.2	13.3	33.5	5.8	17.3	12.7	2.9	6.9	4.0	3.5
	新田宿	224	27.2	10.7	34.8	10.7	14.3	15.2	14.7	38.4	8.9	19.2	12.1	2.2	8.5	1.8	3.6

問24 あなたは住民同士が見守り、助け合い、支え合う活動を活発にするためには、地域に何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【全体】
○ 「活動に関わる人材の育成」が41.3%で最も多く、次いで「見守り、助け合い、支え合う活動の場や機関の情報提供」が40.7%、「活動の拠点となる場の整備」が31.8%となっています。

【地域福祉活動を活発にするために必要なこと】



【暮らしやすさ】
○ あまり暮らしやすいと思わない、暮らしやすいと思わないについて、「見守り、助け合い、支え合う活動の場や機関の情報提供」がそれぞれ46.8%、36.5%と最も多くなっています。

【地域福祉活動を活発にするために必要なこと（暮らしやすさ別）】

単位：％

		母数 (n)	問24 あなたは住民同士が見守り、助け合い、支え合う活動を活発にするためには、地域に何が 必要だと思いますか。(3LA)								
			活動 の意 義と 重要 性の PR	活動 の拠 点と なる 場の 整備	活動 費、 運 営費 など の資 金	活動 に関 わる 人材 の育 成	見 守り、 助 け合 い、 支 え合 う 活動 の場 や機 関の 情報 提供	理 ・効 率 化 活動 に求 めら れる 役割 の整	特 に な い	そ の 他	無 回 答
全体		1,476	28.8	31.8	31.2	41.3	40.7	20.6	7.2	3.5	4.3
暮らしやすさ 本市の	暮らしやすいと思う	74	36.5	25.7	32.4	33.8	31.1	27.0	9.5	1.4	8.1
	まあまあ暮らしやすいと思う	448	31.3	29.7	31.9	46.0	43.1	25.0	4.0	1.6	3.1
	あまり暮らしやすいとは思わない	267	28.8	37.8	37.5	41.9	46.8	19.5	4.9	4.5	2.6
	暮らしやすいとは思わない	126	▼ 15.9	32.5	31.7	34.1	36.5	18.3	11.9	6.3	4.8
	わからない	531	29.4	31.8	28.2	40.7	38.8	17.9	9.4	4.3	3.6

問25 今後、あなたは地域福祉活動をしたいと思いますか。 （1つだけ○）

【全体】

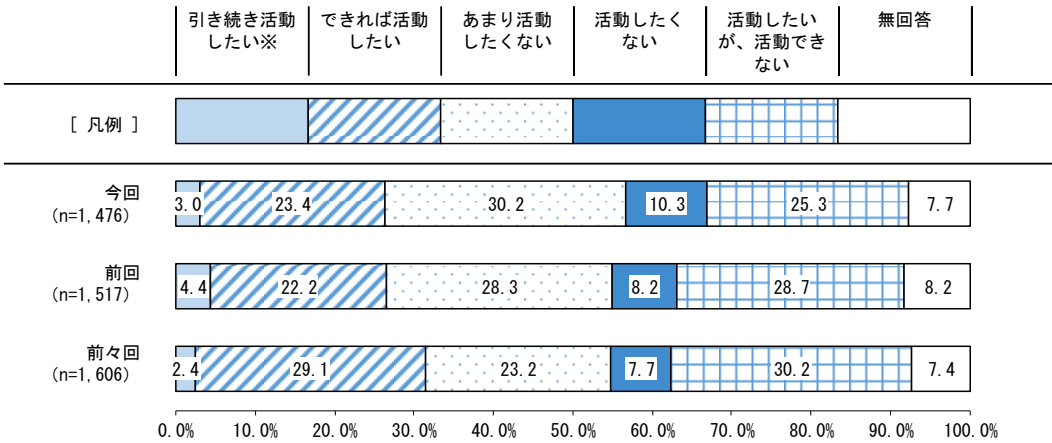
○ 「あまり活動したくない」が 30.2%で最も多く、次いで「活動したいが、活動できない」が 25.3%、「できれば活動したい」が 23.4%となっています。「引き続き活動したい」「できれば活動したい」を合わせた“地域福祉活動をしたい方”は 26.4%となっています。「あまり活動したくない」「活動したくない」「活動したいが、活動できない」を合わせた“地域福祉活動をしたくない・できない方”は 65.8%となっています。

【(参考) 経年比較】

○ 「引き続き活動したい」「できれば活動したい」を合わせた“地域福祉活動をしたい方”は前回調査より 0.2 ポイント、前々回調査より 5.1 ポイント低くなっています。

○ 「あまり活動したくない」「活動したくない」「活動したいが、活動できない」を合わせた“地域福祉活動をしたくない・できない方”は前回調査より 0.6 ポイント、前々回調査より 4.7 ポイント高くなっています。

【地域福祉の活動意向（全体・経年比較）】

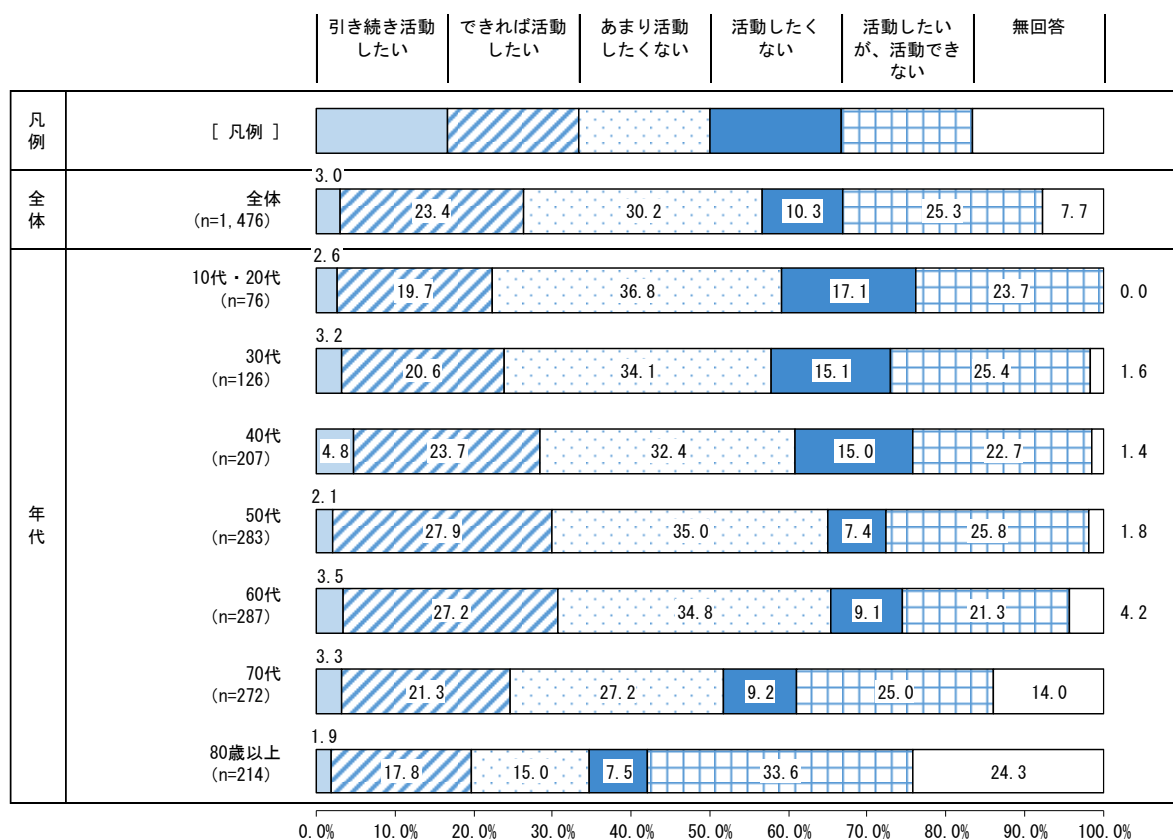


※前々回調査は「大いに活動したい」

【年代】

- 70代までは、「あまり活動したくない」が最も多く、80歳以上では、「活動したいが、活動できない」が最も多くなっています。
- 「引き続き活動したい」は40代が4.8%と他の年代に比べて多くなっています。
- 「できれば活動したい」は50代が27.9%、60代が27.2%と他の年代に比べて多くなっています。
- 「引き続き活動したい」「できれば活動したい」を合わせた“地域福祉活動をしたい方”は40代が28.5%、50代が30.0%、60代が30.7%と他の年代に比べて多くなっています。

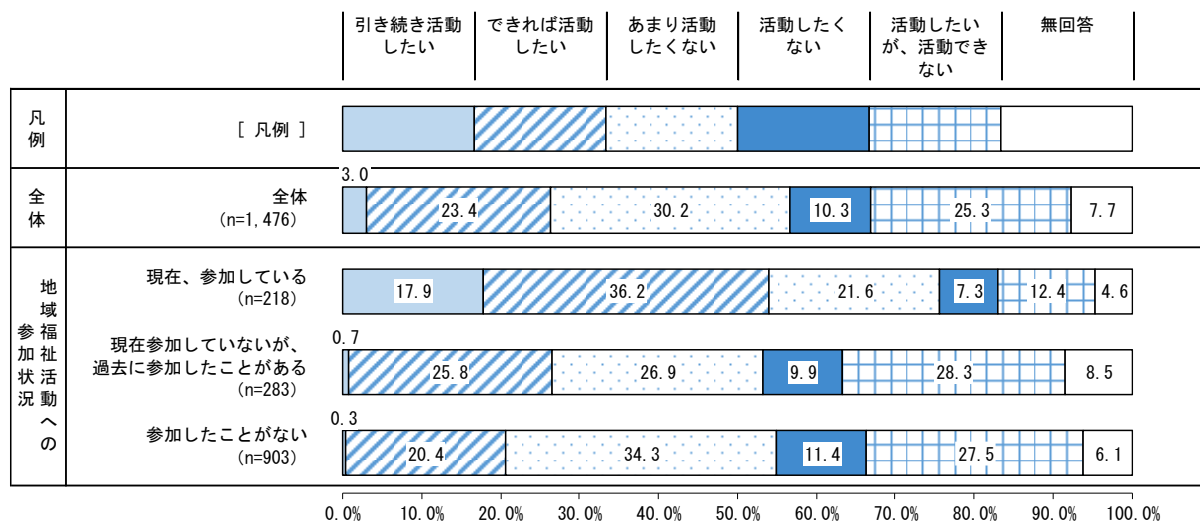
【地域福祉の活動意向（年代別）】



【地域福祉活動への参加状況】

- 現在、参加している方では、「引き続き活動したい」が 17.9%「できれば活動したい」が 36.2%、「あまり活動したくない」が 21.6%、「活動したくない」が 7.3%となっています。
- 現在参加していないが、過去に参加したことがある方で、「引き続き活動したい」「できれば活動したい」を合わせた“地域福祉活動をしたい方”は 26.5%となっています。
- 参加したことがない方で、「引き続き活動したい」「できれば活動したい」を合わせた“地域福祉活動をしたい方”は 20.7%となっています。

【地域福祉の活動意向（地域福祉活動への参加状況別）】

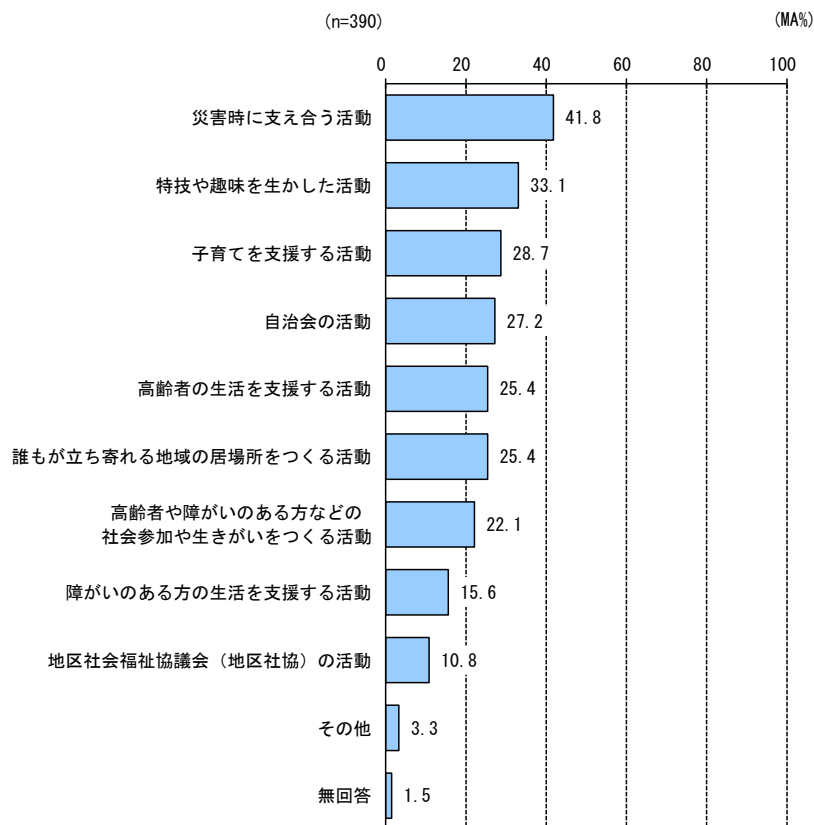


問25-（１） （地域福祉活動を「引き続き活動したい」「できれば活動したい」方）
 どんな内容の活動をしたいですか。（当てはまるもの全てに○）

【全体】

○ 「災害時に支え合う活動」が 41.8%で最も多く、次いで「特技や趣味を生かした活動」が 33.1%、「子育てを支援する活動」が 28.7%となっています。

【活動したい内容】



【年代】

- 40代までは「子育てを支援する活動」が最も多く、50代以上は「災害時に支え合う活動」が最も多くなっています。
- 「自治会の活動」は80歳以上が38.1%と他の年代に比べて多くなっています。
- 「高齢者や障がいのある方などの社会参加や生きがいをつくる活動」は80歳以上が33.3%と他の年代に比べて多く、10代・20代が5.9%と他の年代に比べて少なくなっています。
- 「特技や趣味を活かした活動」は30代が50.0%と他の年代に比べて多くなっています。
- 「災害時に支え合う活動」は10代・20代が29.4%と他の年代に比べて少なくなっています。
- 「誰もが立ち寄れる地域の居場所をつくる活動」は30代が36.7%、50代が30.6%、80歳以上が38.1%と他の年代に比べて多くなっています。

【居住地域】

- 居住地域によらず、「災害時に支え合う活動」が最も多くなっており、特に新田宿では59.3%と他の地域に比べて多くなっています。
- 「自治会の活動」は立野台が38.5%と他の地域に比べて多くなっています。
- 「高齢者や障がいのある方などの社会参加や生きがいをつくる活動」は相模が丘が30.0%、立野台が33.3%と他の地域に比べて多くなっています。
- 「子育てを支援する活動」は相武台が38.3%と他の地域に比べて多くなっています。
- 「特技や趣味を生かした活動」は立野台が38.5%と他の地域に比べて多くなっています。

【活動したい内容（年代別・居住地域別）】

単位：%

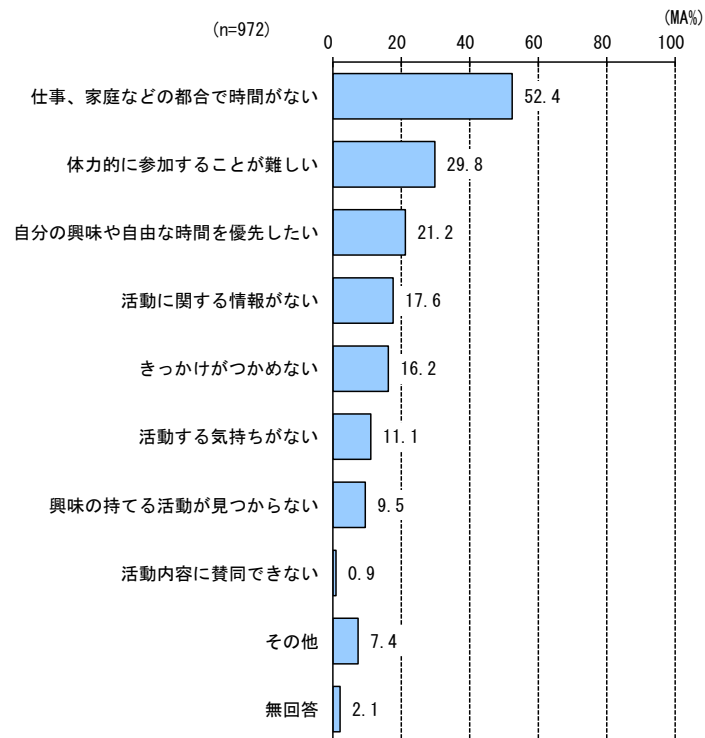
		母数 (n)	問25-(1) どんな内容の活動をしたいですか。(MA)										
			自治会の活動	地区社会福祉協議会 (地区社協)の活動	高齢者の生活を 支援する活動	障がいのある方の生活を 支援する活動	など的高齢者や障がいのある方が をつくる社会参加や生きがい の活動	子育てを支援する活動	特技や趣味を生かした活動	災害時に支え合う活動	誰もが立ち寄れる地域の 居場所をつくる活動	その他	無回答
全体		390	27.2	10.8	25.4	15.6	22.1	28.7	33.1	41.8	25.4	3.3	1.5
年代	10代・20代	17	17.6	-	17.6	17.6	▼ 5.9	△ 52.9	41.2	▼ 29.4	23.5	-	-
	30代	30	23.3	6.7	20.0	10.0	13.3	△ 53.3	△ 50.0	33.3	△ 36.7	-	-
	40代	59	27.1	6.8	22.0	13.6	20.3	△ 49.2	35.6	39.0	16.9	3.4	-
	50代	85	21.2	17.6	31.8	23.5	24.7	30.6	34.1	43.5	30.6	2.4	2.4
	60代	88	28.4	8.0	27.3	18.2	25.0	19.3	34.1	47.7	18.2	1.1	2.3
	70代	67	31.3	11.9	22.4	10.4	17.9	▼ 14.9	▼ 19.4	38.8	23.9	11.9	1.5
	80歳以上	42	△ 38.1	11.9	23.8	9.5	△ 33.3	▼ 11.9	33.3	42.9	△ 38.1	-	2.4
	相模が丘	70	24.3	14.3	32.9	20.0	30.0	27.1	32.9	35.7	27.1	1.4	1.4
居住地域	ひばりが丘	77	22.1	9.1	22.1	16.9	19.5	22.1	29.9	32.5	26.0	2.6	3.9
	栗原	63	30.2	6.3	22.2	14.3	14.3	30.2	34.9	41.3	19.0	4.8	1.6
	相武台	81	29.6	13.6	24.7	17.3	18.5	38.3	34.6	39.5	27.2	2.5	1.2
	立野台	39	△ 38.5	10.3	23.1	10.3	△ 33.3	25.6	38.5	48.7	30.8	7.7	-
	新田宿	59	23.7	10.2	27.1	11.9	22.0	27.1	30.5	△ 59.3	23.7	3.4	-

問25-（2） （地域福祉活動を「あまり活動したくない」「活動したくない」「活動したいが、活動できない」方）
その理由は何ですか。（当てはまるもの全てに○）

【全体】

○ 「仕事、家庭などの都合で時間がない」が52.4%で最も多く、次いで「体力的に参加することが難しい」が29.8%、「自分の興味や自由な時間を優先したい」が21.2%となっています。

【活動したくない・できない理由】



【現在又は過去に地域福祉活動をしている方】

- 現在、参加しているが、今後あまり活動したくない理由は「仕事、家庭などの都合で時間がない」が 53.2%で最も多く、次いで「自分の興味や自由な時間を優先したい」が 23.4%となっています。
- 過去に参加したことがあるが、今後あまり活動したくない理由は「仕事、家庭などの都合で時間がない」が 48.7%で最も多く、次いで「体力的に参加することが難しい」が 32.9%となっています。
- 現在、参加しているが、今後活動したくない理由は「仕事、家庭などの都合で時間がない」が 62.5%で最も多く、次いで「活動する気持ちがない」が 37.5%となっています。
- 過去に参加したことがあるが、今後活動したくない理由は「仕事、家庭などの都合で時間がない」「体力的に参加することが難しい」がいずれも 35.7%で最も多く、次いで「自分の興味や自由な時間を優先したい」が 32.1%となっています。

【活動したくない・できない理由（現在又は過去に活動している方）】

単位：％

			母数 (n)	地域福祉活動をしたくない理由 (MA)										無回答
				都合で、時間がない	仕事、家庭などの つかめかけがない	活動に関する 情報がない	興味の持て てからない	賛同でき ない	活動内容を 優先したい	自分の興 味や自由な 時間を	体力的に 参加する ことが	活動する 気持ち がない	その他	
全 体				972	52.4	16.2	17.6	9.5	0.9	21.2	29.8	11.1	7.4	2.1
現在の地域福祉活動参加状況 × 今後の地域福祉活動の意向	あまり活動 したくない	現在、参加している	47	53.2	12.8	12.8	8.5	2.1	23.4	27.7	8.5	8.5	2.1	
		現在参加していないが、 過去に参加したことがある	76	48.7	13.2	21.1	14.5	1.3	25.0	32.9	6.6	5.3	1.3	
		参加したことがない	310	55.5	22.6	24.8	15.2	0.6	29.4	20.3	9.0	3.2	1.0	
	活動したく ない	現在、参加している	16	△62.5	6.3	—	6.3	△12.5	▼6.3	▼6.3	△37.5	6.3	—	
		現在参加していないが、 過去に参加したことがある	28	▼35.7	▼3.6	▼3.6	7.1	—	△32.1	35.7	△21.4	10.7	—	
		参加したことがない	103	42.7	6.8	12.6	13.6	2.9	△42.7	23.3	△49.5	4.9	3.9	
	活動したいが、 活動できない	現在、参加している	27	▼25.9	22.2	11.1	—	—	—	△66.7	—	11.1	3.7	
		現在参加していないが、 過去に参加したことがある	80	▼40.0	▼3.8	▼3.8	6.3	—	▼2.5	△47.5	2.5	20.0	3.8	
		参加したことがない	248	△63.3	19.8	19.0	3.2	—	▼10.9	32.7	1.6	8.5	2.4	

5. 防災との関わりについて

問26 あなたはお住まいの地域の防災訓練に参加したことはありますか。（１つだけ○）

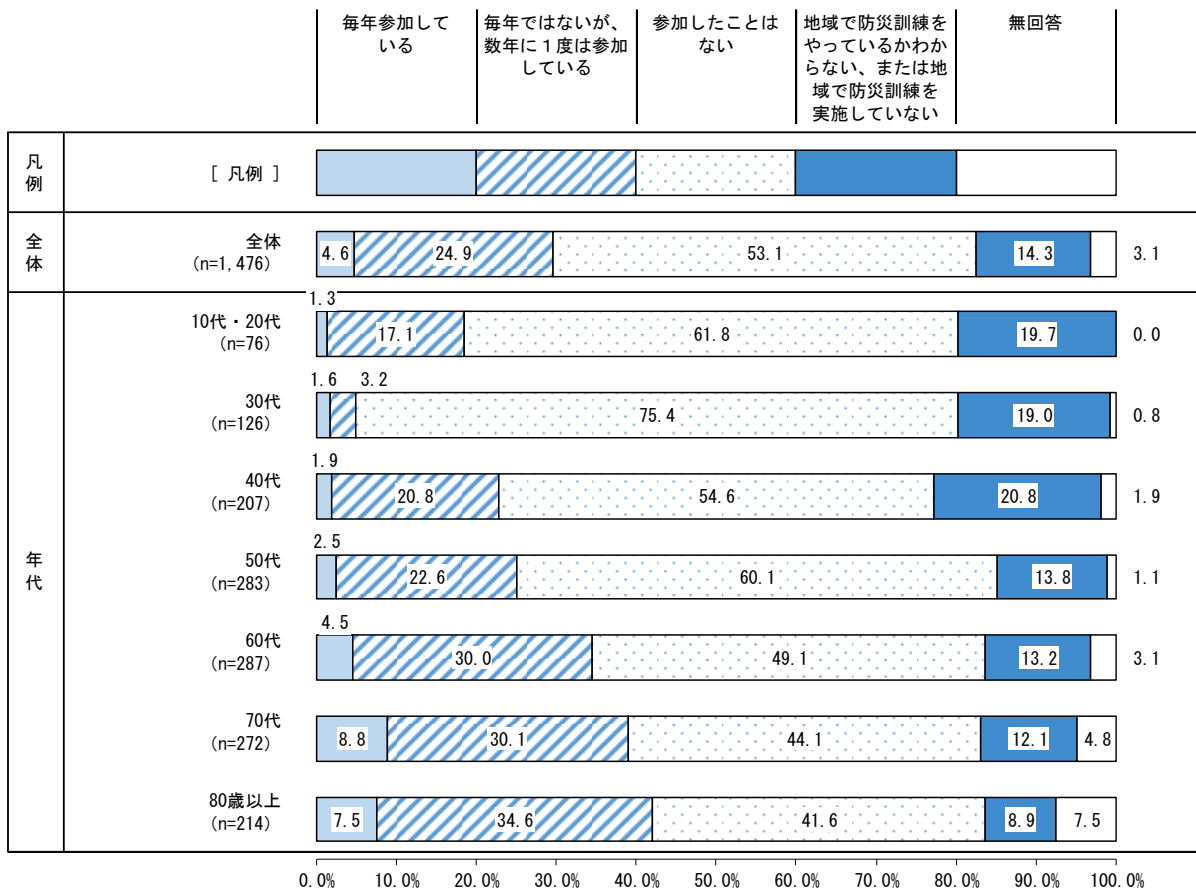
【全体】

- 「参加したことはない」が53.1%で最も多く、次いで「毎年ではないが、数年に1度は参加している」が24.9%、「地域で防災訓練をやっているかわからない、または地域で防災訓練を実施していない」が14.3%となっています。

【年代】

- 「毎年参加している」はおおむね年齢が高いほど多くなっていますが、70代、80歳以上でも1割に満たない状況です。
- 「毎年ではないが、数年に1度は参加している」は40代、50代が20%台、60代以上が30%台となっています。
- 30代では、「参加したことはない」が75.4%で最も多く「毎年ではないが、数年に1度は参加している」が3.2%となっています。
- また、40代までは「地域で防災訓練をやっているかわからない、または地域で防災訓練を実施していない」が約2割となっています。

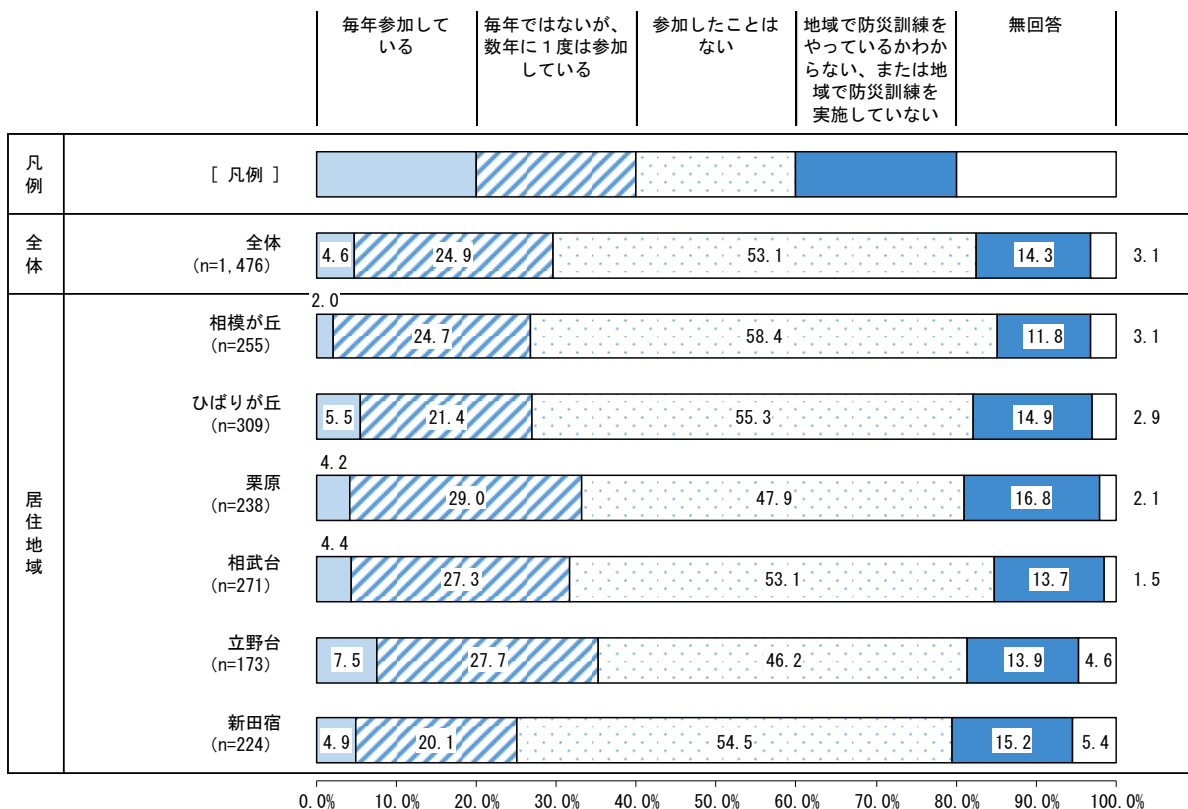
【防災訓練の参加状況（年代別）】



【居住地域】

- 居住地域によらず、「参加したことはない」が最も多く、次いで「毎年ではないが、数年に1度は参加している」となっています。
- 「毎年参加している」は相模が丘が2.0%と他の地域に比べて少なくなっています。
- 「参加したことはない」は栗原が47.9%、立野台が46.2%と他の地域に比べて少なくなっています。

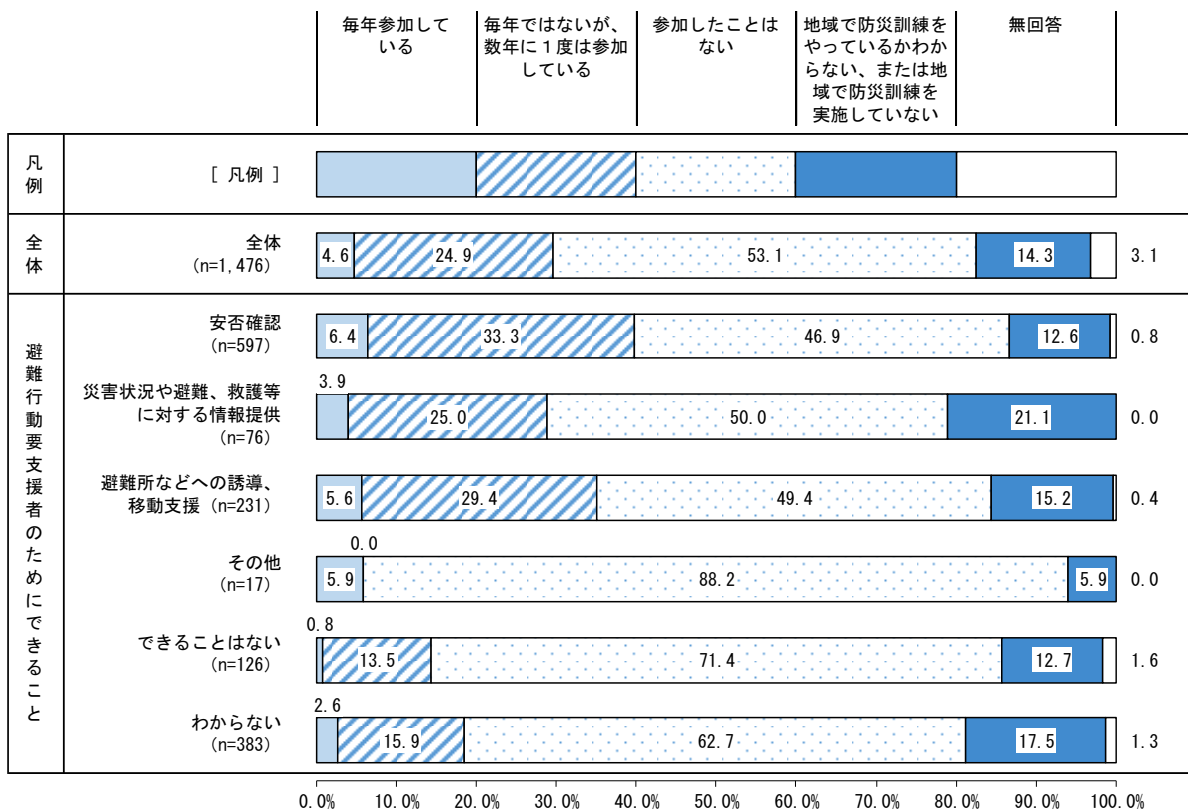
【防災訓練の参加状況（居住地域別）】



【避難行動要支援者にできること】

- 防災訓練に「毎年参加している」方は、避難行動要支援者にできることはないが0.8%、「毎年ではないが、数年に1度は参加している」は13.5%と参加したことがない方に比べて少なくなっています。
- 一方、防災訓練に「参加したことはない」方は、避難行動要支援者にできることはないが71.4%となっています。
- 防災訓練に「毎年参加している」「毎年ではないが、数年に1度は参加している」方で、避難行動要支援者に安否確認ができるのは39.7%、災害状況や避難、救護等に対する情報提供ができるのは28.9%、避難所などへの誘導、移動支援ができるのは35.0%となっています。

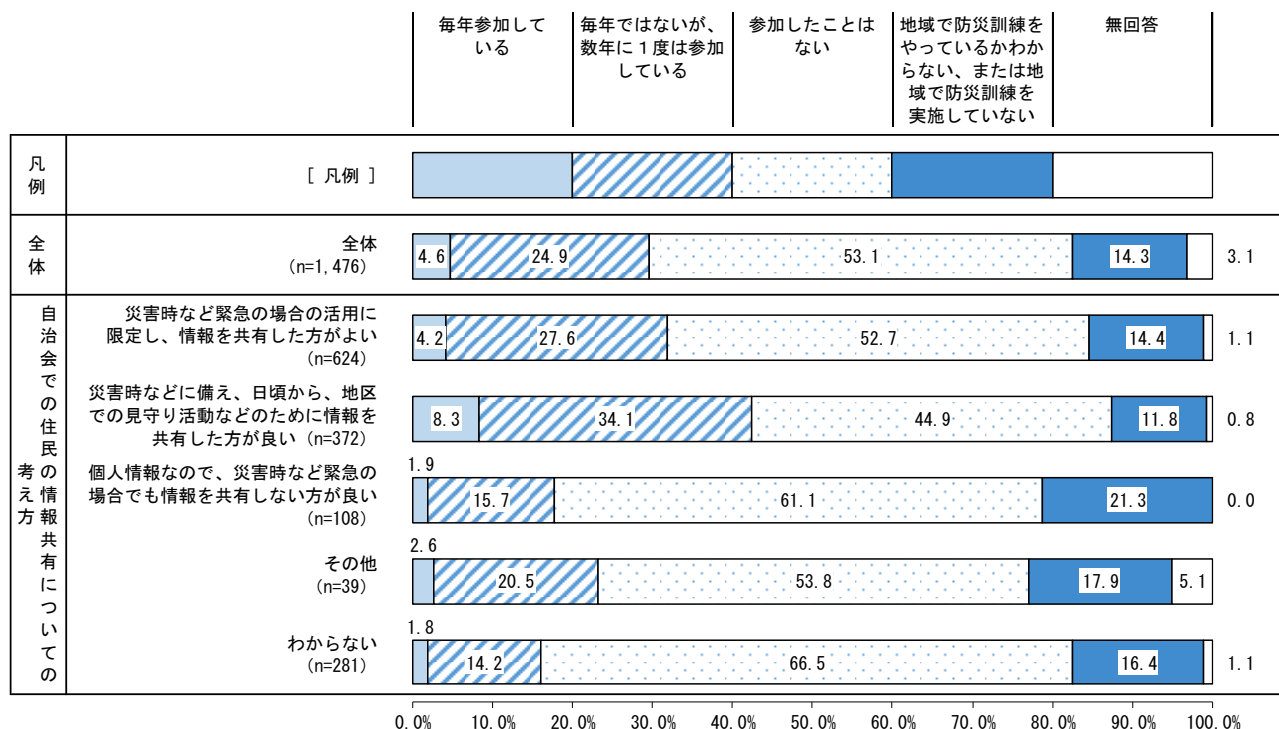
【防災訓練の参加状況（避難行動要支援者にできること別）】



【自治会での住民の情報共有についての考え方】

- 防災訓練に「毎年参加している」「毎年ではないが、数年に1度は参加している」方は、災害時などに備え、日頃から、地区での見守り活動などのために情報を共有した方が良いが他の区分に比べて多くなっています。
- 「地域で防災訓練をやっているかわからない、または地域で防災訓練を実施していない」は個人情報なので、災害時など緊急の場合でも情報を共有しない方が良いが21.3%となっています。

【防災訓練の参加状況（自治会での住民の情報共有についての考え方別）】



問27 発災時に、あなたは避難行動要支援者に対して、特に何ができると思いますか。
 (1つだけ○)

- 【全体】

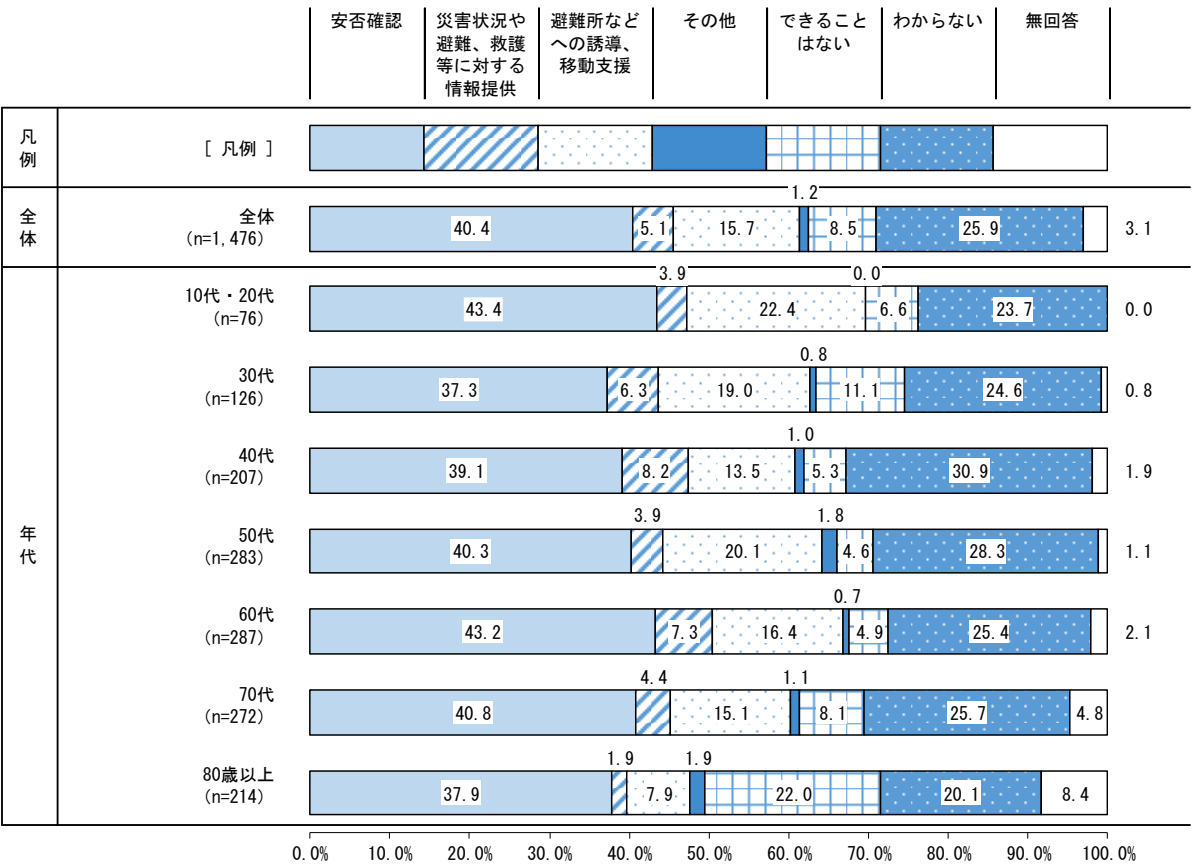
○ 「安否確認」が40.4%で最も多く、次いで「わからない」が25.9%、「避難所などへの誘導、移動支援」が15.7%となっています。
- 【年代】

○ 年代によらず、「安否確認」が最も多くなっています。

○ 10代・20代、30代、50代では「避難所などへの誘導、移動支援」が約2割となっています。

○ 80歳以上では、「できることはない」が22.0%となっています。

【避難行動要支援者にできること（年代別）】



問28 災害時に備えるなどの理由で、地区にお住まいの方の情報を必要に応じて自治会などで共有することについてどう感じますか。（1つだけ○）

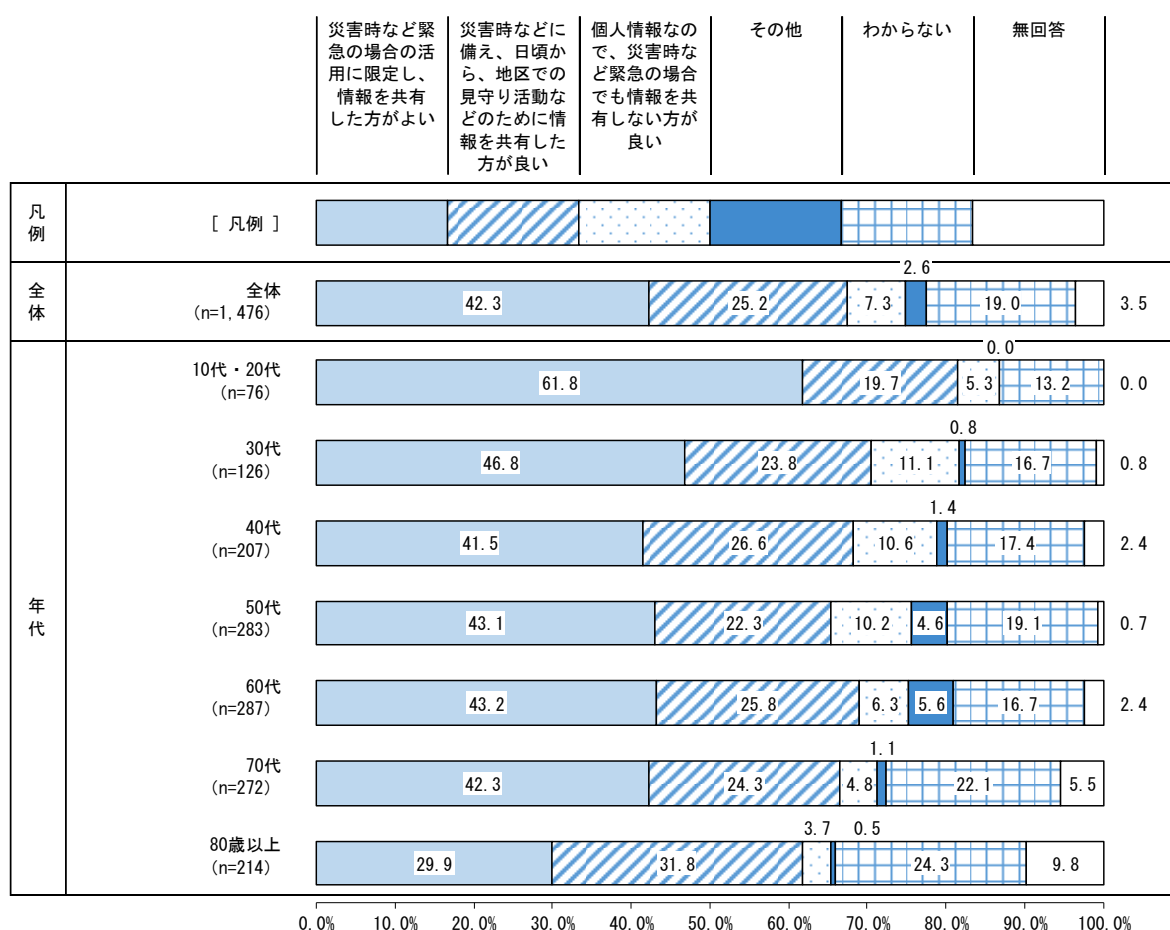
【全体】

- 「災害時など緊急の場合の活用に限定し、情報を共有した方がよい」が42.3%で最も多く、次いで「災害時などに備え、日頃から、地区での見守り活動などのために情報を共有した方がよい」が25.2%、「わからない」が19.0%となっています。

【年代】

- 70代までは、「災害時など緊急の場合の活用に限定し、情報を共有した方がよい」が最も多く、次いで「災害時などに備え、日頃から、地区での見守り活動などのために情報を共有した方がよい」「わからない」となっています。
- また、10代・20代では「災害時など緊急の場合の活用に限定し、情報を共有した方がよい」は61.8%と他の年代に比べて多くなっています。
- 80歳以上では、「災害時などに備え、日頃から、地区での見守り活動などのために情報を共有した方がよい」が31.8%で最も多く、次いで「災害時など緊急の場合の活用に限定し、情報を共有した方がよい」が29.9%、「わからない」が24.3%となっています。

【自治会での住民の情報共有について（年代別）】



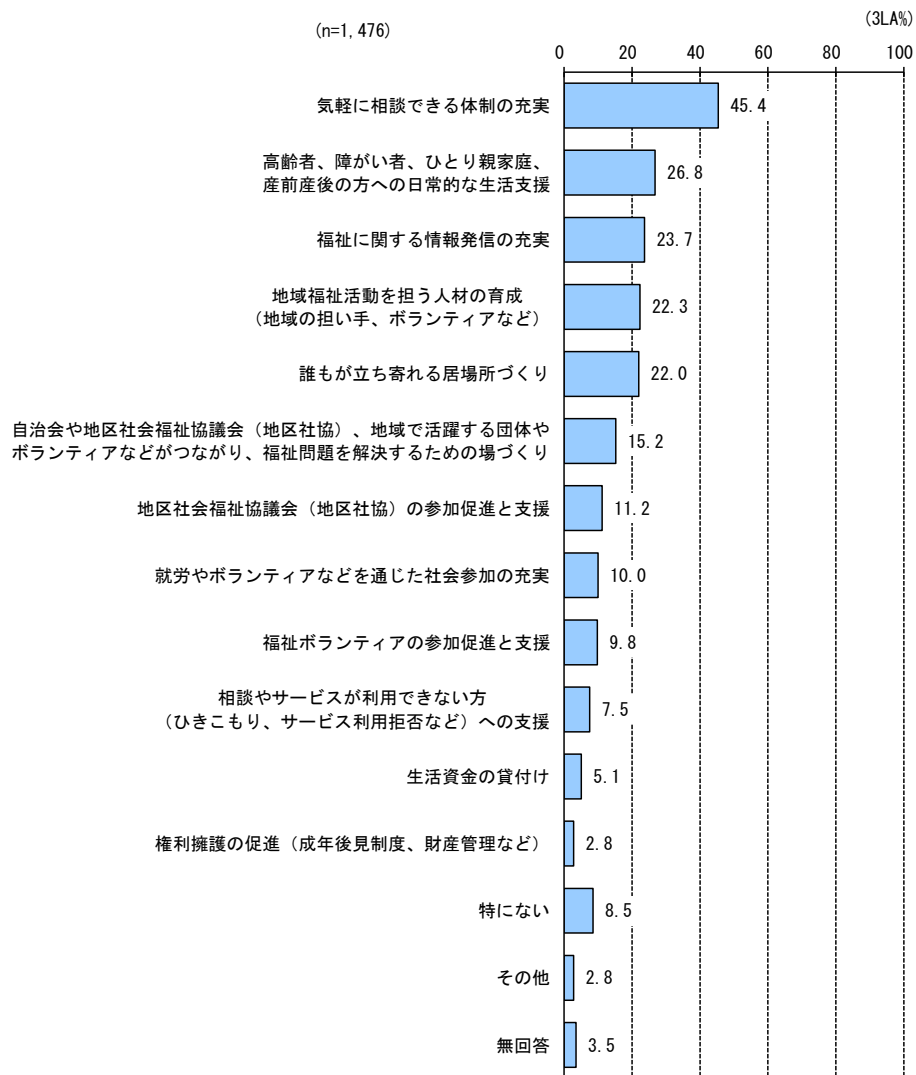
6. 地域福祉のあり方について

問29 市社会福祉協議会の行う活動、支援として、今後、充実してほしいものはどれですか。（〇は3つまで）

【全体】

- 「気軽に相談できる体制の充実」が45.4%で最も多く、次いで「高齢者、障がい者、ひとり親家庭、産前産後の方への日常的な生活支援」が26.8%、「福祉に関する情報発信の充実」が23.7%となっています。

【充実してほしい市社会福祉協議会の活動、支援】



【暮らしやすさ】

- 暮らしやすいと思わないについて、「高齢者、障がい者、ひとり親家庭、産前産後の方への日常的な生活」が38.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【充実してほしい市社会福祉協議会の活動、支援（暮らしやすさ別）】

単位：％

		母数 (n)	問29 市社会福祉協議会の行う活動、支援として、 今後、充実してほしいものはどれですか。(3LA)							
			参加地区社会福祉協議会（地区社協）の	福祉ボランティアの参加促進と支援	就業やボランティアなどを通じた社会参加の充実	地域の福祉活動やボランティアの育成（地域の担い手、ボランティアなど）	社会協会の地域で活躍する団体や福祉問題を解決するための場づくり	自治会や地区社会福祉協議会（地区社協）の活動の充実	高齢者、障がい者、ひとり親家庭、産前産後の方への日常的な生活支援	権利擁護の促進（成年後見制度、財産管理など）
全体		1,476	11.2	9.8	10.0	22.3	15.2	45.4	26.8	2.8
暮らしやすさ 本市の	暮らしやすいと思う	74	14.9	10.8	8.1	18.9	21.6	39.2	24.3	6.8
	まあまあ暮らしやすいと思う	448	16.1	12.7	10.0	26.3	18.1	48.0	27.2	2.2
	あまり暮らしやすいとは思わない	267	8.6	13.1	10.1	24.0	16.5	41.6	30.7	1.9
	暮らしやすいとは思わない	126	7.9	6.3	10.3	17.5	11.9	35.7	△ 38.1	4.8
	わからない	531	8.9	6.2	10.5	20.2	11.7	49.3	22.6	2.8

単位：％

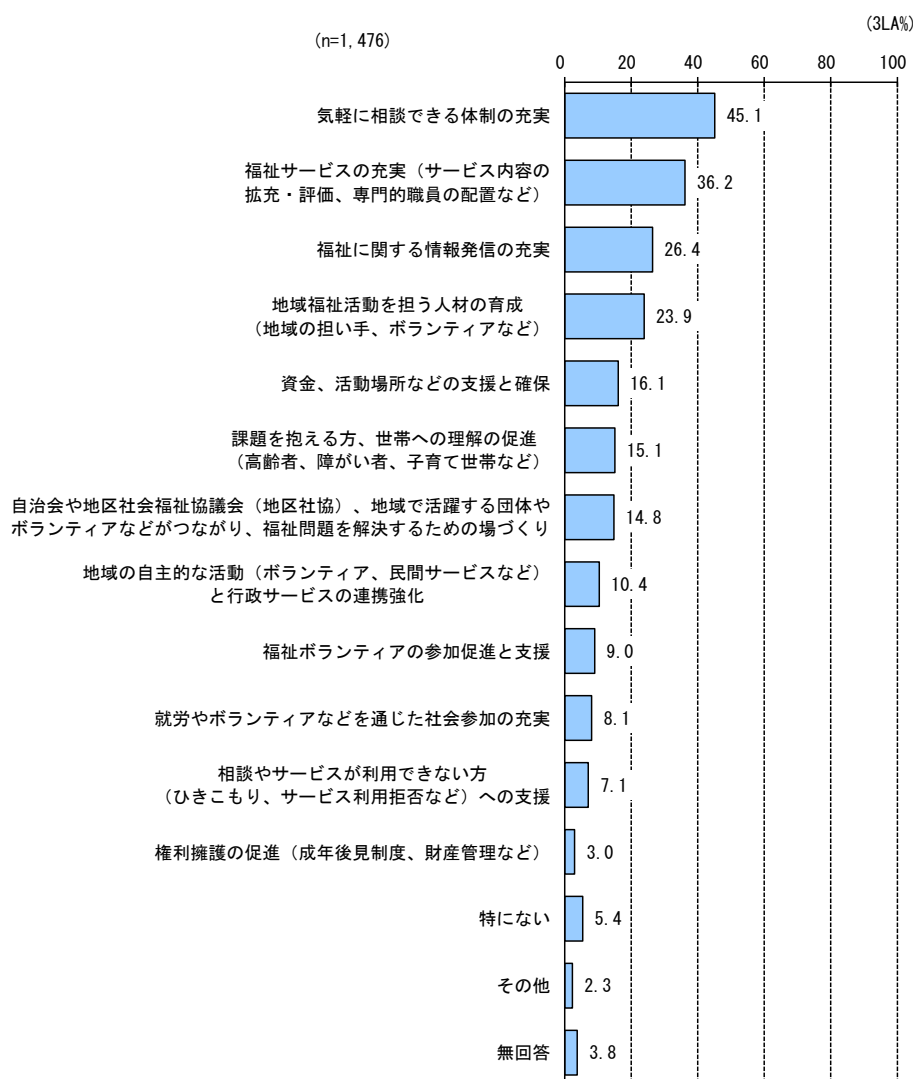
		母数 (n)	問29 市社会福祉協議会の行う活動、支援として、 今後、充実してほしいものはどれですか。(3LA)						
			福祉に関する情報発信の充実	生活資金の貸付け	相談やサービスが利用できない方などへの支援	誰もが立ち寄れる居場所づくり	特にな	その他	無回答
全体		1,476	23.7	5.1	7.5	22.0	8.5	2.8	3.5
暮らしやすさ 本市の	暮らしやすいと思う	74	14.9	4.1	6.8	24.3	8.1	-	8.1
	まあまあ暮らしやすいと思う	448	19.4	5.1	8.5	23.4	5.6	1.1	4.5
	あまり暮らしやすいとは思わない	267	27.3	6.0	5.6	24.3	5.2	5.2	2.6
	暮らしやすいとは思わない	126	27.8	4.8	7.9	18.3	13.5	4.8	0.8
	わからない	531	26.7	4.9	7.9	20.0	11.9	3.0	1.5

問30 今後、地域福祉を推進するために、行政が取り組むべきこととして、あなたが重要と思うものはどれですか。（〇は3つまで）

【全体】

- 「気軽に相談できる体制の充実」が45.1%で最も多く、次いで「福祉サービスの充実（サービス内容の拡充・評価、専門的職員の配置など）」が36.2%、「福祉に関する情報発信の充実」が26.4%となっています。

【地域福祉推進のために行政が取り組むべきこと】



7. 自由意見

地域福祉を進めていくためのご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

カテゴリー	該当件数 (MA)
情報発信	50
市役所の機能・対応	28
高齢者への福祉	28
イベント・ボランティア	27
自治会活動	26
交通の便	17
子ども・子育て世帯への福祉	14
地域の趣味・ふれあいの場	14
生活環境	13
障がいをもつ方への福祉	10
職、仕事	9
福祉の教育・理解・関心	7
インフラ・設備整備	7
経済的な問題	6
ごみ・衛生管理	5
病気・通院等	3
その他	96

座間市

地域福祉計画策定のためのアンケート調査報告書

発行日：令和7年3月

発 行：神奈川県座間市

編 集：座間市地域福祉課

〒252-8566 神奈川県座間市緑ヶ丘一丁目1番1号

T E L：046-255-1111（代表）

046-252-8247（直通）

F A X：046-255-3550